Cintiq 22HD

interactive pen display

ユーザーズガイド

Cintiq 22HD (DTK-2200)

本機のセットアップ
スタンドを使う
電子ペンを使う
電子ペンをカスタマイズする
液晶ペンタブレットを使う
液晶ペンタブレットをカスタマイズする
ラジアルメニューを使う
特定のソフトウェアに対する設定
FAQ（よくある質問）
トラブルシューティング

製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから１年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標について

Wacom、Cintiq は、株式会社ワコムの登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークを表記しておりません。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

DTK-2200 ユーザーズガイド
Version 1.1, Rev F2312
©2012 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.

表紙画像は www.daniellieske.com からご提供いただきました。

目次

本書について 5

梱包箱から取り出す 6

スタンドを使う 7
スタンドの機能 8
スタンドの設置場所 9
スタンドを閉じる 9
液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける 10
液晶ペンタブレット本体の傾斜角度を調整する 11
液晶ペンタブレット本体を回転させる 11
液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す 12

本機のセットアップ 13
システム要件 13
ステップ 1：ハードウェアのセットアップ 14
ステップ 2：タブレットドライバのインストール 17

本機の機能と設置 18
本機の機能 18
　正面 19
　裏面 20
電子ペンの機能 21

本機を使用する 22
姿勢と作業環境を整える 22
利き手の設定をする 24
電子ペンを使う 24
　電子ペンの持ち方 25
　ポインタの移動 26
　クリック 26
　ダブルクリック 26
　ドラッグ 27
　サイドスイッチを使う 27
　筆圧を使って描画する 27
　傾きを使って描画する 28
　消しゴムを使う 28
液晶ペンタブレットの操作機能 29
　ワンタッチ表示ボタンを使う 30
　ファンクションキーを使う 31
　トラックパッドを使う 33
マルチディスプレイ環境で使う 35
画面を調整する 36
　画面を調整する 36
　画面の調整 37
　省電力機能 39

本機をカスタマイズする 40
コントロールパネルでタブレットの設定を行う 41
コントロールパネルの概要 42
ペン先の位置調整 44
ペンをカスタマイズする 45
　ペン先の感触とダブルクリックの調整 46
　消しゴムの感触の調整 47
　ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定 47
　サイドスイッチのカスタマイズ 48
　傾き感度のカスタマイズ 49
ファンクションキーとトラックパッドをカスタマイズする 49
　ファンクションキーをカスタマイズする 50
　トラックパッドをカスタマイズする 51
ボタン機能 52
ラジアルメニューの使い方と設定 59
マッピング画面切り替えを使う 60
特定のソフトウェアに対する設定 61
　特定のソフトウェアに対する設定を作成する 62
　特定のソフトウェアに対する設定を変更する 63
　特定のソフトウェアに対する設定を削除する 63
複数デバイスでの作業 64
本機の登録名を変更する 65

トラブルシューティング 66
本機のテスト 67
操作機能および入力デバイスのテスト 69
　ワンタッチ表示ボタンのテスト 70
　ファンクションキーのテスト 70
　トラックパッドのテスト 70
　電子ペンのテスト 71
ディスプレイのトラブルシューティング情報 72
　ディスプレイの一般的な問題 72
　アナログ RGB 接続の問題 74
ペンタブレットのトラブルシューティング情報 75
　一般的な問題 75
　Windows での問題 79
　Mac での問題 80
テクニカルサポート 82
ソフトウェアの更新 83

FAQ（よくある質問） 84
お手入れのしかた 86
本機のお手入れ 86
ペン先を交換する 87
その他のお役立ち情報 89
液晶ペンタブレット本体を回転しないように固定する 90
マウントアームに取り付けて使う 91
ケーブルの取り外しと再取り付け 94
タブレットドライバのアンインストール 96
エクスプレスビュー画面を使う 97
タブレット設定ファイルの管理 98
複数ペンタブレットの設置 99
ペンタブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う 100
上級者向け設定を組み込む 101
Windows でのペンおよびデジタルインク機能 102
製品情報 103
オプション品の注文 104
利用可能なオプション品 104
　オプション品のご案内 104
用語 105
索引 107
Wacom International Offices 110

本書について

本書は、Cintiq の使い方や機能について説明しています。本書に記載される情報は、Windows と Macintosh コンピュータに共通するものです。本書では特に記載のない限り、Windows の画面を使用しています。

- 目次または索引で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。

(ホームアイコン)	表紙へ移動します。
目次	目次のはじめへ移動します。
索引	索引のはじめへ移動します。
(戻るアイコン)	1つ前に表示したページに戻ります。
(左右矢印アイコン)	ページ番号順に戻ったり、進んだりします。
トピック	トピックへ移動します。
(右矢印アイコン)	トピックの続きへ移動します。

- ご使用のディスプレイ上でユーザーズガイドのサイズを拡大するには、PDF ビューアのズームインツールを使用します。その他のツールの使用方法とユーザーズガイドの印刷については、ビューアソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 「 」で囲まれた文字は、キーボードのキー、ダイアログボックス、コントロールパネルのオプションの名前を特定するのに使用しています。
- タブレットドライバ CD-ROM には、「製品に関する重要なお知らせ」が同梱されていますので、必ずお読みください。「製品に関する重要なお知らせ」には、製品安全上のご注意、仕様、およびタブレットドライバソフトウェア使用許諾契約が含まれています。
- お客さまのコンピュータのハードウェアおよびオペレーティングシステムに関する情報、またはソフトウェアに関する情報は、本製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに付属するマニュアルおよび CD-ROM または DVD-ROM を参照してください。

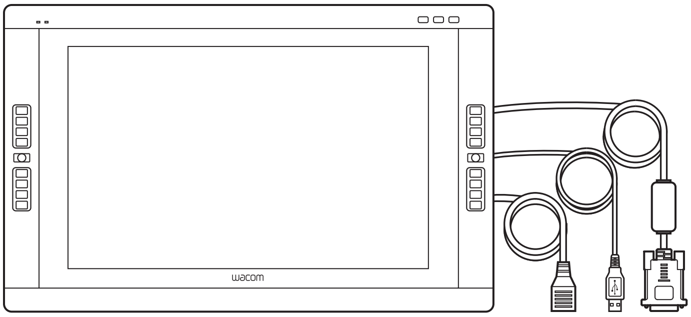
タブレットドライバ、本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

梱包箱から取り出す

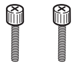
本機には、スタンドおよび様々な付属品が同梱されています。梱包箱を開け、各部品が完全に揃っていることを確認してください。本機の部品および付属品は、アクセサリボックスにまとめて梱包されています。

ていねいに梱包を解き、すべての部品を安定した水平な場所に置いてください。梱包材と梱包箱は保管しておき、本機の移送と保管の際に使用してください。

- 液晶ペンタブレット本体および付属ケーブルの梱包材をすべて取り外します。
- 梱包を解いた後、すべての付属品を点検し、内容が全て揃っていることを確認してください。

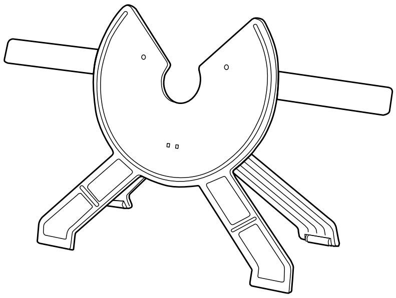


液晶ペンタブレット本体

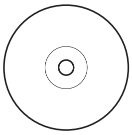


スタンド固定用ネジ（2コ）

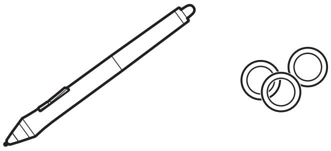
太径ラバーグリップ



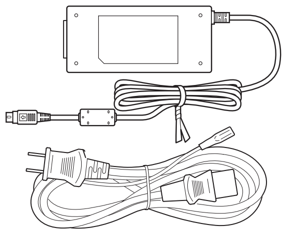
スタンド
スタンドの機能をご覧ください。



タブレットドライバ CD-ROM
タブレットドライバと「製品に関する重要なお知らせ」が収録されています。



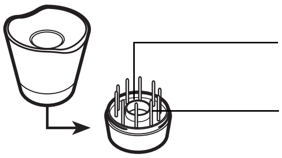
電子ペン（KP-501E-01）とカラーペンリング
使用者がわかるようにするときは、ペンの先端を外してカラーリングに付け替えます。



AC アダプタと電源ケーブル

クイックスタートガイド
保証書

ペンスタンド
ペンスタンドの下部を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出すことができます。



芯抜き

交換用の芯
- 標準芯（6 本、黒色）
- ハードフェルト芯（3 本、グレー）
- ストローク芯（1 本、白色、バネ付き）

ペンスタンド

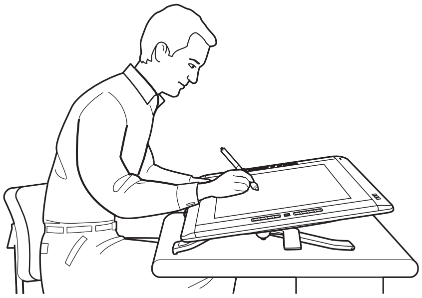
補足：製品の構成により、付属品が異なる場合があります。アプリケーション CD-ROM または DVD-ROM が付属している場合、インストール方法はアプリケーション CD-ROM または DVD-ROM の説明をお読みください。

本機のセットアップをする前に、液晶ペンタブレットとスタンドの説明を必ずお読みください。

スタンドを使う

スタンドは液晶ペンタブレット本体の重量を支えられるように設計されています。

- 本機は様々な用途と作業スタイルに対応しています。本機が最適なポジションになるよう、スタンドを調節してご使用ください。



用途に合わせ、液晶ペンタブレット本体の位置を水平に倒してください。

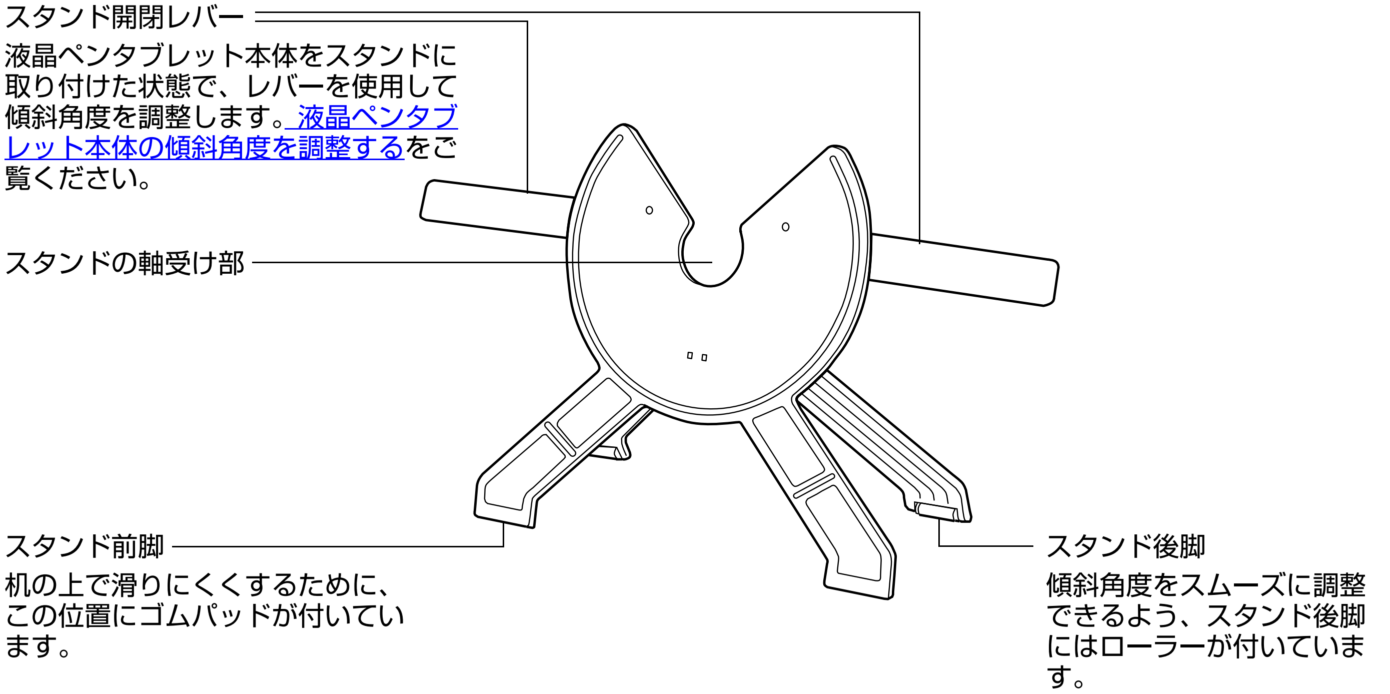
スタンド開閉レバーを使用してスタンドの脚を開き、スタンドを最も低い位置にすると、液晶ペンタブレット本体は机表面に触れることなく、どのような角度にも自由に回転することができます。そのため、線を引く場合や画像を編集する際には、最も楽な姿勢で正確にペンを動かすことができます。

キーボードでたくさんの文字を入力する場合は、スタンド開閉レバーを使用してスタンドの脚を閉じ、本機を起こします。作業内容を他の人に見せる際にもこの角度が便利です。

スタンドの機能
スタンドの設置場所
液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける
液晶ペンタブレット本体の傾斜角度を調整する
液晶ペンタブレット本体を回転させる
液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す

スタンドの機能

机の上やその他の作業台上に、スタンドの設置場所を決めます。液晶ペンタブレット本体を取り付けたときにスタンドが安定していて、傾いたり倒れたりしない場所を選んで設置してください。また、スタンドの構成部品についてもご確認ください。



⚠ 警告

液晶ペンタブレット本体がスタンドに取り付けられていない状態で、スタンド開閉レバーを操作しないでください。また、スタンド開閉レバーを持ってスタンドを持ち上げないでください。スタンドはスプリング荷重式になっているため、液晶ペンタブレット本体の重量がスタンドにかかっていない状態でレバーを解除すると、けがや破損の原因になる場合があります。

正しく操作が行われないと、けがやスタンドの破損につながる可能性がありますのでご注意ください。

スタンドの可動部のすき間に指をはさまれないようにご注意ください。

不安定な台の上などに本機を置かないでください。ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本機を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

続いて：液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付けます。液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付けるをご覧ください。

スタンドの設置場所

水平で安定した机や作業台などに本機を設置してください。

- 本機は水平で水や油のこぼれていない清潔な机や作業台に設置してください。
- スタンドは、液晶ペンタブレット本体を取り付けた際に傾いたり落下したりしないよう、机の上や作業台の安定した場所に置かれていることを確認してください。

⚠ 警告

本機は水平で安定した机や作業台の上などに設置してください。不安定な台の上、ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

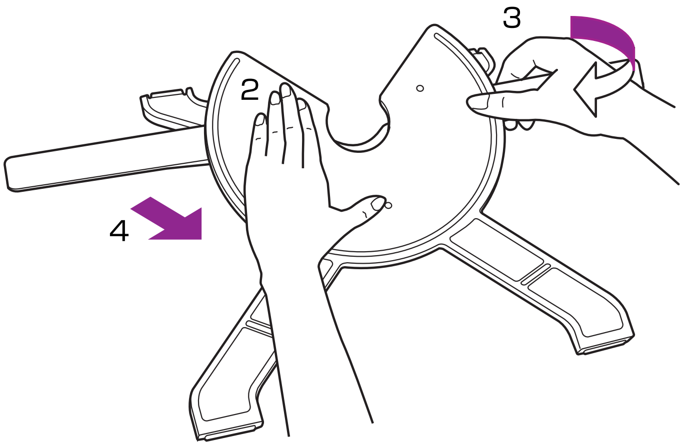
濡れた台の上などに本機を置かないでください。滑って落下する恐れがあります。

スタンドを閉じる

スタンドが開いた状態でスタンド開閉レバーを操作しないでください。
ただし、スタンドは開いた状態で梱包されていますので、梱包箱から取り出した時は、次の手順でスタンドを閉じてください。

1. スタンド開閉レバーを固定している発泡スチロールのブロックを取り外します。

   このブロックは、本機を配送する場合に備えて、他の梱包材と共に保管しておきます。
2. 左手で円形部分を押さえます。
3. 右側のスタンド開閉レバーを握り、ゆっくり手前に引くと、スタンドの脚が動き始めます。
4. 円形部分を左手で押さえながら、スタンドを静かに閉じます。

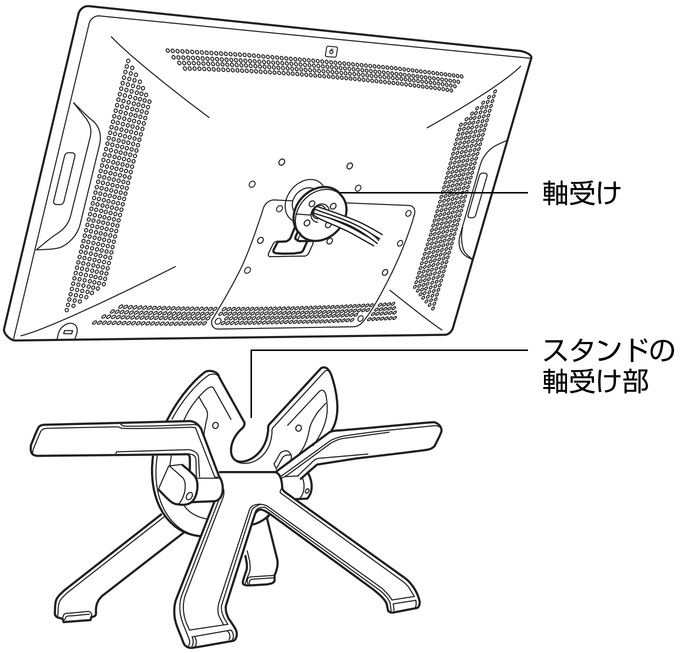


液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける

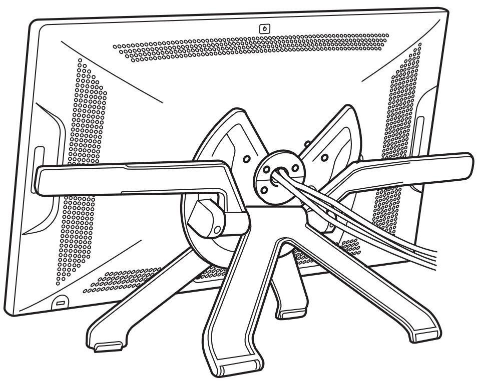
液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける前に、液晶ペンタブレット本体と付属ケーブルから、すべての梱包材を取り外してください。

- 液晶ペンタブレット本体を取り付けたときにスタンドが倒れたり落ちたりしないようにするため、スタンドを机の上または作業台の安定した場所に置きます。
  液晶ペンタブレット本体をしっかりと両手で持ちます。電源スイッチが上、ステータスランプが左上にある状態で、画面がユーザの方を向くように持ちます。
- 軸受けがスタンド前面の V 字の中心（軸受け部）に収まるように、液晶ペンタブレット本体とスタンドの位置を合わせます。下図の - A - を参照してください。
- 液晶ペンタブレット本体をスタンドに載せ、軸受けが軸受け部にしっかり収まるまで液晶ペンタブレット本体を下にずらします。
  液晶ペンタブレット本体は重みで自然に所定の位置に安定します。機械的にロックされることはなく、クリック音などはありません（下図の - B - を参照してください）。

- A -



- B -



⚠ **警告**

スタンド開閉レバーを操作するときには、液晶ペンタブレット本体がスタンドに取り付けられており、スタンドの脚が平らな場所に置かれている必要があります。スタンドはスプリング荷重式になっているため、急に跳ね返る場合があります。

不適切な操作を行うと、けがや破損の原因になりますのでご注意ください。

- スタンドの安定性を確認します。液晶ペンタブレット本体とスタンドを、可動範囲内全域にわたって慎重に動かしてください。液晶ペンタブレット本体の傾斜角度を調整するをご覧ください。
- 液晶ペンタブレット本体を回転させる必要がない場合は、スタンド固定用ネジでスタンドに固定できます。液晶ペンタブレット本体を回転しないように固定するをご覧ください。

その他の取り付け方法については、マウントアームに取り付けて使うをご覧ください。

液晶ペンタブレット本体の傾斜角度を調整する

液晶ペンタブレット本体の傾斜角度を調整する場合は、腕をスタンド開閉レバーとほぼ同じ高さにし、正面から液晶ペンタブレット本体を持ち、左側または右側のスタンド開閉レバーを手前にゆっくりと引きます。これにより、スタンドのロックが解除されますので、液晶ペンタブレット本体を傾けて角度を調整することができます。

- 液晶ペンタブレット本体を倒すには、左側のスタンド開閉レバーを液晶ペンタブレット本体の方向に引き、お好みの角度まで液晶ペンタブレット本体をゆっくりと後ろに倒します。レバーから指を離すと、その位置でスタンドはロックされます。
- 液晶ペンタブレット本体を起こすには、右側のスタンド開閉レバーを液晶ペンタブレット本体の方向に引き、お好みの角度まで液晶ペンタブレット本体をゆっくりと引き起こします。レバーから指を離すと、その位置でスタンドはロックされます。

補足：クラッチ機構が噛み合う前に、スタンド開閉レバーには若干の遊びがあります。
傾斜角度を調整する際、意図する高さよりもやや高めになるような角度にスタンドを調整し、希望する位置まで液晶ペンタブレット本体を下げます。

⚠ 警告

本機を移動する場合は、前もってスタンドを最も起こした位置まで戻します。これによりスプリングが引き伸ばされた状態でなくなるため、突然ロックが外れてスタンドが勢いよく閉じたりするおそれがなくなります。
液晶ペンタブレット本体が横長にセットされている場合は、片手でディスプレイの下端を持ち、もう一方の手でスタンドの後側を持ちます。移動時に液晶ペンタブレット本体がスタンドから外れないようにするため、必ず液晶ペンタブレット本体とスタンドの両方を持ってください。

液晶ペンタブレット本体が縦長にセットされているか、またはスタンド固定用ネジでスタンドにロックされている場合、スタンドが外れる心配がないため、両手で液晶ペンタブレット本体を持って安全に本機を移動させることができます。液晶ペンタブレット本体を回転しないように固定するをご覧ください。

続いて：本機の使い方をご確認ください。本機の機能と設置をご覧ください。

液晶ペンタブレット本体を回転させる

液晶ペンタブレット本体は、回転させて使用することができます。

傾斜角度が 25 度以下の場合に、液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付けた状態で回転させることができます。

液晶ペンタブレット本体を持ってお好みの位置まで回転させてください。液晶ペンタブレット本体は軸受けを中心にして回転します。
回転させる必要がない場合は、スタンド固定用ネジで液晶ペンタブレット本体を横長の位置でスタンドに固定します。液晶ペンタブレット本体を回転しないように固定するをご覧ください。

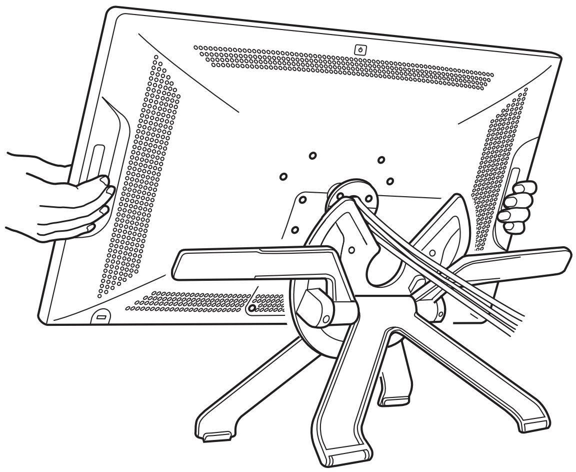
液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す

液晶ペンタブレット本体は、スタンドに取り付けることを前提に設計されていますが、マウントアームに取り付けてお使いになる場合などは、以下の方法でスタンドから取り外してください。
マウントアームに取り付けて使うをご覧ください。

スタンドから液晶ペンタブレット本体を取り外す：

スタンドから液晶ペンタブレット本体を取り外すときは、以下の手順に従ってください。

- スタンド固定用ネジが取り付けられている場合は、裏面からネジを取り外します。
- スタンドから取り外す前に、液晶ペンタブレット本体を横長の方向にします。
  液晶ペンタブレット本体が縦長の方向になっている場合は、スタンドから外すことはできません。
- 次に、スタンドの角度を最も立てた位置に戻します。液晶ペンタブレット本体の傾斜角度を調整するをご覧ください。
- 液晶ペンタブレット本体の左右を両手でしっかり持ち、スタンドから持ち上げて取り外します。



重要：液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す際には、スタンドの前面と並行に持ち上げてください。
スタンドから取り外すときは、液晶ペンタブレット本体を少し回しながら取り外してください。

補足：搬送のためにスタンドを梱包する場合は、スタンドを最も低い位置まで倒し、発泡スチロールのブロックをスタンド開閉レバーと円形部分の間に挟んでください（発泡スチロールのブロックを挟むことによって、梱包中にスタンドが突然閉じるのを防止します)。液晶ペンタブレット本体およびスタンドを梱包する場合は、必ず元の箱および保護クッションを使用してください。
液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付けた状態では絶対に梱包しないでください。搬送中に液晶ペンタブレット本体またはスタンドが破損するおそれがあります。

本機のセットアップ

本機は、ディスプレイとペンタブレットの 2 つの機能を持っています。以下の手順に従って、ハードウェアのセットアップとタブレットドライバのインストールを行ってください。

重要： 画面上で電子ペンによる操作を正常に行うためには、付属のタブレットドライバをインストールする必要があります。

システム要件
ステップ 1：ハードウェアのセットアップ
ステップ 2：タブレットドライバのインストール

システム要件

ご使用中のコンピュータが次のシステム要件を満たしていることをご確認ください。

- Windows の場合：Windows 7、Vista (SP2 以上)、XP (SP3 以上) (64 ビット版を含む)。DVI もしくはアナログ RGB コネクタ、および USB ポート。
- Mac の場合：Mac OS X 10.5.8 以降。Intel プロセッサ。DVI もしくはアナログ RGB 出力、および USB ポート。

アナログ RGB 接続の場合は適合する DVI - RGB ケーブルが必要です。お近くの販売店でご購入ください。

補足：本機は単独でも使用できますが、別のディスプレイと併用することもできます（液晶ディスプレイや液晶プロジェクターなど）。
本機を別のディスプレイと併用する場合は、2 枚のグラフィックボードまたは2つの映像出力を持つグラフィックボードが必要です。

本機は、マルチディスプレイ環境で使用することができます。マルチディスプレイの接続・設定については、本書では説明しておりません。ご使用のコンピュータまたはオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。

マッピング画面切り替え機能は、マルチディスプレイ環境で利用することができます。これにより、電子ペンによる操作を本機と他のディスプレイ間で切り換えることができます。

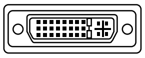
ステップ 1：ハードウェアのセットアップ

このステップでは、ディスプレイケーブル、USB 接続ケーブル、および電源ケーブルの接続について説明します。

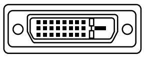
液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付けていない場合は、液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付けるをご覧の上、取り付けを行ってください。

重要： コンピュータまたは本機の電源が入った状態で、ディスプレイケーブルや電源ケーブルを抜き差ししないでください。本機またはコンピュータが故障する場合があります。

1. 本機、およびコンピュータの電源を切ります。
2. ご使用のコンピュータのディスプレイコネクタがデジタル (DVI) かアナログ RGB かを確認してください。ディスプレイコネクタが 1 つしかない場合は、接続中のディスプレイを外すかまたはグラフィックボードを増設してください。最適な画質を得るために本機を DVI コネクタに接続することをお薦めします。
3. すべてのコネクタのネジを確実に締めてください。接続図の -A- をご覧ください。



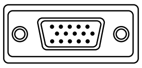
DVI-I



DVI-D

DVI 接続の場合：本機のディスプレイケーブルを、コンピュータの DVI コネクタに接続します。

本機は DVI-D または DVI-I のいずれのコネクタにも接続できます。



アナログ RGB

アナログ RGB を使用する場合：アナログ RGB 接続の場合は適合する DVI - RGB ケーブルが必要です。お近くの販売店でご購入ください。

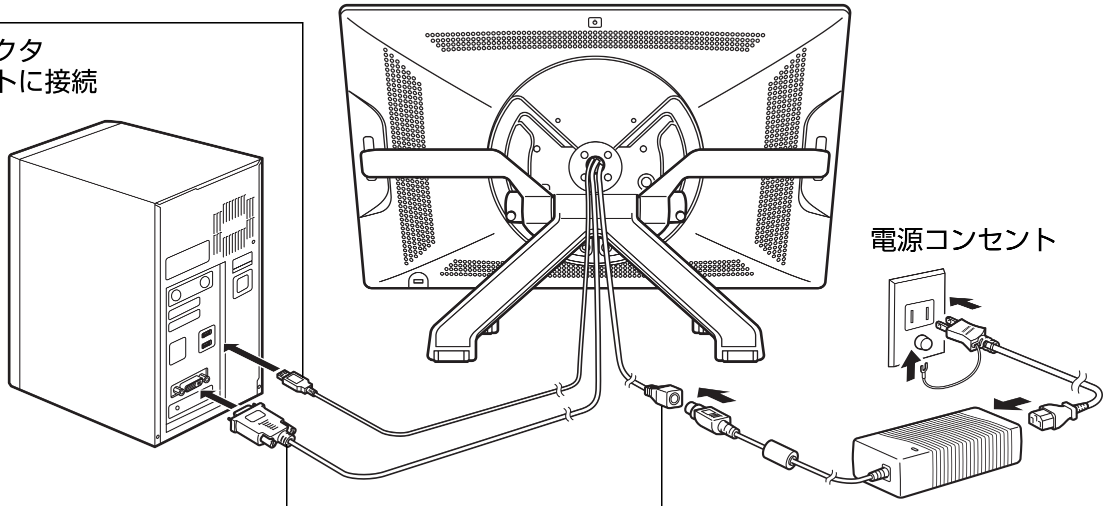
本機から DVI-DVI ケーブルを取り外し、代わりに DVI-RGB ケーブルを取り付けてください。
ケーブルの取り外しと再取り付けをご覧の上、DVI-RGB ケーブルを本機とコンピュータのコネクタに接続してください。

Mac Mini DisplayPort に接続する場合：Apple Mini DisplayPort-DVI 変換アダプタが必要です。お近くの販売店でご購入ください。

変換アダプタで本機のディスプレイケーブルの DVI コネクタとお使いの Mac を接続してください。

4. USB コネクタをコンピュータの USB ポートに接続します。接続図 -B- をご覧ください。
5. AC アダプタを本機に接続します。接続図 -C- をご覧ください。
6. 電源ケーブルを AC アダプタに接続し、電源プラグを 100V 電源コンセントに差し込みます。接続図の - D - をご覧ください。
7. 本機裏面の上部中央にある電源スイッチをオンにします。パワーランプが青→オレンジの順に点灯します。裏面をご覧ください。

本機の接続図



⚠ 注意

本機またはコンピュータの電源がオンになっているときに、ディスプレイケーブルや電源ケーブルを抜き差ししないでください。本機またはコンピュータのグラフィックボードが故障するおそれがあります。

本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタを使用すると、本機が故障するおそれがあります。

8. コンピュータの電源をオンにします。
9. コントロールパネルの「画面の設定」から適切な解像度と色数の設定を行ってください。
   最適な画質を得るには、本機の最大解像度の 1920x1080 に設定してください。本機で使用できる解像度の詳細は、タブレットドライバ CD-ROM にある「製品に関する重要なお知らせ」を参照してください。解像度と色数は、ご使用のコンピュータやグラフィックボードの性能によって制限されることがあります。微調整については画面を調整するをご覧ください。

補足：DVI-RGB ケーブルで接続した場合は、ワンタッチ表示ボタン右端の OSD メニューボタンを押して本機の OSD メニュー画面を開き、「VGA 設定」－「オートアジャスト」を選択します。画面を微調整するには、画面を調整するをご覧ください。

Windows の場合：本機をセカンドディスプレイとして使用する場合は、コントロールパネルから本機の接続を有効にする設定が必要な場合があります。

画面設定が完了しましたら、ステップ 2：タブレットドライバのインストールに進みます。

補足：液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠点や常時点灯の画素がある場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。詳細については、「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

画像に微細ストライプ（画面の縞模様など）が現れると、ちらつきまたはモアレのように見える場合があります。

ディスプレイの表面に過剰な圧力を加えないでください。モアレまたは波紋のような模様が現れる原因になる場合があります。

同じ画面を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間が経つと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーを使用することで、残像の発生を軽減させることができます。

本機のバックライトをより長くご使用いただくには、長時間画面を使用しないときは電源を切るようにコンピュータの電源オプションを設定してください。

長時間本機をお使いになる場合、目の健康のために画面の輝度を下げてください。輝度を下げることはバックライトの寿命を延ばし、ディスプレイの表面温度を下げることにもつながります。

タブレットドライバ CD-ROM にカラープロファイルが同梱されています。本機でカラープロファイルを使用するときは、コントロールパネルの「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」を選び、本機の画面のプロパティを開き、「色の管理」を選び、本機のプロファイルを選択してください。詳細については、ご使用のオペレーティングシステムおよびソフトウェアの取扱説明書で、カラーマネジメントシステムを参照してください。

トラブルシューティングについてはトラブルシューティングをご覧ください。

ステップ 2：タブレットドライバのインストール

重要： 画面上で電子ペンによる操作を正常に行うためには、付属のタブレットドライバをインストールする必要があります。

すでに intuos シリーズまたは Cintiq シリーズのタブレットドライバをインストールしている場合は、そのドライバをアンインストールしてください。

コンピュータでの作業を保存し、開いているソフトウェアをすべて閉じます。

1. タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
   Windows OS の場合は、自動でインストール画面が表示されます。インストール画面が表示されない場合は、CD-ROM アイコンをダブルクリック、または CD を開き「Install.exe」をダブルクリックしてください。
   Mac OS の場合は、デスクトップ上に「Tablet CD」の CD-ROM アイコンが表示されます。「Tablet CD」をダブルクリックで開いて「インストール」をダブルクリックしてください。

補足：Windows Vista をお使いの場合

・「自動再生」が表示される場合があります。「プログラムのインストール / 実行」をクリックしてください。

・「ユーザーアカウント制御」が表示される場合があります。「続行」または「許可」をクリックしてください。

補足：ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。

2. 「タブレットのインストール」をクリックし、画面の指示に従ってタブレットドライバをインストールします。
3. タブレットドライバの使用許諾契約が表示されます。内容に同意したら「同意する」をクリックします。

ヒント：タブレットドライバのインストールが正常に行えない場合、ネットワークを切断し、ウィルス監視プログラムを一時的に OFF にして試してください。ドライバのインストールが完了しましたら、必ずウィルス監視プログラムを ON にしてください。

4. タブレットドライバのインストール完了後、画面上で電子ペンを使用してポインタが動くことを確認してください。

   ペン先を画面上に置くと、ポインタは直ちにペン先のほぼ下の位置に移動します。ペン先を持ち上げ、画面上の異なる位置に置くと、ポインタは再び新しい位置に移動します。
5. 更新情報については、Read Me ファイルを確認してください。注意と警告についてはタブレットドライバ CD-ROM 中の「製品に関する重要なお知らせ」を参照してください。タブレットドライバのインストール中に不具合が起こったらトラブルシューティングを参照してください。
6. 次に、画面のポインタとペン先の位置を合わせてください。ペン先の位置調整をご覧ください。

補足：ユーザ設定がサポートされています。ユーザはログオンした後、コントロールパネルで自分の個人設定をカスタマイズすることができます。ユーザが切り替わると、自動的に新しいユーザの個人設定をロードします。

本機が正常に動作しない場合、またはポインタをコントロールできない場合は、本機の環境設定に異常が生じた可能性があります。現在の環境設定を削除して、本機をお買い上げ時の設定状態に戻すことができます。環境設定管理の詳細については、タブレット設定ファイルの管理をご覧ください。

Microsoft Windows 7、Vista、および Office 2007 以上 (Windows 7 Starter および Windows Vista Home Basic を除く) においては、タブレットドライバをインストールすると自動的にペン入力機能が利用できるようになります。Windows のペンおよびペン入力機能をご覧ください。

ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードするにはソフトウェアの更新をご覧ください。

タブレットドライバをアンインストールするにはタブレットドライバのアンインストールをご覧ください。

本機の機能と設置

本機は高機能な液晶ディスプレイと最高の書き味の電子ペンを組み合わせた高い生産性と創造性を兼ね備えた製品です。この製品により自然で快適な作業環境を提供いたします。

本機の基本構成は、高画質液晶ディスプレイを搭載した液晶ペンタブレット本体、グリップペン、およびスタンドです。

本書は本機のセットアップの手順と使用方法について説明しています。コントロールパネルで、本機と電子ペンの設定をカスタマイズできます。詳しくは、本機をカスタマイズするをご覧ください。

本機の機能
電子ペンの機能

本機の機能

液晶ペンタブレット本体を正しくスタンドに取り付けた後、本機をお使いになる前に本機の機能や各部の使い方をご確認ください。本機はオペレーティングシステムとは独立したデバイスのように見えますが、ディスプレイとペンタブレットセンサーは 1 つに統合された出入力デバイスとして機能します。ペンタブレットセンサーはペンの座標、筆圧、傾き、スイッチ、消しゴムなどの情報を認識し、コンピュータに伝えます。

- 多くのソフトウェアは本機の機能（筆圧機能、傾きおよび回転）に対応しています。ワコムのホームページで、本機の機能に対応したソフトウェアについての情報を確認できます。製品情報をご覧ください。
- 特定のソフトウェアでの最適な本機の使い方については、ソフトウェアに付属のマニュアルをご覧ください。

正面
裏面

正面

パワーランプ

- 本機の電源がオンのとき、ビデオ信号が入力されると、青色に点灯します。
- ビデオ信号が入力されない場合、オレンジ色に点灯します。（例：コンピュータの電源を切っている、起動中またはビデオ信号が送られない省電力状態になっているとき。）

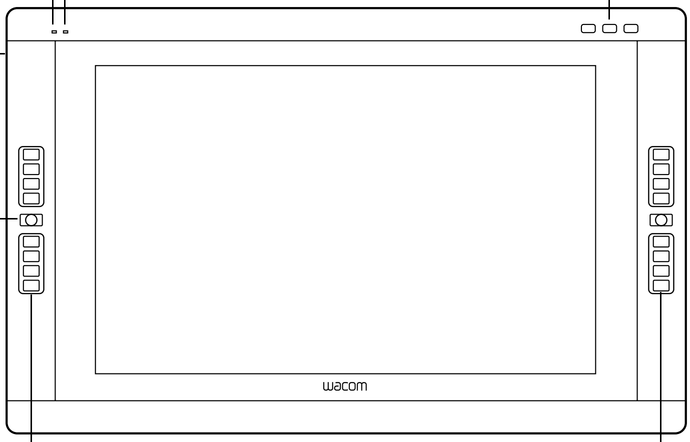
ステータスランプ

- 操作エリアで電子ペンを使用しているとき、ペン先、消しゴム、またはサイドスイッチを押すと青く点灯します。
- このランプは、USB 接続ケーブルのコネクタが USB ポートに接続され、ビデオ信号が入力されている場合にのみ点灯します。

USB ハブ

ワンタッチ表示ボタン

液晶画面の設定を行う場合は、右端の OSD メニューボタンを押して画面調整モードに切り替えてください。右上 4 つのファンクションキーを使い、画面を調整できます。



トラックパッド機能切り替えボタン

左右に 1 つずつあります。ボタンを押すたびに、トラックパッドに割り当てられた機能が切り替わります。

液晶ペンタブレットの操作機能をご覧ください。

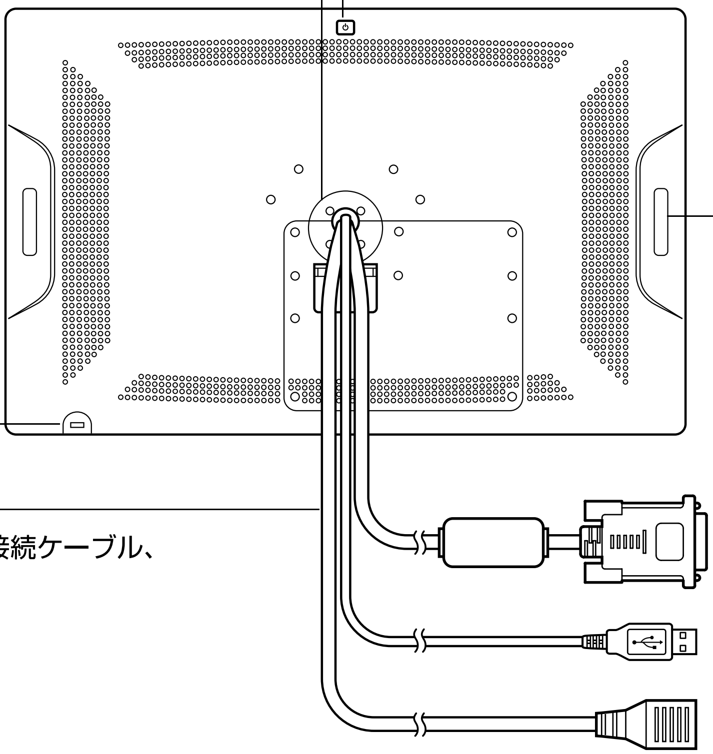
また、エクスプレスビュー画面を使うもご覧ください。

裏面もご覧ください。

ファンクションキー

液晶ペンタブレットの操作機能をご覧ください。

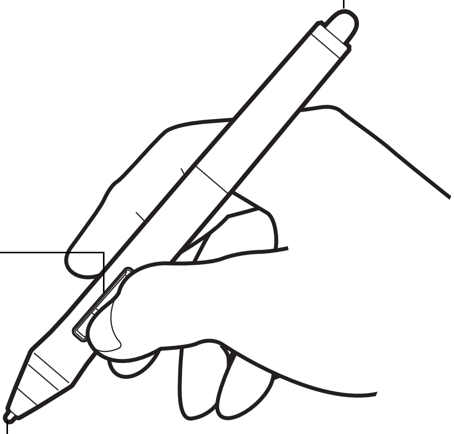
裏面



重要： 本機を使用しない場合は元の梱包箱に保管してください。ケーブルが極端に折れ曲がる場所には保管しないでください。

続いて、電子ペンの機能およびスタンドについて説明します。まだ完了していなければ本機のセットアップに移ります。

電子ペンの機能



消しゴム：電子ペンを逆に持ち、画面から 5mm 以内にテールスイッチ（消しゴム）を近づけると、操作エリアはテールスイッチの位置を認識します。
テールスイッチが画面に触れると、筆圧が感知されます。標準設定では、テールスイッチは「消しゴム」に設定されています。

消しゴム機能は、対応しているソフトウェアでのみお使いになれます。

サイドスイッチ: 標準の電子ペンにはサイドスイッチが装備されています。サイドスイッチは上下2つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。

ペン先が画面に触れていなくてもサイドスイッチは使用できます。標準設定では、上側は「ダブルクリック」下側は「右ボタンクリック」に設定されています。

お知らせ　誤ってサイドスイッチを押さないように持ってください。

ペン先（交換可能）：画面から 5mm 以内にペン先を近づけると、操作エリアはペン先を認識します。これにより、ペン先で画面に触れずにポインタの位置決めができます。

画面に触れると、電子ペンはマウスの左ボタンクリックと同じ働きをします。ペン先のクリック圧は、コントロールパネルで調整できます。

ヒント： 電子ペンは、ペン先または消しゴムが画面から 5mm 以内に近づくと検出されます。

本機が自動スリープモードに入った後に再び操作を再開するには、ペン先を検出範囲に近づけるか、またはペン先で画面に触れます。

重要： 本機に付属の電子ペン、または対応する電子ペンのみを使用してください。その他の電子ペンでは正常に機能しない場合があります。利用可能なオプション品をご覧ください。また適合する電子ペンの芯は、本機の画面専用に設計されています。他の芯では、本機の画面を損傷させる可能性があります。

電子ペンを使用しないときには、ペンスタンドに収納するか、机の上に横にして置いてください。ペン先や消しゴムが押された状態になる入れ物に電子ペンを収納しないでください。誤った方法で保管すると、電子ペンが故障する場合があります。

本機を使用する

液晶ペンタブレット本体およびスタンドは、幅広い柔軟性を追求し人間工学に基づいて設計されています。お使いになる方は、必要に応じて液晶ペンタブレット本体を様々な高さと角度に調整することができます。それぞれの使い方と用途に合わせ、液晶ペンタブレット本体の傾斜角度を調整する方法を試してみてください。

本機を使用するときには、画板や紙に書くときと同じように手を軽く画面上に載せます。

液晶ペンタブレット本体の位置は机よりも少し高くなるため、快適に作業するには机または椅子の高さを調整してください。

姿勢と作業環境を整える

利き手の設定をする

電子ペンを使う

液晶ペンタブレットの操作機能

マルチディスプレイ環境で使う

画面を調整する

姿勢と作業環境を整える

疲労を軽減させるために、作業環境を整え、楽に作業ができるようにしてください。本機、電子ペン、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるような場所に本機やその他のディスプレイを置いてください。

- これから作業環境を整える場合は、使用する人の利き手に合わせて本機を設定してください。
- 本機をディスプレイとして使用する場合、本機の上端がユーザの目線と一致するように調整してください。

最適なポジションに本機を調整します。

- 常に正しい姿勢でご使用ください。

- 作業の合間に休憩を取り、コンピュータ画面から目を離して室内の他のものを眺めたり、窓から外の風景を眺めるなど、両目を休ませるようにしてください。
- 電子ペンは軽く握ってください。作業の合間に短い休憩をはさみ、ストレッチをして筋肉をほぐすようにしてください。
- 1 日のうちで性質の異なる作業を入れ替えて行ってください。不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。
- この章をよく読み、本機を使った作業についてさらに学習してください。
- 最適な作業のしかたについては、本機のカスタマイズの基本事項をご覧ください。

ヒント：
- 本機をコンピュータに接続した状態で移動させると、ケーブルが引っ張られて抜ける場合がありますので注意してください。
- スタンド固定用ネジで液晶ペンタブレット本体がスタンドに取り付けられている場合は、ネジを外さないと回転させることはできません。
- 液晶ペンタブレット本体を回転させる前に、液晶ペンタブレット本体裏面のケーブルがスムーズに動くことを確認してください。
- 液晶ペンタブレット本体は、市販の VESA（Video Electronics Standard Association）規格のマウントアームやディスプレイスタンドに取り付けることも可能です。詳しくはマウントアームに取り付けて使うをご覧ください。

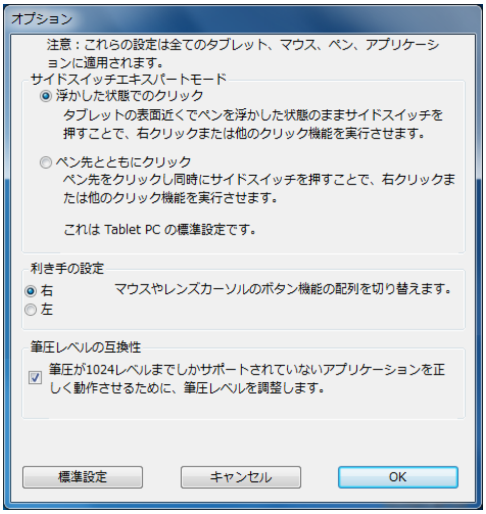
利き手の設定をする

タブレットドライバのインストール中に、初期設定の利き手を選択する画面が表示されます。このとき選んだ設定が、ファンクションキーとトラックパッドの初期設定に使用されています。

ただし、コントロールパネルで、いつでも右利きまたは左利きの利用者に合わせ本機の設定を変更することができます。利き手の設定を変更すると、自動的にファンクションキーおよびトラックパッドの設定が変更されます。

利き手の設定を変更するには：

1. 中央のワンタッチ表示ボタンを押してコントロールパネルを開き、「オプション」をクリックします。
2. 利き手の設定を変更します。
3. 「OK」をクリックします。ファンクションキーおよびトラックパッドのモード設定は左右入れ替わります。



補足： ワンタッチ表示ボタンは、利き手設定を変更しても変わりません。

同様に、画面調整モードでのファンクションキーによる画面調整が、利き手設定の変更によって影響を受けることはありません。

上の設定変更は、初期設定には影響しません。システムログオン画面およびユーザ切り替え画面の時は、タブレットドライバインストール中に選択した初期設定の向きが使われます。初期設定を変更するには、タブレットドライバを再度インストールしてください。

電子ペンを使う

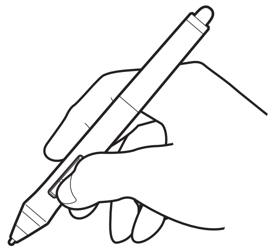
コードレス・電池レスのグリップペンは、筆圧機能および傾き検出機能に対応しています。

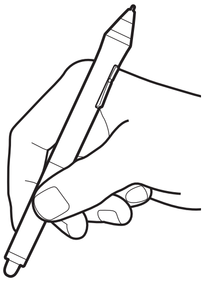
ペンの基本的な使い方は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグの４つです。ペンを使うことに慣れていない場合は、下記のページをご覧ください。

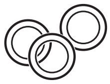
電子ペンの持ち方
ポインタの移動
クリック
ドラッグ
サイドスイッチを使う
筆圧を使って描画する
傾きを使って描画する
消しゴムを使う

電子ペンの持ち方

鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。ペンを握る位置を調節し、サイドスイッチを親指または人差し指で簡単に押せるようにしてください。ペンで線を引いたり位置を決めたりするときに誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。最も描きやすいようにペンを傾けてご使用ください。本機を使用するときは、軽く手を画面上に載せます。





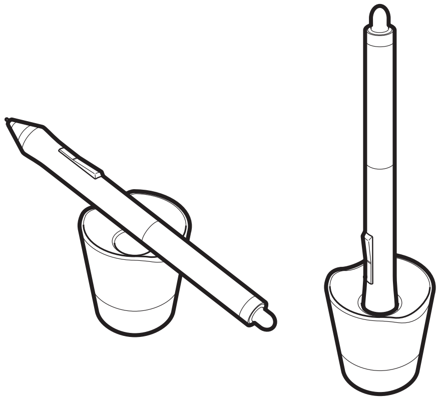


カラーペンリング

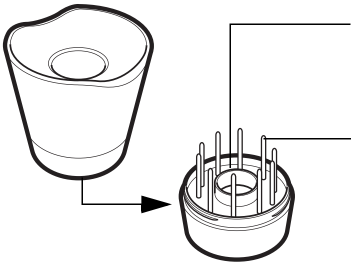
複数の電子ペンを使用していて、それぞれの電子ペンの識別をしたい場合には、ペンの先端を緩めて外し、別の色のカラーペンリング（非売品）に交換します。

電子ペンの設定はいつでもカスタマイズ可能です。

ペンスタンドは手の届きやすいところに置きます。電子ペンを使用しないときはペンスタンドに収納するか、水平な机の上に横にして置いてください。ペンスタンドには、電子ペンを垂直または水平に置くことができます。ペン先の感度を維持するため、ペン先やテールスイッチが押された状態になる入れ物には保管しないでください。



ペンスタンドの底部分を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出すことができます。



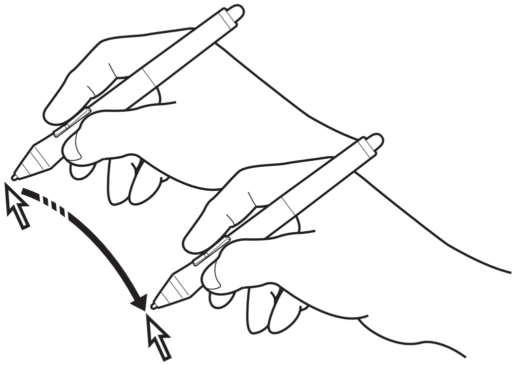
- 標準芯 ６本
- ハードフェルト芯 ３本
- ストローク芯 １本

重要：電子ペンの感度を維持するため、ペン先やテールスイッチが押された状態になる置き方は避けてください。誤った方法で保管すると、電子ペンが故障する場合があります。

ポインタの移動

画面に電子ペンを近づけるとポインタがペン先の下に移動します。画面に触れずに電子ペンを画面の少し上で動かしますとペン先に合わせてポインタが移動します。続いてペン先で画面にタッチして選択します。

補足：ペン先の位置調整をすると、ポインタの位置を正確にペン先と合わせることができます。ペン先を画面に置いてもポインタがペン先の近くに移動しない場合は、タブレットドライバがインストールされていないか、起動していない可能性があります。必要に応じて、タブレットドライバをインストールしてください。または、トラブルシューティングをご覧ください。



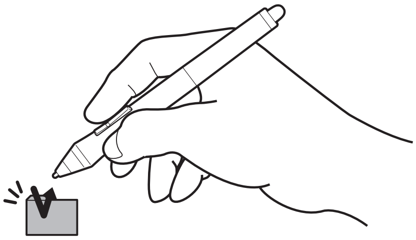
クリック

画面をペン先で 1 回軽くたたくか、クリックと認識されるぐらいの筆圧でペン先を画面に押し当てます。

ヒント：電子ペンをアイコンに近付けると選択され、ワンクリックでアイコンが起動するように Windows を設定することができます。この機能を使うときは、まずフォルダを開き、続いて以下の設定を行ってください。

Windows 7 の場合：「整理」プルダウンメニューから、「フォルダと検索のオプション」を選択します。「全般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

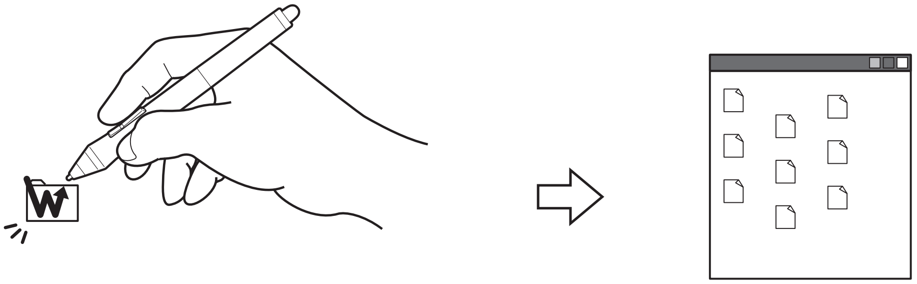
Windows Vista と XP の場合：「ツール」プルダウンメニューから、「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。



ダブルクリック

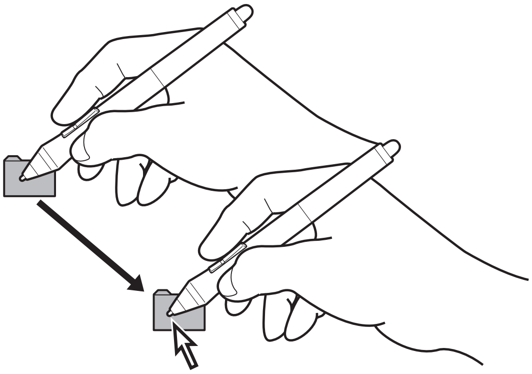
上側のサイドスイッチを押すか（「ダブルクリック」に設定されている場合）、または同じ場所でディスプレイ画面をペン先で素早く 2 回、軽くたたきます。

画面に垂直に近い角度で電子ペンを使用すると、ダブルクリックはしやすくなります。



ドラッグ

オブジェクトを選択し、次にペン先を画面につけたままスライドさせてオブジェクトを移動します。



サイドスイッチを使う

電子ペンにはサイドスイッチが付いています。サイドスイッチは上下 2 つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。ペン先が画面の近く（5 mm 以内）にあるときは、いつでもサイドスイッチを使用することができます。ペン先で画面に触れる必要はありません。標準設定では、上側のスイッチは「ダブルクリック」、下側のスイッチは「右ボタンクリック」に設定されています。スイッチの機能はコントロールパネルで変更または無効にカスタマイズすることができます。

筆圧を使って描画する

電子ペンは手の動きに反応し、自然な感じのペンやブラシのストロークを描きます。筆圧対応のソフトウェアは、ペンに加えられた筆圧に反応します。

筆圧を使用して、線を引いたり、色を塗ったり、文字を書いたりするには、ペン先に加える力を変えながら、ペン先で液晶画面をなぞるようにしてペンを移動させます。線を太く、または色を濃くするには、強く押します。線を細く、または色を薄くするには、軽く押します。ソフトウェアによっては最初にツールパレットから筆圧対応ツールを選択する必要があります。

ペン先の書き味を調整するにはペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。

筆圧に対応するグラフィックソフトについては、ワコムのホームページをご覧ください（製品情報をご覧ください）。

傾きを使って描画する

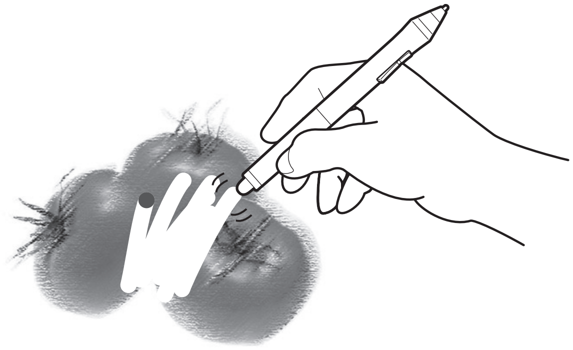
電子ペンを垂直位置から傾けると、本機がこれを認識します。ソフトウェアが対応している場合、電子ペンの傾きで線の形と太さのコントロールすることができます。

傾きに対応しているソフトウェアについては、ワコムのホームページをご覧ください（製品情報をご覧ください)。

消しゴムを使う

消しゴム機能に対応するソフトウェアでは、電子ペンのテールスイッチは鉛筆の消しゴムのように機能します。文章作成ソフトウェアでは、テールスイッチで文字を選択して画面からペンを持ち上げると、その文字が消去されます。

消しゴム機能に対応するグラフィックソフトについては、ワコムのホームページ、および本書の製品情報をご覧ください。ソフトウェアが消しゴム機能に対応していない場合でも、ポインタの移動や、線引き、アノテーション（書き込み）には、消しゴムを使うことができます。



液晶ペンタブレットの操作機能

ソフトウェアでの操作性を向上させるために、本機にはファンクションキーおよびトラックパッドが付いています。利き手で電子ペンを使用しながら、もう一方の手でファンクションキーまたはトラックパッドを操作できます。

トラックパッド

液晶ペンタブレット両脇の裏側にあります。

トラックパッド上で指を滑らせてズーム、スクロール、またはキーストロークの機能を実行できます。トラックパッドを使うをご覧ください。

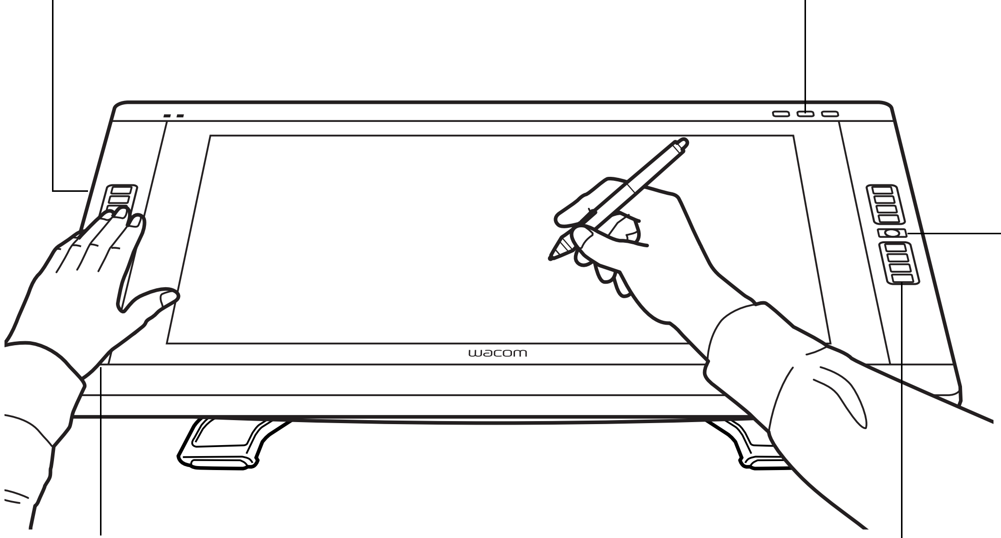
ワンタッチ表示ボタン

専用のボタンを押して機能を開始します。ワンタッチ表示ボタンを使うをご覧ください。

トラックパッド機能切り替えボタン

ボタンを押すたびに、トラックパッドの機能が切り替わります。左側のボタンで左側のトラックパッドの機能、右側のボタンで右側のトラックパッドの機能を切り替えることができます。

トラックパッド機能切り替えボタンを押すたびに、ディスプレイ上に短時間、そのボタンの設定が表示されます。エクスプレスビュー画面を使うもご覧ください。



ファンクションキー

ファンクションキーを押すことによって、よく使われる機能、キーストローク、ボタンのクリック、修飾キーなどを実行できます。ファンクションキーはカスタマイズが可能です。ファンクションキーを使うをご覧ください。

マッピング画面切り替え機能はマルチディスプレイで構成されている場合に利用できます。この機能を使うと、本機と他のディスプレイとの間でポインタが対応する画面を切り替えることができます。例えば本機を、液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のペンタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

ワンタッチ表示ボタンを使う

ワンタッチ表示ボタンの機能は、以下の通りです。

OSD メニューを使って液晶画面の調整を行う

右側のファンクションキーの上４つを、通常作業モードまたは画面調整モードに切り替えます。

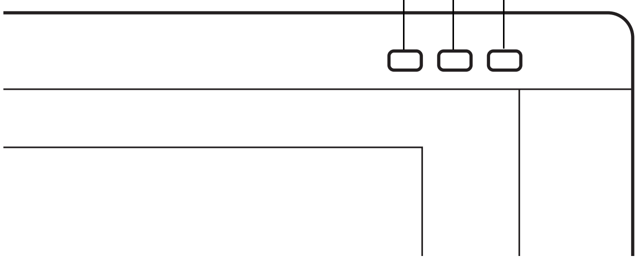
画面調整モードでは画面に OSD メニューが表示され、右側のファンクションキーの上４つが画面を調整するために使用できます。
もう一度押すとファンクションキーモードに戻ります。

コントロールパネルを開く

閉じるときは再度押します。

現在の本機の設定を一覧表示する

このボタンを押すと、（ディスプレイに）本機のファンクションキー、トラックパッド、および電子ペンの設定内容が表示されます。それぞれの設定項目について現在の機能が表示されます。
表示を消すときは再度押します。

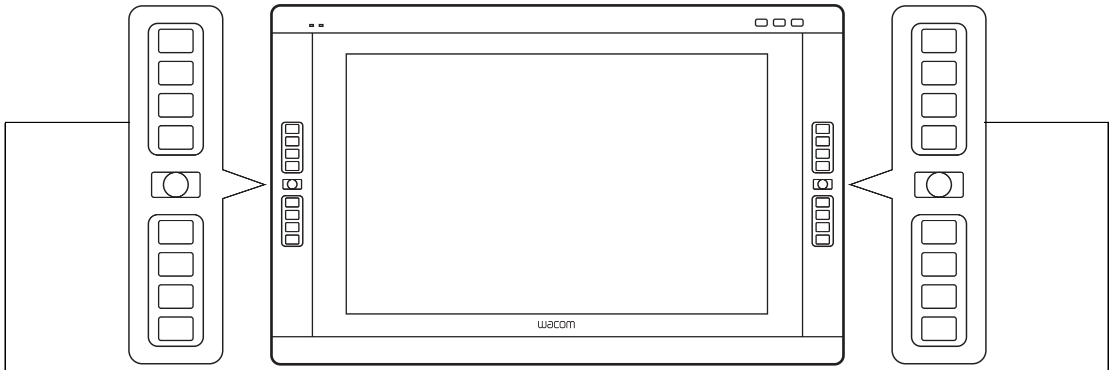


補足：ワンタッチ表示ボタンはカスタマイズできません。
お使いのコンピュータによっては、動作が遅い場合があります。

ファンクションキーを使う

ファンクションキーを押すと、よく使われる機能やキーストロークを実行できます。ファンクションキーは、作業を進めながら電子ペンまたはその他の入力デバイスのプロパティを変更するためにも使うことができます。

標準設定は以下のとおりです。
ここでは右利きの設定を例にしています。左利きの場合では、「ファンクションキー」の設定が左右逆になります。

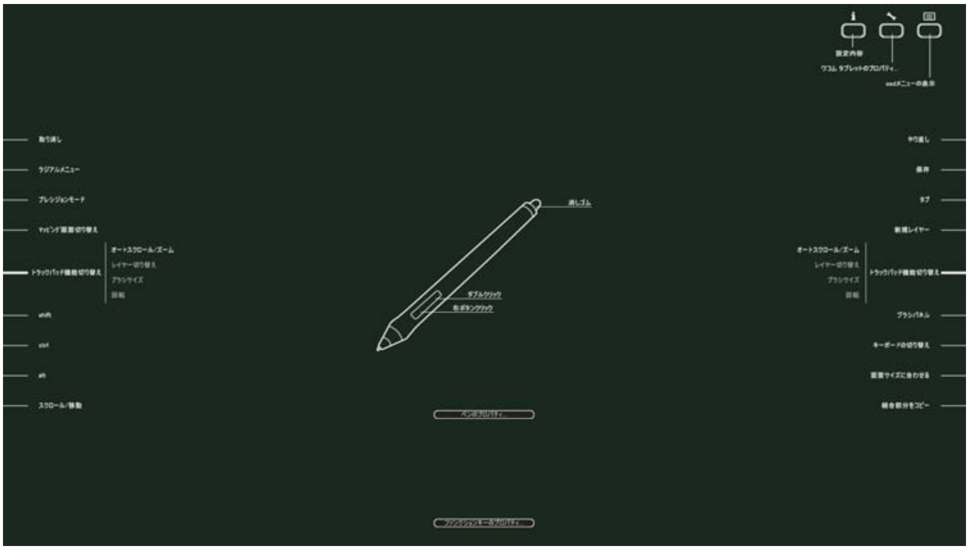


取り消し	やり直し
ラジアルメニュー	保存
プレシジョンモード	タブ
マッピング画面切り替え	新規レイヤー
[Shift] キー	ブラシパネル
[Ctrl/Cmd] キー	オンスクリーンキーボード
[Alt/Opt] キー	画面サイズに合わせる
スクロール / 移動（スペース）	結合部分をコピー

補足： 2 つのファンクションキーを組み合わせて操作することができます。たとえば、1 つのボタンに［Ctrl］キーを、別のボタンに［Alt］キーを割り当てた場合、両方のボタンを同時に押すと、［Ctrl］＋［Alt］が実行されます。

ヒント： • ラジアルメニューで本機の機能を拡張することができます。

- トラックパッド機能切り替えボタンを 2 秒間以上押すと、エクスプレスビュー画面が表示され、ファンクションキーの設定を表示します。
- ワンタッチ表示ボタンの左端のボタンを押すと、現在の本機の設定が一覧表示されます。「設定内容の表示」に設定したファンクションキーまたはデバイスボタンを押しても同じ働きをします。



次のようなファンクションキーの使い方もお試しください：

- よく使うキーボードのショートカットをキーに設定します。
- よく使うファイルあるいはソフトウェアを起動するようにキーを設定します。
- 電子ペンのサイドスイッチを使用したくない（または使用できない）場合は、ファンクションキーの 1 つを右クリックまたはダブルクリックに設定します。
- その他の割り当てられる機能から選択し、キーを設定します。詳しくはファンクションキーをカスタマイズするをご覧ください。

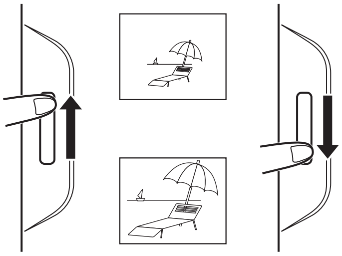
重要： ソフトウェアによっては、ファンクションキーの設定を無効にして、ソフトウェアがキーの機能を制御する場合があります。詳しくは、ペンタブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

コントロールパネルからファンクションキーの機能をカスタマイズします。

コントロールパネルでタブレットの設定を行う
コントロールパネルの概要
ファンクションキーをカスタマイズする

トラックパッドを使う

トラックパッド上で指を滑らせると、ズームインまたはズームアウト、下または上にスクロール、あるいは割り当てたキーストローク機能が実行されます。



ズームアウトの例

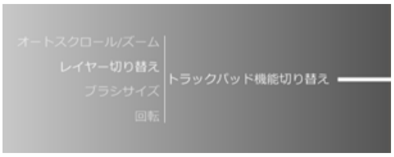
指を上向きに滑らせると、ズームアウトあるいは上にスクロールします。またトラックパッドの上部を軽くたたくと、割り当てた機能が 1 段階変化します。

ズームインの例

トラックパッドに沿って下方向に指を滑らせると、ほとんどのソフトウェアではズームインまたは下にスクロールします。またトラックパッドの下部を軽くたたくと、割り当てた機能が 1 段階変化します。

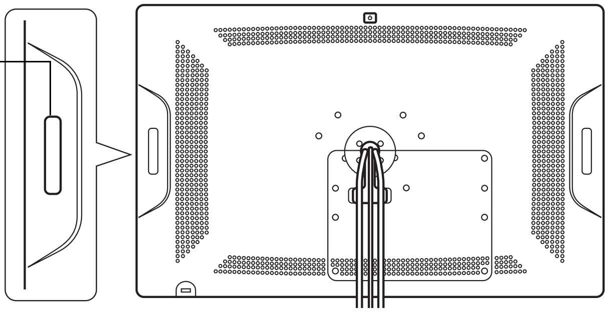
トラックパッド機能切り替えボタン（液晶ペンタブレット前面）を押すと、機能が切り替わります。左右のボタンはそれぞれ同じ側のトラックパッドの設定を切り替えます。機能が設定されていない場合は、スキップして次に切り替わります。

それぞれのボタンを押すと、ボタンの設定がディスプレイ上に表示されます。



トラックパッドの上部または下部を軽くたたくと、1 段階ずつ変化します。

トラックパッドのどちらかの端を押し続けると、連続でスクロールします。



標準設定は、左右のトラックパッドとも同じです。

「オートスクロール / ズーム」	グラフィックソフトでトラックパッドはズームに、他のソフトウェアではスクロールに設定されます。 ソフトウェアによっては、ズームがスクロールとみなされたり、あるいは全く機能が働かない場合があります。 同様に、スクロールがズームとみなされたり、全く働かない場合もあります。
「レイヤーの切り替え」	この機能をサポートするソフトウェアでは、トラックパッドを「レイヤーの切り替え」に設定することができます。
「ブラシサイズ」	Adobe Photoshop で、ブラシのサイズを大きくしたり小さくしたりできます。
「回転」	Adobe Photoshop で、画像全体を回転させたり 反転させることができます (Adobe Photoshop CS4 またはそれ以降対応)。

補足：トラックパッドの設定を変更するにはトラックパッドをカスタマイズするをご覧ください。

左利き設定の場合、「トラックパッド」の設定が左右逆になります。

重要： ソフトウェアによってはトラックパッドの設定を無効にして、ソフトウェアがトラックパッドの機能を制御する場合があります。詳しくは、ペンタブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

コントロールパネルからトラックパッドの機能をカスタマイズします。

コントロールパネルでタブレットの設定を行う
コントロールパネルの概要
トラックパッドをカスタマイズする

マルチディスプレイ環境で使う

本機および他のディスプレイを同一のコンピュータに接続して、マルチディスプレイ環境で使用することができます。

マルチディスプレイ環境で使用する場合には、他のディスプレイを操作するオプションがいくつかあります。

- ファンクションキーまたは電子ペンのサイドスイッチを「マッピング画面切り替え」機能に設定します。続いて設定したファンクションキーまたはサイドスイッチを押すと、本機と他のディスプレイとの間でポインタが対応する画面を切り替えることができます。

  例：マッピング画面切り替えによって本機を液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のペンタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

- ファンクションキーまたは電子ペンのサイドスイッチの 1 つを「ペン⇔マウスモード」に設定します。これによって本機の上で作業するペンモードと他のディスプレイ上で作業するマウスモードをすばやく切り替えることができます。

Intuos5 をお持ちの場合は、一緒に接続して、ペンモードで使うことができます。電子ペンは本機と Intuos5 で共通です。

補足：マルチディスプレイ環境の接続方法については、ご使用のコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

画面を調整する

様々な表示設定を、本機の操作で最適化できます。

画面を調整する
画面の調整
省電力機能

画面を調整する

標準設定（お買い上げ時の設定）：画面を最適品質にする場合には、コンピュータを本機で利用可能な最大解像度 1920x1080 に設定します。詳しくは「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

オートアジャスト機能：本機は、自動的に入力信号に同期します。オートアジャスト機能によって、水平および垂直位置、ピッチおよびフェーズが設定されます。オートアジャスト機能は、サポートする水平および垂直周波数レンジ間で機能します。詳しくは「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

アナログ RGB 接続をしていて、本機が入力信号と同期しない場合は、OSD メニューの Reset またはオートアジャスト機能を使用して調整することができます。さらに OSD メニューを使用して、手動で画面表示を調整できます。（デジタル接続の場合は調整できません。）

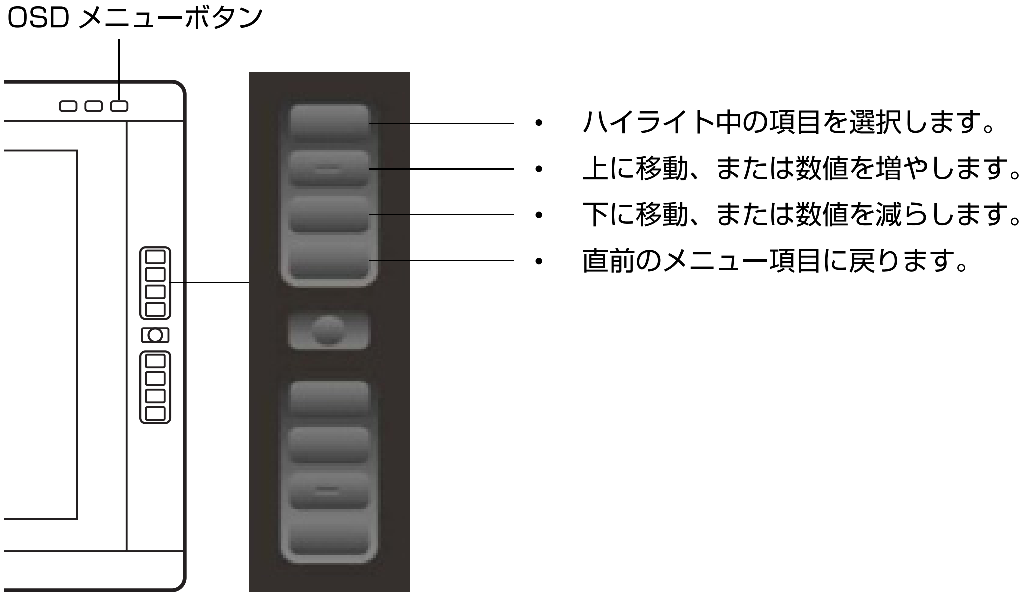
色補正：カラー、色温度、コントラスト、明るさ、またはバックライト輝度を標準設定値から変更すると、本機で使われているカラープロファイルは無効になります。

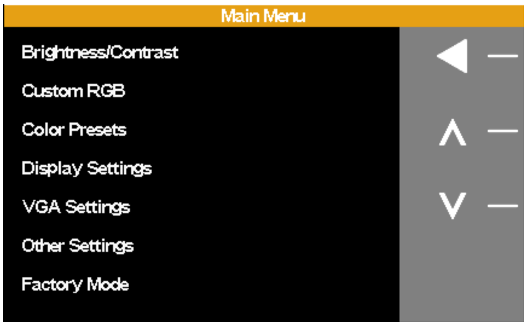
画面の調整

ワンタッチ表示ボタンの右端の OSD メニューボタンを使って、様々な画面表示の設定を、最適化することができます。

- OSD メニューボタンを押すと、右側のファンクションキーの上４つが画面調整モードに切り替わります。画面に、OSD メニューが表示されます。
- 画面に表示されるダイアログに従って、OSD メニューを操作してください。

画面調整モードでのファンクションキーの機能は、以下の通りです。





OSD メニュー

補足：OSD メニューボタン（ワンタッチ表示ボタンの右端のボタン）を押すと、OSD メニューが閉じ、設定はすべて保存されます。

元の設定に戻したい場合は、OSD メニューの中の「Reset」を選択し「YES」を選択すると、本機をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

OSD メニューは次の項目を調整および設定することができます。

「明るさ / コントラスト（Brightness/Contrast）」オプションは次の通りです。

- 「明るさ」画面の明るさを調節します。
- 「コントラスト」画面のコントラストを調節します。
- 「バックライト輝度」バックライトの明るさを調節します。

「カラーユーザー設定（Custom RGB）」オプションは以下の通りです：

- 「赤」個別に「R（赤）」の値を調整します。
- 「緑」個別に「G（緑）」の値を調整します。
- 「青」個別に「B（青）」の値を調整します。

  色設定を手動で変更すると、ICC カラープロファイルの設定が無効になります。

「カラー設定（Color Presets）」は以下の通りです。

- 「5000K」、「6500K」、「9300K」画面の色温度を設定できます。標準設定は「6500K」です。
- 「ダイレクト」無調整で、コンピュータからの映像信号を直接表示します。このオプションを選択すると、コントラストおよび明るさは調整できません。

「表示サイズ／位置設定（Display Settings）」オプションは以下の通りです。

- 「表示サイズ設定（Scaling）」オプション

  「全画面」画面全体に表示します。

  「縦横比」正確な縦横比を維持しながら最大の画面表示を行います。

  「1:1」実際の解像度で表示します。
- 「水平位置（Horizontal Position）」（アナログ RGB のみ）画像の水平位置を変更します。

  自動調整する場合は、オートアジャスト機能を使用します。
- 「垂直位置（Vertical Position）」（アナログ RGB のみ）画像の垂直位置を変更します。

  自動調整する場合は、オートアジャスト機能を使用します。

「VGA 設定（VGA Settings）」は以下の通りです。

- 「フェーズ」（アナログ RGB のみ）画像が揺れたりちらついたり横縞などが発生した場合に使用します。ピッチを先に調整してください。
- 「ピッチ」（アナログ RGB のみ）画像が揺れたりちらついたり縦縞などが発生した場合に使用します。
- 「オートアジャスト」（アナログ RGB のみ）フェーズ、ピッチ、水平・垂直位置の全ての自動調整が可能です。

「OSD メニュー設定（Other Settings）」は以下の通りです。

- 「OSD メニュー言語設定（Language）」OSD メニューの表示に使用される言語を選択します。
- 「OSD メニュー透明度（Menu Transparency）」OSD メニュー背景の不透明度を変更します。
- 「リセット（Reset）」を使用すると、すべての設定が工場出荷時の標準設定に戻ります。

省電力機能

本機は、VESA のパワーセービングガイドラインに準拠しています。

DPMS（Display Power Management Signaling）に対応したコンピュータまたはグラフィックボードに接続すると、操作していないときには自動的に以下のような省電力状態になります。

コンピュータの動作状態	水平同期信号	垂直同期信号	画像信号	パワーランプ
電源オン	あり	あり	あり	青色
スタンバイモード	なし	あり	なし	オレンジ色
サスペンドモード	あり	なし	なし	オレンジ色
オフモード	なし	なし	なし	消灯

本機をカスタマイズする

本機の基本的な使い方を習得した後に、本機や電子ペンの機能をカスタマイズします。この章では、コントロールパネルを使い本機や入力デバイスをカスタマイズする方法について説明します。

操作に慣れたユーザは、特定のソフトウェアに対する設定を作成することにより、本機を最適な状態でお使いいただくことができます。

コントロールパネルでタブレットの設定を行う
コントロールパネルの概要
ペン先の位置調整
ペンをカスタマイズする
ファンクションキーとトラックパッドをカスタマイズする
ボタン機能
ラジアルメニューの使い方と設定
マッピング画面切り替えを使う
特定のソフトウェアに対する設定
複数デバイスでの作業
本機の登録名を変更する

コントロールパネルでタブレットの設定を行う

ワンタッチ表示ボタンでタブレットを押して、本機のコントロールパネルを起動します。

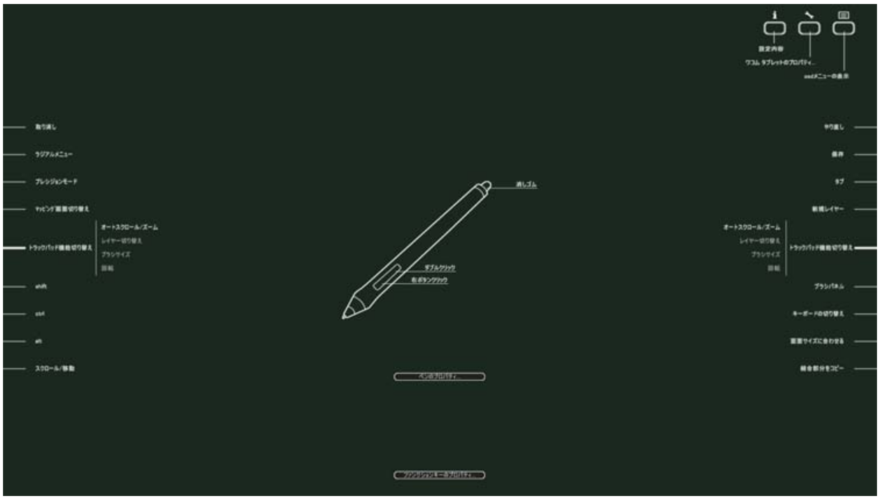
また本機の画面上で電子ペンを使って開くこともできます。

- Windows の場合：Windows の「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」を選択し、「ワコムタブレットのプロパティ」オプションを選択します。
- Mac の場合：アップルメニューの「Dock」または「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開きます。次に、「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

コントロールパネルを開き、本機のカスタマイズを始めます。コントロールパネルの概要をご覧ください。

補足：ユーザ固有の環境設定を保存することができます。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、新しいユーザの設定に切り替わります。

ヒント：ワンタッチ表示ボタンの左端のボタンを押すと、現在の液晶ペンタブレットの設定が一覧表示されます。



「設定内容の表示」の各項目をクリックすると、該当するコントロールパネルのタブが開きます。

機種によって表示あるいは設定の一部が異なる場合があります。

コントロールパネルの概要

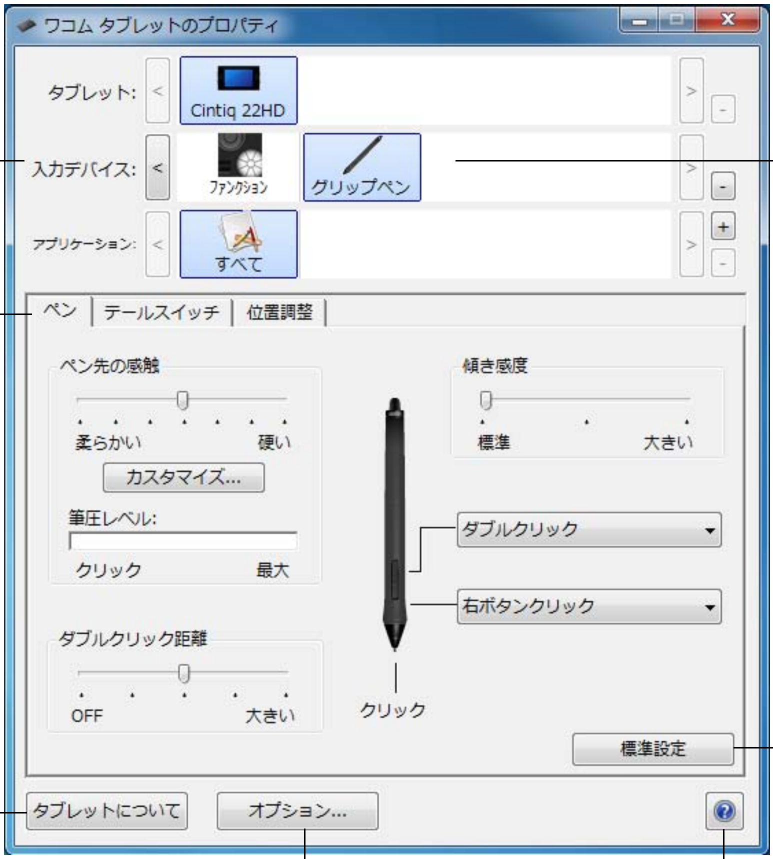
コントロールパネルを使って本機やペンをカスタマイズできます。コントロールパネルを開くと、電子ペンやその他の入力デバイスのアイコンが「入力デバイス」に表示され、その内容に応じてタブが表示されます。

カスタマイズする場合は、タブの設定を変更します。いろいろな設定を試して、最適な設定を見つけてください。設定の変更は直ちに有効となります。「標準設定」をクリックすると、いつでもお買い上げ時の標準設定に戻ります。

ご使用のペンタブレット、入力デバイスおよびソフトウェアの設定を表すアイコンを表示します。

「ファンクション」を選択して、「ファンクションキー」、「トラックパッド」の各設定をカスタマイズします。

電子ペンの設定をするときは「グリップペン」などの入力デバイスを選びます。本機の画面上で電子ペンを使用すると、このアイコンは自動的に「入力デバイス」リストに追加され、標準設定で機能します。



各タブには、選択した「入力デバイス」に対応するカスタマイズ可能な設定が表示されます。

ペンタブレットとタブレットドライバに関する情報を記載したダイアログを表示します。必要に応じて「診断」ダイアログボックスを開くこともできます。

各タブの設定を標準設定の状態に戻します。

「オプション設定」ダイアログを表示します。

ユーザーズガイド（本書）を表示、またはダウンロードできます。

ヒントはほとんどのコントロールパネルの項目の上に表示されます。項目の上にポインタを置いて静止させると、すぐにヒントがポップアップします。

キーボードのタブと矢印キーを使って、コントロールパネルを操作することもできます。

コントロールパネルリストとタブ：コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」および「アプリケーション」リストから、設定変更するペンタブレット、入力デバイス、およびソフトウェアを選択できます。

「タブレット」リストには、コンピュータに接続しているペンタブレットのアイコンが表示されます。リストの下のタブに表示される設定はすべて、選択したペンタブレットに適用されます。

- ペンタブレットがコンピュータに接続されていないときは表示されません。
- 接続しているペンタブレットの設定を閲覧または変更することができます。
- コンピュータに接続されていないペンタブレットの設定は、コントロールパネルリストから削除できません。

複数ペンタブレットの設置と本機の登録名を変更するもご覧ください。

現在の選択がハイライトされます。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」およびペンタブレットで使われている入力デバイスのアイコンが表示されます。

特定の入力デバイスをカスタマイズするには、「入力デバイス」リストの該当するアイコンをクリックし、該当するタブを表示します。ファンクションキーとトラックパッドをカスタマイズするとペンをカスタマイズするをご覧ください。

補足：新しいデバイスが、初めて本機で使用されると、自動的に「入力デバイス」リストに標準設定の状態で追加されます。

複数デバイスでの作業もご覧ください。

「アプリケーション」リストを使って、特定のソフトウェアごとに適用する「入力デバイス」設定を定義できます。特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。

補足：「アプリケーション」リストは必要に応じて設定してください。お使いの入力デバイスをカスタマイズするために、ソフトウェアを選択または追加する必要はありません。

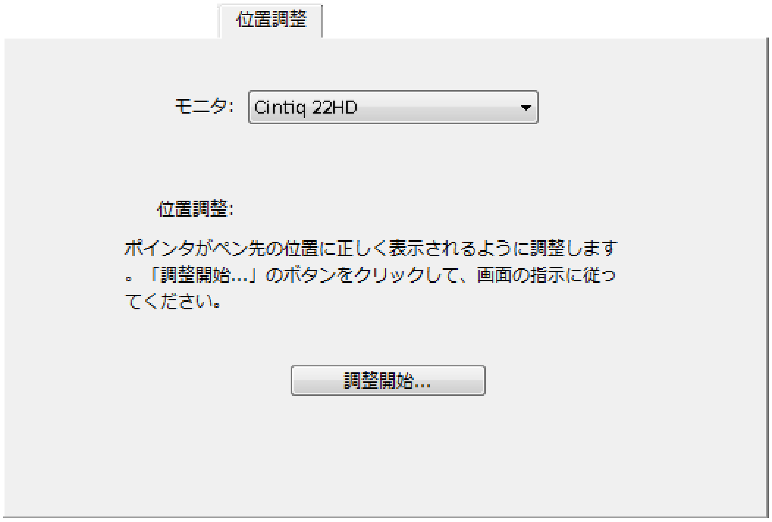
ペン先の位置調整

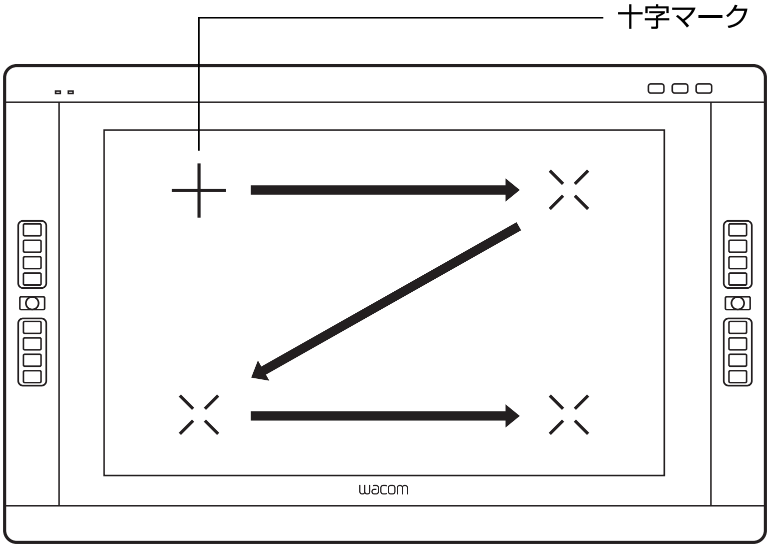
本機を最適な状態でお使いいただくために、ペン先の位置調整を行い、ポインタとペン先の位置を合わせる必要があります。これは、保護ガラスによる視差の調整のために必要です。本機を通常使用するときの姿勢と目の位置（高さ）で、次の手順を行ってください。

重要：アナログ RGB で接続している場合は、位置調整をする前に「オートアジャスト」を行ってください。画面の調整をご覧ください。

1. コントロールパネルを開きます。

   コンピュータに複数のペンタブレットを接続している場合は、本機を「タブレット」リストから選択します。
2. 「入力デバイス」リストから「グリップペン」を選択します。
   次に「位置調整」タブを選択します。
3. 複数のディスプレイを使用している場合は、「モニタ」欄で本機を選んでください。コンピュータが認識しているディスプレイがリストに表示されます。
4. 「調整開始 ...」をクリックして位置調整画面を開きます。
5. 電子ペンを持ち、通常本機を使うときの姿勢と目の位置（高さ）を保ちます。続いて左上の十字マークの中心をペン先でクリックします。
6. 続いて右上→左下→右下の順に十字マークの中心をクリックします。
7. 画面上のいくつかの異なる点にペン先を置いて、位置合わせのテストを行います。
   位置調整が正しければ「OK 」をクリックします。再度位置調整をする場合は「再試行」をクリックします。

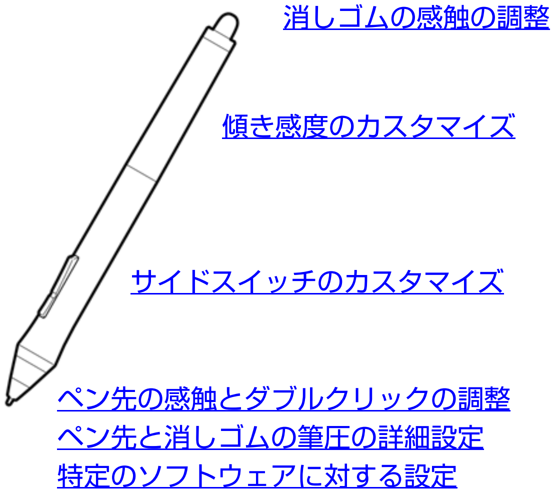




ヒント：ポインタを実際のペン先の位置から少しずらすには、十字マークからずれた位置を示す点をクリックして位置調整します。たとえば、ポインタの位置をペン先の左上方 2.5 mm に表示させるには、十字マークの右下方 2.5 mm の点をクリックして位置調整します。

ペンをカスタマイズする

最初に電子ペンでコントロールパネルを開くと、「入力デバイス」リストから自動的に「グリップペン」が選ばれ、その内容に応じてタブが表示されます。選ばれない場合は、手動で「グリップペン」を選んでください。タブを選択し、使用可能なオプションを設定します。



本機では、オプション品のアートペンやエアブラシをお使いになることができます。

- アートペンは筆圧に対応したペン先とテールスイッチ（消しゴム）を搭載し、さらに傾き、回転にも対応しています。回転の検出をサポートするソフトウェアで使用すると、ペン軸を回転させるだけで、線の幅を狭くしたり太くしたりできます。
- エアブラシは本物志向のデジタルエアブラシです。筆圧機能、消しゴム機能、傾き検出、およびホイール機能を搭載し、アナログのエアブラシの感覚をそのままに作業できます。

本機のタブレットドライバは、これらの入力デバイスをサポートしています。本機の画面上でこれらの入力デバイスを使用すると、「入力デバイス」リストに追加されます。コントロールパネルが自動で更新され、新しい入力デバイスとカスタマイズ可能なオプションが表示されます。

エアブラシのホイール、アートペンの回転をサポートしているソフトウェア内で、これらの機能を調節することができます。詳しくはソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

これらのオプションデバイスやその他オプション品を購入するには、ワコムストアのホームページをご覧ください。

http://store.wacom.jp/

ワコムのホームページで、エアブラシ、アートペンの機能をサポートしているソフトウェアを確認できます。

http://wacom.jp/

ペン先の感触とダブルクリックの調整

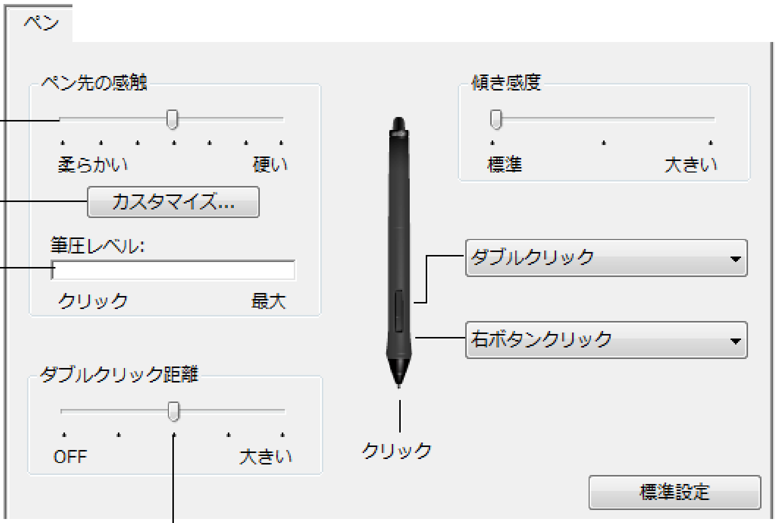
「ペン」タブを選択します。

クリックしたり線を描いたり色を塗る際に必要な筆圧を、カスタマイズします。

太い線で描きたい、または軽い力でクリックしたい場合は、より「柔らかい」に設定します。強い筆圧で細い線を描きたいときは、より「硬い」に設定します。

ペン先の感度をさらにカスタマイズしたいときクリックします。

ペン先で画面上の空き領域を押して「ペン先の感触」の設定をテストします。無理なく最大筆圧を得るために必要な筆圧をスライダで調整します。



ダブルクリックする領域の大きさを調整します。

ダブルクリックアシストを作動しないようにするには、スライダを OFF の位置へドラッグします。

ヒント：「ペン先の感触」を「柔らかい」の方へ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。

ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。電子ペンを少し押しただけでブラシサイズが画面上で拡大する場合は、「ペン先の感触」を「硬い」の方へ設定してみてください。

ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲（ダブルクリック距離）を大きくします。

グラフィックソフトによっては、ダブルクリック距離を大きくすると筆のストロークに時間差が生じるため、ドラッグの動きやインクのストロークにも時間差が生じることがあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチまたはファンクションキーを使用してダブルクリックをする設定もできます。

消しゴムの感触の調整

「テールスイッチ」タブを選択します。

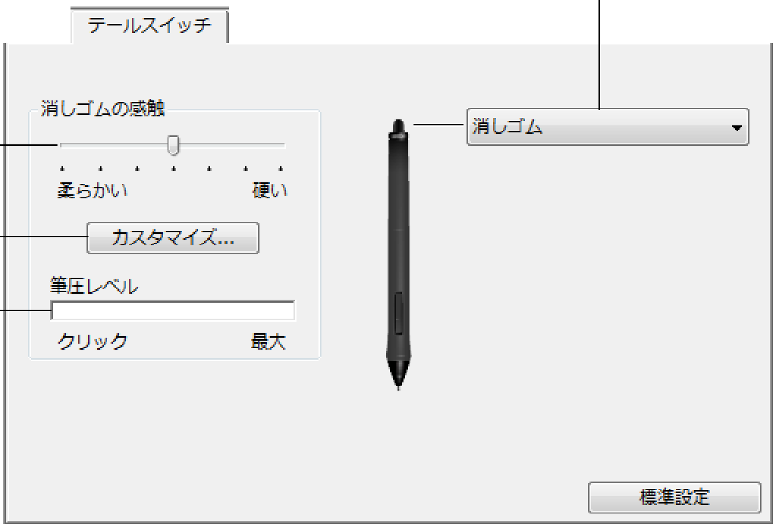
補足：製品によっては、消しゴム機能をサポートしていない場合があります。

消しゴムを使用する場合に実行する機能を選択します。

消しゴムの筆圧をカスタマイズします。

消しゴムの感度をさらにカスタマイズしたいときにクリックします。

テールスイッチで画面上の空き領域を押して「消しゴムの感触」の設定をテストします。無理なく最大筆圧を得るために必要な筆圧をスライダで調整します。



ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定

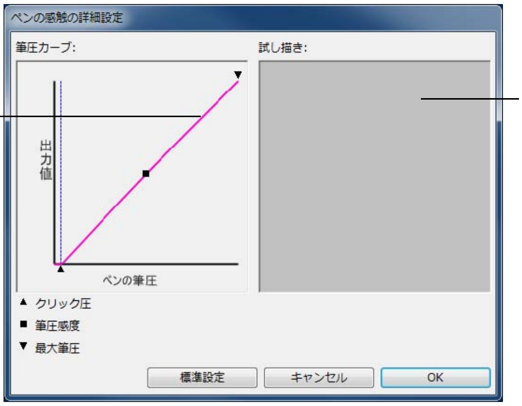
ペン先あるいは消しゴムの筆圧を設定する場合、「ペン」または「テールスイッチ」タブを選択し、「カスタマイズ…」ボタンをクリックします。「ペンの感触の詳細設定」ダイアログボックスのオプションで、ペン先または消しゴムの筆圧感度とクリックのしきい値設定を変更できます。

筆圧カーブは、選択した筆圧感度の曲線とクリック圧の設定を図で示したものです。

筆圧の各コントロールを動かして、筆圧カーブを変更します。

- 「クリック圧」は、筆圧の登録やペン先でのクリックに必要な荷重を設定します。
- 「筆圧感度」を調節し、筆圧カーブの傾きを変更します。
- 「最大筆圧」は、最大筆圧を得るために必要な荷重を設定します。

急激な増加を表す曲線は、ペンの感度が高いことを示します。

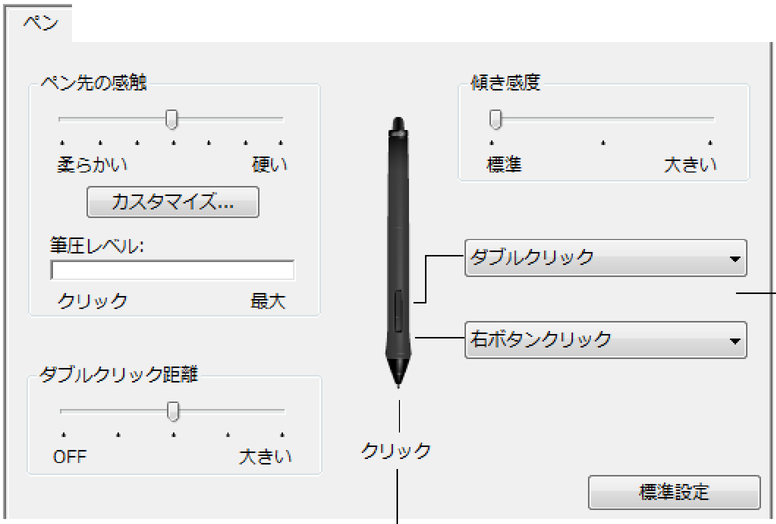


ペン先、または消しゴムを使って、ボックス内を何度か試し描きしてみて、変更結果をテストしてください。

重要：「ペン先の感触」、または「消しゴムの感触」のスライダと詳細な設定は連動しているため、変更される際にはご希望に合う設定画面をお使いください。詳細な設定をカスタマイズしてから、スライダをドラッグすると、詳細設定で設定した内容が削除されます。

サイドスイッチのカスタマイズ

「ペン」タブを選択します。



上側または下側のサイドスイッチを押した場合に働く機能を選択します。

画面に触れずにペン先を画面から 5 mm 以内に近づけて、上側または下側のサイドスイッチを押すと、設定した機能が実行されます。

ヒント：簡単にダブルクリックを行うには、サイドスイッチに「ダブルクリック」を設定します。

ペン先にクリック以外の機能を割り当てる場合には、文字の上をダブルクリックします。

- クリックが設定されていないと、電子ペンでウィンドウの操作ができなくなる場合があります。サイドスイッチのどちらかを、必ず「クリック」機能に設定してください。
- グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

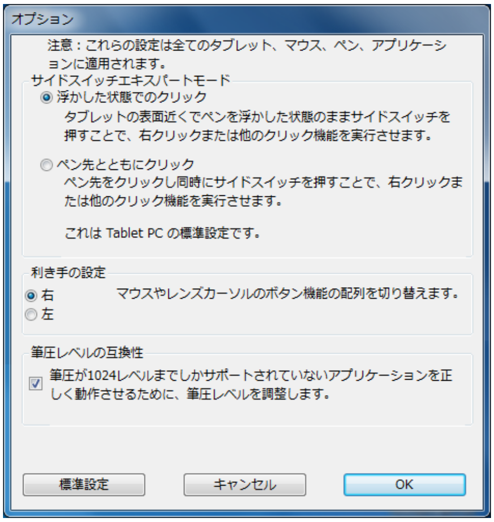
「サイドスイッチエキスパートモード」を変更して、右クリックなどのクリック機能を実行する場合の方法を変えることができます。コントロールパネルの「オプション」ボタンをクリックしてください。

以下を選択してください。

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合、ペン先を液晶画面に接触させずにクリック機能を実行することができます。これは、タブレット PC を除くすべてのオプションの標準設定です。
- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合、正確な位置でクリックすることができます。選択されている場合、この機能を実行するには、サイドスイッチを押しながらペン先を画面に接触させます。

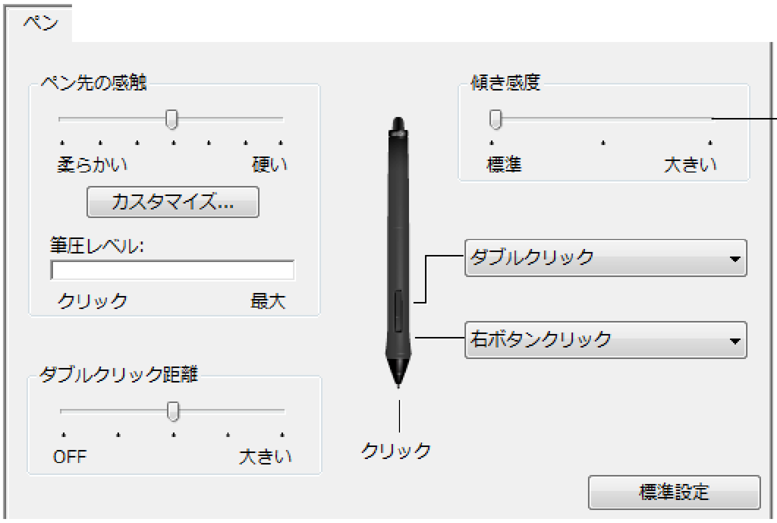
浮かした状態での
クリック

ペン先とともに
クリック



傾き感度のカスタマイズ

電子ペンの傾き感度を調整するには、「ペン」タブを選択します。傾きに対応するソフトウェアで、ペンをどれくらい傾けるかを決めて、ペンの傾き効果が最大限に発揮できるようにします。高い感度では、低い感度ほどペンを傾ける必要はありません。



スライダをドラッグして、「傾き感度」の高低を調整してください。次に、傾きをサポートするソフトウェアで新しい設定をテストします。

傾きの設定はペン先およびテールスイッチ（消しゴム）の両方に適用されます。

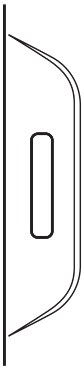
傾きはペンを動かす方向に反応します。ソフトウェアによっては、ブラシの方向やその他の特性をコントロールするために、傾きが使えます。

ワコムのホームページで、傾きをサポートしているソフトウェアを確認できます。

注意：動作を保証するペンの傾き角度は、垂直から 40 度までです。

ファンクションキーとトラックパッドをカスタマイズする

ファンクションキーやトラックパッドをカスタマイズするには、コントロールパネルを開いて、「入力デバイス」リストから「ファンクション」アイコンを選択します。カスタマイズするタブを選択して、利用可能なオプションを使用して設定を変更します。

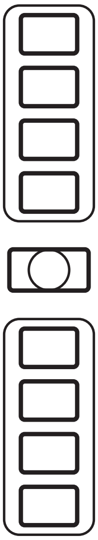


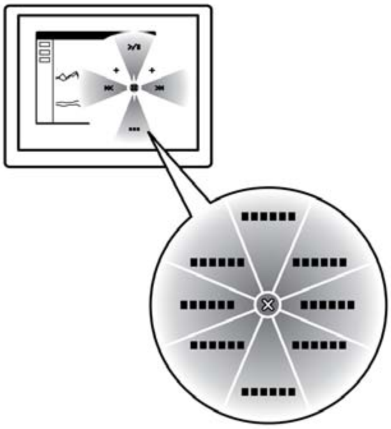
トラックパッドをカスタマイズする

ファンクションキーをカスタマイズする

マッピング画面切り替えを使う

特定のソフトウェアに対する設定





ラジアルメニューの使い方と設定

ファンクションキーをカスタマイズする

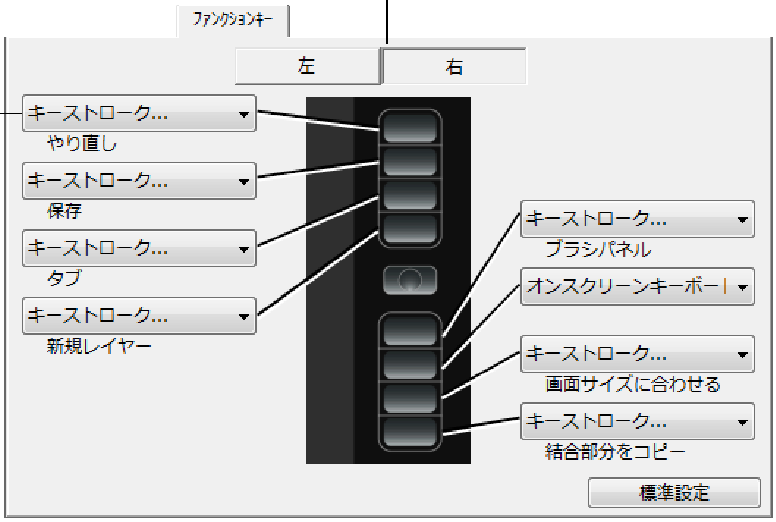
ファンクションキーをカスタマイズするときは、「ファンクションキー」タブを選びます。マッピング画面切り替え、修飾キー、キーストローク、その他の機能を各キーに割り当てることができます。

カスタマイズするファンクションキー（「左」または「右」）を選択します。

キーを押した場合に実行される機能を選択します。

ファンクションキーは、特定のソフトウェアごとに設定することができます。

詳しくはファンクションキーを使うをご覧ください。



重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキーの設定を無効にして、ソフトウェアがファンクションキーの機能を制御する場合があります。詳しくは、ペンタブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

トラックパッドをカスタマイズする

トラックパッドをカスタマイズするときは「トラックパッド」タブを選びます。各種ズーム機能、スクロール機能、あるいはキーストローク機能をトラックパッドに割り当てることができます。例えば Adobe Photoshop での作業中では、トラックパッド機能の 1 つをレイヤーの切り替えに設定することができます。また、トラックパッドの機能を「無効」にすることもできます。

カスタマイズするファンクションキー（「左」または「右」）を選択します。

トラックパッドを使用した場合に実行される機能を選択します。各トラックパッドは、4 通りの異なったモードにカスタマイズできます。

ズーム速度やスクロール速度、キーストロークイベントをソフトウェアに送る速度を調整できます。

トラックパッド機能は、ソフトウェアの設定に合わせてソフトウェアごとに設定できます。

詳しくはトラックパッドを使うをご覧ください。

トラックパッド設定の一欄表示を有効または無効にします。

ヒント：

- トラックパッドをその他の機能にカスタマイズするには、「キーストローク ...」オプションを選択し、特定のキーストローク機能を割り当てます。ソフトウェアによるショートカットキーのサポートについては、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。
- トラックパッドの機能を切り替えるときは、トラックパッド機能切り替えボタンを押します。
- 「スキップ」を選択すると、機能の状態をスキップするようにトラックパッド機能切り替えボタンを設定できます。
- Adobe Photoshop CS3 以降で、ポインタの位置する画像をズームするには、「Photoshop」メニュー→「環境設定」→「一般」を選択します。続いて「スクロールホイールでズーム」オプションをチェックして、「OK」をクリックします。

重要：ソフトウェアによっては、トラックパッドの設定を無効にして、ソフトウェアがトラックパッドの機能を制御する場合があります。詳しくは、ペンタブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

ボタン機能

使い方に合わせて本機をカスタマイズしてください。サイドスイッチ、ファンクションキー、トラックパッド、ラジアルメニューの設定は、コントロールパネルから簡単に変更することができます。

機能名	内容
クリック	
• クリック	クリックを行います。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずボタンの１つに設定してください。
• 右ボタンクリック	右クリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
• 中ボタンクリック	中ボタンクリックを行います。
• ダブルクリック	ダブルクリックを行います。ペン先で２度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• クリックロック	サイドスイッチを１回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放す動作になります。クリックロックは、オブジェクトをドラッグする、またはテキストブロックを選択する場合に便利です。
• 第４ボタンクリック	マウスの第４ボタンを押すことに相当します。
• 第５ボタンクリック	マウスの第５ボタンを押すことに相当します。

機能名 | **内容**

キーストローク ....

キーストロークをシミュレートできます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。

１つのキーストロークか、またはキーストロークを組み合わせて「キー」ボックスに入力できます。キーストロークには、文字、数、F3 のようなファンクションキー、修飾キー（Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl]、Mac では [shift]、[option]、[command]、[control] キー）を組み合わせることができます。

「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。

キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。

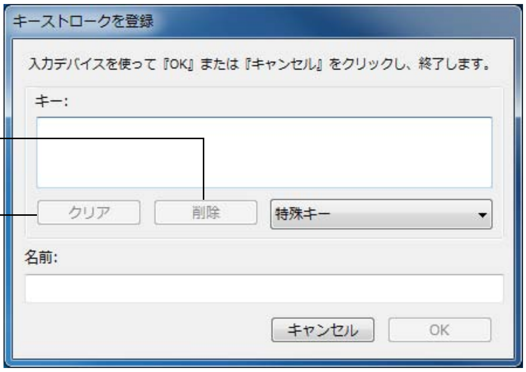
重要：[Enter] キー (Windows) と [Return] キー (Mac) は、キーストロークとして定義できるため、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択する場合に使用しないでください。必ず電子ペンを使用して「OK」ボタンをクリックしてください。

キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールまたはラジアルメニューに表示されます。

キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。詳細については特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。

キーストローク入力ボックスに入力した最後の内容を削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアにします。



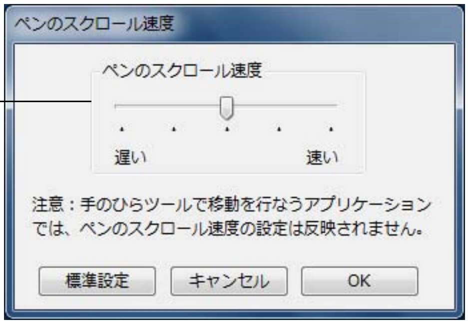
ソフトウェアでサポートされているキーストロークショートカットについては、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

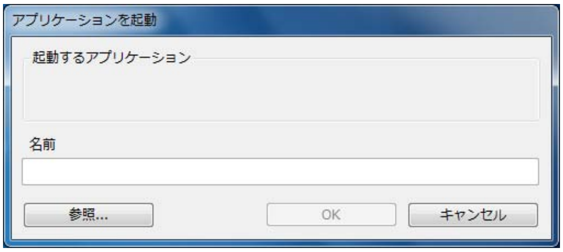
修飾キー ....

修飾キー（Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Mac では [shift]、[option]、[command]、[control] キー）をシミュレートできます。多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。

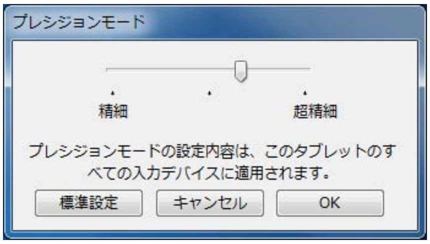
１ つ以上のキーオプションを選択します。

「クリック」オプションの１つをチェックすると、スイッチを押すと必ずマウスのクリックが実行されるようになります。

機能名	内容
ラジアルメニュー	画面上にラジアルメニューを表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、８つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。
戻る	ブラウザで「戻る」機能を実行します。
進む	ブラウザで「進む」機能を実行します。
スクロール / 移動 （ペンのみ）	「スクロール / 移動」に設定されたサイドスイッチを押して、本機の画面上でペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。 「スクロール / 移動」を選択すると、ダイアログボックスが表示されます。 **補足**：手のひらツール（ピクセルレベル）で移動を行うソフトウェアでは、スクロール速度の設定が反映されません。 「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。 • 設定を遅くすると、スクロールの速度が遅くなります。画像を正確にコントロールしなければならないような細かい作業に有効です。 • 電子ペンが動く方向に従って文書や画像がスクロール、または移動します。 • 目的位置までスクロールまたは移動させたら、サイドスイッチを指から離すか、ペン先をペンタブレットから離してください。 • あるソフトウェアでは、文書はペン先の動きにつれて正確にポインタに追従しますが、別のソフトウェアでは文書はポインタと同じ方向に移動するのみです。 
デスクトップの表示	開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。
タスク切り替え	起動中のソフトウェアの中で、前面に表示させたいソフトウェアをウィンドウ切り替えダイアログから選択できます。Aero を搭載した Windows 7 または Windows Vista では、3D フリップが起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。

機能名	内容
開く / 起動	ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。 「参照」ボタンをクリックして、起動するソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択します。「名前」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。「OK」をクリックします。  ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く / 起動 ...」オプションがボタンオプションとして割り当てられます。サイドスイッチを押すだけで、割り当てたオプションが実行されます。 ラジアルメニューに選択した場合、ラジアルメニューリストに表示されるようになります。
Ink 文字認識 ON/OFF	（Mac のみ） Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り替えます。Ink は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。Ink の使い方については Mac のヘルプをご覧ください。
オンスクリーンキーボード	ボタンを押すと、画面上にキーボードが表示されます。再度押すと、キーボードは閉じます。
Exposé	（Mac のみ）：画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク ....」→「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。
筆圧一定	ボタンを放すまで、筆圧を一定に保ちます。たとえば、ブラシが好みのサイズになるまで、筆圧を変えながら線を描きます。次にボタンを押すと、ボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。

機能名	内容
プレシジョンモード	現在のペン先位置周辺のマッピング比率を変更します。ポインタの移動距離に対し、電子ペンの移動距離をより長く設定します。電子ペンやブラシでぶれないきれいな図形を描くために役立ちます。 この機能をデバイスボタンに割り当てると、プレシジョン設定を調節できるようになります。 機能を有効にするには： • ずっと使う場合、機能を割り当てたデバイスボタンを押すと、「プレシジョンモード」に切り替わります。再度同じデバイスボタンを押すと、通常のマッピングに戻ります。 • そのときだけ使う場合、機能を割り当てたデバイスボタンを押し続けます。デバイスボタンを離すと、通常のマッピングに戻ります。 ペンやマウスがマウスモードの場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。
マッピング画面切り替え	本機がマルチディスプレイ環境にあるとき使用できます。 マルチディスプレイ環境の場合、本機と他のディスプレイの間でポインタを切り替えることができます。たとえば本機を液晶ペンタブレットとして使用したり（ポインタの位置はペン先）、マッピング画面切り替え機能を使って標準のペンタブレットとして使用する（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）ことができます。



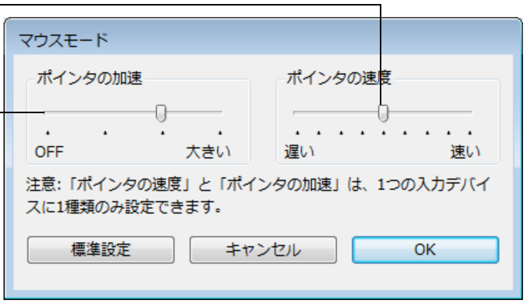
<table>
<tr><th>機能名</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>ペン⇔マウスモード</td><td>

ペンモードとマウスモードを切り替えます。本機をマルチディスプレイ環境で使う場合、これによって電子ペンをマウスと同じように使用することができるようになります。

スイッチやボタンを「ペン⇔マウスモード」に設定すると、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速度とスピードを調整できます。

マウスモードではポインタの速度を設定します。

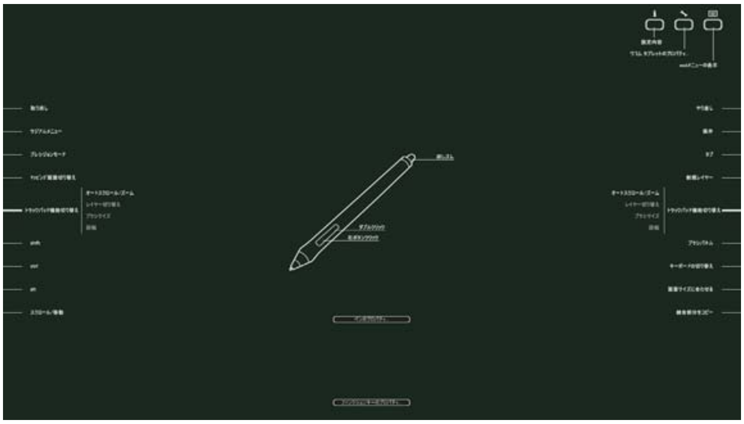
マウスモードではポインタの加速を設定します。



「マウスモード」はコントロールパネル内の別のダイアログからでもアクセスし設定できます。「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、カスタマイズ中の電子ペンとソフトウェアにつき、１つしか設定できません。

マウスモードの設定は、システム設定からは独立しています。コントロールパネルで設定を変更しても、システム側の同内容の項目の設定には影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、本機の設定に影響する場合があります。

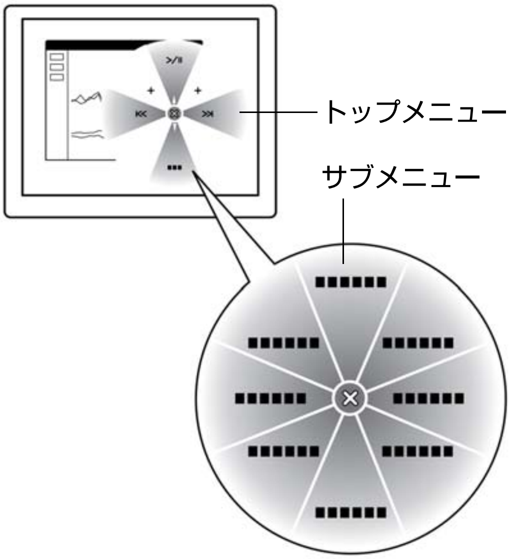
</td></tr>
<tr><td>消しゴム</td><td>ペン入力のみのオプションです。「消しゴム」機能に対応しているソフトウェアでは、このボタンを押したときにペン先が消しゴムの役割をします。消しゴムの標準設定については消しゴムを使うをご覧ください。</td></tr>
</table>

機能名	内容
設定内容の表示	ファンクションキー、トラックパッド、およびペンのインタラクティブな（コントロールパネルとリンクする）設定一覧を画面に表示します。現在割り当てられている機能が表示されます。  「設定内容の表示」のファンクションキーやトラックパッド、ペン、タッチの各項目をクリックすると、対応するコントロールパネルのタブが開きます。続いて必要な設定変更を行います。 この機能が割り当てられているファンクションキーやその他のデバイスボタンを再度押すか、または画面の各項目以外の領域のどこかをクリックすると、「設定内容の表示」が閉じます。 お使いの機種によっては表示や設定の一部が異なる場合があります。
タブレット PC	
• Tablet PC 入力パネル	Starter を除く Windows 7 あるいは Home Basic を除く Windows Vista で、この機能に設定したボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。
• Windows Journal	Starter を除く Windows 7 あるいは Home Basic を除く Windows Vista で、Microsoft Journal を開きます。
無効	ボタン設定を無効にします。
アプリケーションの設定に従う	ソフトウェアにボタンの数の情報を送ります。この機能は、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェア用です。
標準設定	ボタンを標準設定に戻します。

ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューはポップアップメニューです。編集、ナビゲーション、メディア操作などが簡単に行えるようになります。

- サイドスイッチ、またはファンクションキーに「ラジアルメニュー」機能を設定します。ボタンを押すと、ポインタの位置を中心にラジアルメニューが表示されます。
- 改造構造を持つラジアルメニューが円形で表示されます。
  メニューの各レベルは、8 つの項目で構成され、各項目にはさまざまな機能と選択可能なオプションが設定できます。
- メニューをクリックして機能を選択します。項目によってはサブメニューが表示され、さらにオプションを選ぶことができます。
- ラジアルメニューからオプション機能を選択すると、メニューは終了します。
  機能を選択せずにラジアルメニューを終了する場合、メニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。「ラジアルメニュー」が割り当てられたボタンを押して、再びメニューを表示することができます。
- ラジアルメニューを開くボタンを押し続けると、ラジアルメニューを表示したままメニュー項目をクリックできます。



コントロールパネルの「ラジアルメニュー」タブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

1. メニュー項目を選択します。
2. 「機能」でメニュー項目に機能を割り当てます。「表示名」でメニュー名を変更することもできます。
3. さらにカスタマイズする場合は、メニューまたはサブメニューを選んで同様の操作を行います。

ヒント： サブメニューをカスタマイズするときは、「機能」メニューで「サブメニュー」を選択します。

「表示名」が複数行になるときは「ENTER (RETURN)」キーを押して改行してください。

マッピング画面切り替えを使う

「マッピング画面切り替え」はシステムがマルチディスプレイで構成されている場合に利用できます。ファンクションキーまたは電子ペンのサイドスイッチに「マッピング画面切り替え」を設定すると、ボタンを押すたびにポインタの位置を本機と他のディスプレイの間で切り替えることができます。本機を液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のペンタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体または接続された他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

コントロールパネルを開き、本機が選択されていることを確認します。本機がマルチディスプレイ環境で使用されている場合、「マッピング画面切り替え」タブが表示されます。このタブで、各ディスプレイのマッピング方法を設定します。

- 「デスクトップ全体に切り替える」を設定し「マッピング画面切り替え」を割り当てたボタンやサイドスイッチを押すと、マルチディスプレイ領域全体を操作できるようになります。もう一度押すと、ポインタは本機へ戻ります。
- 「他のモニタに切り替える」に設定し、「マッピング画面切り替え」を割り当てたボタンやサイドスイッチを押すと、ポインタは他のディスプレイに表示されます。他のディスプレイが複数あるときは、サイドスイッチを押すたびにポインタはディスプレイ間を移動し、最後に本機に戻ります。

重要：「マッピング画面切り替え」で特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合、アプリケーションリスト（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのアプリケーション（ソフトウェア）に「マッピング画面切り替え」が割り当てられたボタンがあるかを確認してください。特定のソフトウェアに対する設定を行う前に、「マッピング画面切り替え」をファンクションキーの 1 つに割り当てておくことをおすすめします。

「有効領域」オプションを使って、画面上の操作エリアのサイズを設定できます。

- 「縦横比を保持」は操作エリアのサイズを調整して、本機とデスクトップ全体または新規にマッピングされたディスプレイの間で正確な縦横比率を保持します。設定内容によっては、操作エリアの一部は、このオプションを選択した場合に使用できなくなる場合があります。選択をしないと、正確な縮尺比または比率は維持されません。たとえば、画面に円を描いてもマッピングされたディスプレイ画面上では楕円が描かれます。
- 「小さな領域を使う」は、液晶ペンタブレットの操作エリアを 15.2 × 20.3 cm のサイズに制限します。もし「縦横比を保持」も合わせて選択すると、操作エリアはさらに小さくなります。選択をしないと、液晶ペンタブレットの操作エリアの大部分が液晶ペンタブレットからディスプレイへのマッピングに使用されます。

操作エリアの赤枠が選択された範囲です。

特定のソフトウェアに対する設定

使用する入力デバイスは、特定のソフトウェア向けにカスタマイズできます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定できます。「アプリケーション」リストにアプリケーション（ソフトウェア）を追加し、次に追加したソフトウェアに対して入力デバイスの設定をカスタマイズします。

- ソフトウェアごとの設定を行わずに、入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択した場合、「アプリケーション」リストには「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、電子ペンの設定をソフトウェアすべてに適用します。以下の例では、「グリップペン」に特定のソフトウェアに対する設定が行われていません。そのため「すべて」アイコンが表示され、「グリップペン」の設定はすべてのソフトウェアに共通です。

- 特定のソフトウェアに対する設定が追加されると、「すべて」アイコンは「その他すべて」に変わり、新しく追加されたソフトウェアのアイコンが追加されます。

上記の例では、特定のソフトウェアに対する設定が、「グリップペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択して「グリップペン」の設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーション」リストに追加したソフトウェア以外のすべてのソフトウェアで適用されます。ソフトウェアのアイコンを選択して「グリップペン」の設定を変更する場合は、そのソフトウェアを使用する間のみ設定が適用されます。

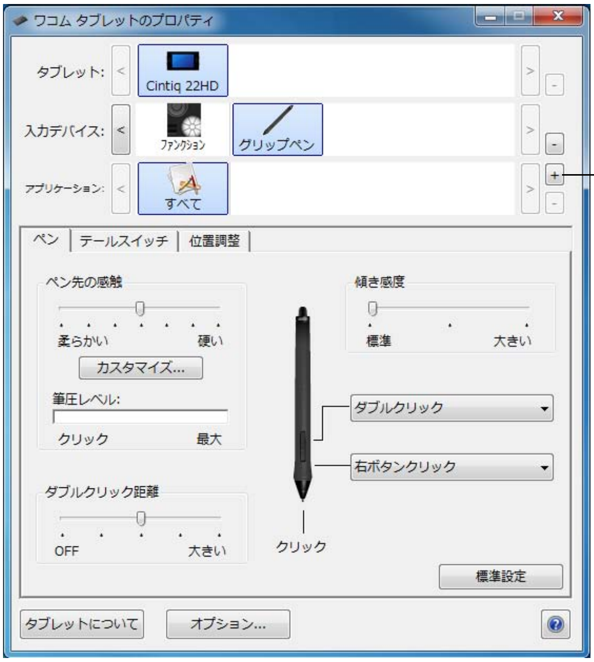
特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、選択した入力デバイスとソフトウェアに対して個別のグループが作成されます。詳細については次のセクションをご覧ください。

[特定のソフトウェアに対する設定を作成する]
[特定のソフトウェアに対する設定を変更する]
[特定のソフトウェアに対する設定を削除する]

ヒント：起動中のアプリケーション内でのファンクションキー、トラックパッド、または電子ペンの機能設定を確認するには、ファンクションキーの 1 つに「設定内容の表示」を割り当ててください。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する

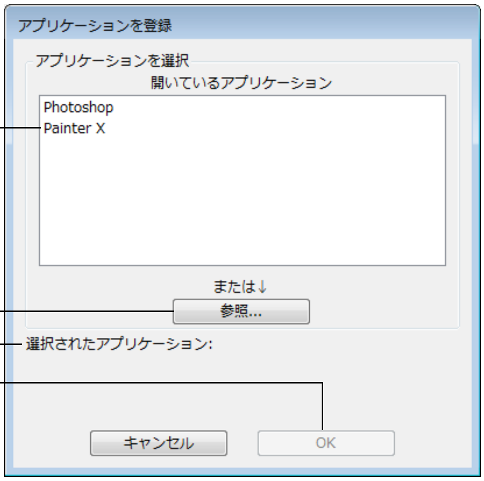
初めに、特定のソフトウェア向けの設定を作成する液晶ペンタブレット（本機）と入力デバイスを選択します。



「アプリケーション」リストの［+］ボタンをクリックします。

ソフトウェアを選択するには、次の２つの方法のうちいずれかを選択します。

- 設定を作成するソフトウェアを起動します。次に「開いているアプリケーション」ボックスからそのソフトウェアを選択します。
- 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。



選択したソフトウェアの名称が表示されます。

「OK」をクリックして、終了します。

補足：２つのソフトウェアが同じ実行ファイル名をもつ場合、２つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。

ソフトウェアを追加したあと、各入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したソフトウェアを選択して、次に入力デバイスと追加したソフトウェアに対してタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の入力デバイスの設定が適用されます。

ヒント：任意のソフトウェアに対して設定を作成してみてください。それにより入力デバイスが使いやすくなったら、さらに、別のソフトウェア向けにも設定をしてみてください。

特定のソフトウェアに対する設定を変更する

入力デバイスの設定を特定のソフトウェア用に変更するには、入力デバイスとソフトウェアを選択し、表示されるタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストから、削除したい設定を持つ入力デバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストから削除するソフトウェアを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで [–] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして選択を確認します。選択したソフトウェアは、入力デバイスの設定とともにリストから削除されます。

ヒント：入力デバイスから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストからその入力デバイスを削除します。続いて電子ペンを液晶ペンタブレットの上に戻すと、その入力デバイスは標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。カスタマイズされた「ファンクション」の設定を削除する場合は利用できません。複数デバイスでの作業をご覧ください。

複数デバイスでの作業

コントロールパネルは、入力デバイスの設定をカスタマイズし、現在の設定を確認することができます。コントロールパネルを開く際に使用したデバイスが自動的に選択され、そのデバイスに適したタブが表示されます。

デバイスを選択して設定を変更します。

「入力デバイス」リストには、本機の「ファンクション」および本機で使用されたデバイスが表示されます。

特定のソフトウェアに対する設定が追加されていない場合、「すべて」のアイコンが表示され、デバイスの設定はすべてのソフトウェアに適用されます。

タブの設定は、選択済みのデバイスとソフトウェアにのみ適用されます。

選択したデバイスを削除します。

リストに項目が 1 つしかない場合、ボタンは働きません。

「ファンクション」アイコンは削除できません。

コントロールパネルの「入力デバイス」リストにデバイスを追加するには、本機でそのデバイスを使用してください。

- 「入力デバイス」リストに追加されたデバイスを選択する場合、そのデバイスの適切な設定がタブに表示されます。変更された設定は、デバイスに適用され、直ちに実行されます。

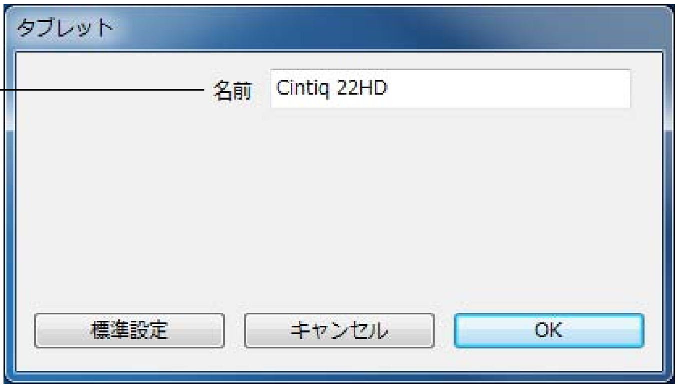
  同じデバイスが過去に追加されていた場合、新しいデバイスは過去に追加されたデバイスの設定を引き継ぎます。新規に追加されたデバイスに合わせてカスタマイズすることもできます。
- 同一のデバイスには同一の設定が適用されます。

選択したデバイスを「入力デバイス」リストから削除するには、「入力デバイス」リストの [–] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして選択を確定します。選択したデバイスは、そのデバイス向けに作成した設定とともにリストから削除されます。削除されたデバイスは、再度本機で使うと「入力デバイス」リストに戻ります。

本機の登録名を変更する

コントロールパネルの「タブレット」リストから、本機のアイコンをダブルクリックします。

本機の名前を変更することができます。



トラブルシューティング

トラブルが発生した場合、以下のことを行ってください。

1. タブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行ってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順をご覧ください。
2. 本機のテストを試してください。
3. 本機が正常に作動しない場合は、ディスプレイのトラブルシューティング情報やペンタブレットのトラブルシューティング情報をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってください。
4. ワコムのホームページの FAQ（よくある質問）を参照してください。
http://tablet.wacom.co.jp/support/faq/
5. 製品 Q&A（FAQ（よくある質問））をご確認ください。
6. 本機と新しいハードウェアまたはソフトウェアで互換性の問題が発生した場合は、ソフトウェアの更新をご覧の上、最新版タブレットドライバのダウンロードをご検討ください。ワコムでは必要に応じてタブレットドライバの更新を行い、新製品との互換性を維持しています。
7. 本書で解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポートセンターにお問い合わせください。サポート情報については、テクニカルサポートと「Read Me」ファイルをご覧ください。

本機のテスト
操作機能および入力デバイスのテスト
ディスプレイのトラブルシューティング情報
ペンタブレットのトラブルシューティング情報
テクニカルサポート
ソフトウェアの更新

本機のテスト

1. 本機のパワーランプが点灯しない場合は、以下をご確認ください。
   - AC アダプタのランプが点灯していることをご確認ください。点灯していない場合は、電源ケーブルが AC アダプタとコンセントに正しく接続されているかご確認ください。
   - AC アダプタのケーブルが本機の電源ケーブルに正しく接続され、電源スイッチがオンになっていることをご確認ください。

   重要： 必ず本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタをご使用になると、本機が破損する場合があります。
2. 画面に何も表示されない場合は、以下を確認してください。
   - コンピュータの電源が入っているかをご確認ください。正しいビデオ信号が入力されると、パワーランプは青色に点灯します。ビデオ信号の入力がない、またはコンピュータが省電力状態の場合には、パワーランプはオレンジ色に点灯します。
   - 本機が有効なデジタルコネクタ（DVI）またはアナログ RGB コネクタに接続されていることをご確認ください。
   - お使いのグラフィックボードが正しくセットされ動作していることをご確認ください。お使いのグラフィックボードと互換性がある別のディスプレイをお持ちなら、そのディスプレイをグラフィックボードに接続して正しく動作することを確認できます。
3. 電子ペンと本機のタブレット部が正常に稼動することを確認してください。
   - ペン先を画面に押し当て、ステータスランプが青色に点灯することをご確認ください。
   - ステータスランプが点灯しない場合は、USB 接続ケーブルが有効な USB ポートに接続されているかご確認ください。
   - 本機が USB デバイスとして登録されているときは、ペン先をディスプレイに押し当てるとランプは青色に点灯します。
4. 画面上で電子ペンを操作できないときは、以下のテストを行ってください。
   - ペン先またはテールスイッチを画面に押し当てて、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。
   - 筆圧を加えずに電子ペンを画面から 5 mm 以内に近づけサイドスイッチを押して、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。
   - 以上のテストでステータスランプが青色に点灯しない場合は、本機に対応していないペンを使っていないかご確認ください。
   - 詳細は、操作機能および入力デバイスのテストと電子ペンのテストをご覧ください。

5. ワンタッチ表示ボタンを確認してください。操作機能および入力デバイスのテストとワンタッチ表示ボタンのテストをご覧ください。
6. ファンクションキーを確認してください。操作機能および入力デバイスのテストとファンクションキーのテストをご覧ください。
7. トラックパッドを確認してください。操作機能および入力デバイスのテストとトラックパッドのテストをご覧ください。
8. エアブラシなど、他の入力デバイスをお持ちであれば、チェックしてください。操作機能および入力デバイスのテストをご覧ください。

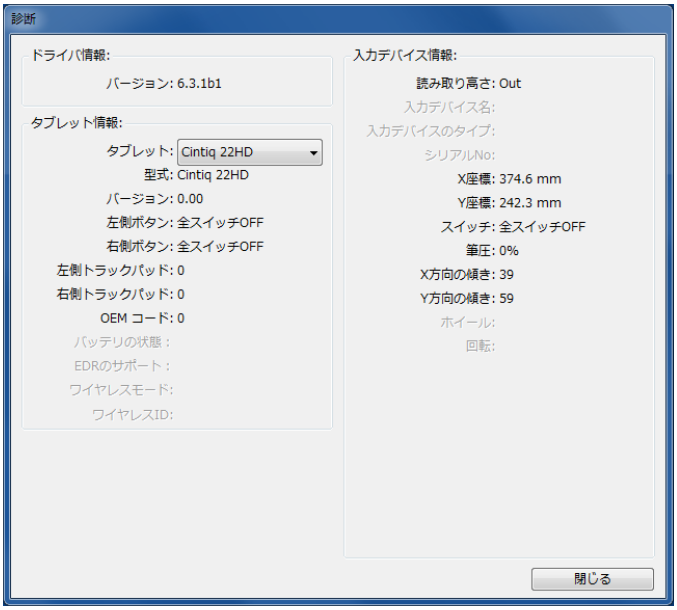
症状が回復しない場合、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。

操作機能および入力デバイスのテスト

電子ペン、または本機の操作機能が正常に作動しない場合は、割り当てられている機能をチェックするか、標準設定の状態にリセットすることを推奨します。

電子ペンの設定を簡単にリセットするときは、「入力デバイス」リストの［−］ボタンをクリックして、リストから電子ペンを削除します。電子ペンを削除してから、画面の上に電子ペンを載せます。電子ペンが標準設定で「入力デバイス」リストに追加されます。

- コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されたダイアログボックスで「診断」をクリックすると、「診断」ダイアログボックスが開きます。「診断」ダイアログボックスには、本機と電子ペンの現在の状態が表示されます。



- 複数のペンタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で本機を選択してください。
- 本機や電子ペンをテストする際は、「診断」ダイアログボックスに表示される情報をご利用ください。

補足：入力デバイスのボタンをテストする場合、ボタンが「ラジアルメニュー」または「開く／起動 ...」に設定されていると、ボタンを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にボタンの機能を変更してください。

ワンタッチ表示ボタンのテスト
ファンクションキーのテスト
トラックパッドのテスト
電子ペンのテスト

ワンタッチ表示ボタンのテスト

1. 左端のボタンを押して、設定画面が表示されるか確認してください。確認できましたらもう 1 度ボタンを押して画面を終了してください。
2. 中央のボタンを押して、コントロールパネルが表示されるか確認してください。確認できましたらもう 1 度ボタンを押して画面を閉じてください。
3. 右端のボタンを押して、OSD メニュー画面が表示されるか確認してください。確認できましたらもう 1 度ボタンを押して、OSD メニュー画面を終了してください。

ファンクションキーのテスト

1. 本機のファンクションキーをテストします。コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されたら、「診断」ボタンをクリックして「診断」ダイアログボックスを開きます。システムに複数のペンタブレットが接続されている場合は、必ず「タブレット情報」欄で本機を選択してください。
2. ファンクションキーを 1 つずつ押してテストします。キーを押すと、左側のキーであれば「左側ボタン」カテゴリー、右側のキーであれば「右側ボタン」カテゴリーの隣にキーの番号が表示されます。何も押していないときは「全スイッチ OFF」と表示されます。
3. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキーの設定が無効になったり、制限される場合があります。ファンクションキーのテストを行うときは、コントロールパネル以外のソフトウェアを終了させることをおすすめします。
詳しくは、ペンタブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

トラックパッドのテスト

1. 本機のトラックパッドをテストします。コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されたら、「診断」ボタンをクリックして「診断」ダイアログボックスを開きます。システムに複数の液晶ペンタブレットが接続されている場合は、必ず「タブレット情報」欄でテストしている液晶ペンタブレットを選択してください。
2. 指をトラックパッド全体に、上下に滑らせます。どちらのトラックパッドをテストしているかに応じて、「左側トラックパッド」または「右側トラックパッド」カテゴリーの横に番号が表示されます。
3. テストする側のトラックパッドに対応するトラックパッド機能切り替えボタンを押します。このとき、トラックパッドのカスタマイズ内容が切り替わります。切り替わるたびに対応するステータスランプが点灯し、機能を表すオーバーレイ表示が画面に表れます。「診断」ダイアログボックス内にはボタンの状態も表示されます。

   「スキップ」に設定された機能は、切り替え時にスキップされます。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

重要：ソフトウェアによっては、トラックパッド機能が無効になったり、制限される場合があります。トラックパッドのテストをするときは、コントロールパネル以外のすべてのアプリケーションを終了させてください。
詳しくは、ペンタブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

電子ペンのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開き、「入力デバイス情報」欄を見ながら、ペン先を画面から 5 mm 以内に近づけます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアル No.」が表示されます。必ず「タブレット情報」欄で本機を選択してください。
2. 本機の操作エリアで電子ペンを移動させると、「X 座標」と「Y 座標」のデータの値が、ペン先の位置を反映して変化します。
3. 電子ペンの機能をテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押したり、あるいはテールスイッチ（消しゴム）をペンタブレットの上で押すと、本機のステータスランプが青色に点灯します。
   - 画面をペン先でクリックします。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。（筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% から 100%まで変化します。）
   - 次に、ペン先を画面に押し当てずに、サイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わります。（電子ペンの場合は、両方のサイドスイッチをテストします。）

ペン 「スイッチ」の状態	ペン先 = 1 サイドスイッチ（下側）= 2 サイドスイッチ（上側）= 3 テールスイッチ（消しゴム）= 1
エアブラシ 「スイッチ」の状態	ペン先 = 1 サイドスイッチ = 2 テールスイッチ（消しゴム）= 1

   - 画面にテールスイッチを押し当てます。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変わります。（「筆圧」の値は、筆圧を加えない 0% から、最大の筆圧を加えた状態の 100% まで変化します。）
   - オプション品のエアブラシをテストする場合は、ホイールを手前に回します。ホイールを完全に奥まで回すと、値は 0 まで減少します。ホイールを手前に回していき、完全に手前まで回すと、「ホイール」の値はおよそ 1000 まで増大します。
4. X 軸方向の傾きをテストします。「X 方向の傾き」の値は、電子ペンを垂直位置から右方向へ傾けると、およそ 0 から＋ 60 まで変わります。電子ペンを垂直位置から左方向へ傾けると、「X 方向の傾き」の値は、およそ 0 から－ 60 まで変わります。
5. Y 軸方向の傾きをテストします。「Y 方向の傾き」の値は、電子ペンを垂直位置からペンタブレットの手前に傾けると、およそ 0 から＋ 60 まで変わります。電子ペンを垂直位置からペンタブレットの向こう側へ傾けると、「Y 方向の傾き」の値は、およそ 0 から－ 60 まで変わります。
6. オプション品のアートペンをテストする場合は、ペン先を画面に押し当て、ペン軸を中心にゆっくりと回転させてペンの回転をテストします。ペンを回転させるにつれ、「回転」の値が変化します。
7. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

ディスプレイのトラブルシューティング情報

本機の液晶表示部で問題が発生した場合は、以下の表を参考に解決を試みてください。カラーの問題については、ご使用のオペレーティングシステムまたはソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

ディスプレイの一般的な問題
アナログ RGB 接続の問題

ディスプレイの一般的な問題

画像が表示されない。パワーランプが点灯しない。	電源ケーブルが正しく接続されているか、本機の電源がオンになっているかをご確認ください。電源スイッチの場所をご覧ください。
画像が表示されない。パワーランプは青色で点灯する。	コンピュータ、および本機の電源を切り、ケーブルやアダプタが折れ曲がっていたり、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。次にケーブルやアダプタを正しく接続して、本機とコンピュータの電源を入れてください。
パワーランプがオレンジ色に点灯し、「no input signal go to power saving mode」というメッセージが画面に表示される。	• お使いのコンピュータが省電力状態になっている可能性があります。マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。 • コンピュータ、および本機の電源を切り、DVI-DVI（または DVI-RGB）ケーブルが折れ曲がっていたり、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。次にディスプレイケーブルを正しく接続して、本機とコンピュータの電源を入れてください。 • グラフィックボードが正しく装着されているかをご確認ください。
「out of range」というメッセージがディスプレイ画面に表示される。	• 入力信号周波数の設定が正しくないか、本機と適合していません。シングルディスプレイ環境の場合、リフレッシュレートを変更するためには、別のディスプレイを接続する必要があります。 • 解像度あるいはリフレッシュレートの設定が本機の対応範囲を超えています。 • 「プラグアンドプレイモニタ」を検出するように、画面のプロパティを設定します。

画像が二重、三重に表示される。	OSD メニューを開き、「VGA 設定（VGA Settings）」から「オートアジャスト」オプションを選択します。必要に応じてピッチとフェーズを手動調整してください。 ディスプレイケーブルを延長したり、入力切替器や映像分配器を使用しないでください。
同じ画像が長時間表示された後、残像が短時間続く。	残像は故障ではありません。時間がたつと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーまたはコンピュータの省電力機能を使用することをおすすめします。
色の具合がおかしい。	• OSD メニューボタンを押して OSD メニューを開き、「OSD メニュー設定（Other Settings）」→「リセット（Reset）」と選択します。 • ディスプレイケーブルがしっかり接続されていることをご確認ください。 • コンピュータおよび本機の電源を切り、ディスプレイケーブルが折れ曲がったり、コネクタピンが破損していないかご確認ください。 • 本機で使っているカラープロファイルの設定を確認してください。 • コントラストの設定変更は色の精度に影響するため、少しずつ行ってください。
白色がきれいに表示されない。	• 本機で使っているカラープロファイルの設定を確認してください。 • 画面の設定がお買い上げ時の状態か確認し、設定が不十分な場合は色の設定を調整してください。カラーマネジメントの詳細は、ご使用中のオペレーティングシステムとソフトウェアの取扱説明書を参照してください。 • ディスプレイケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。

アナログ RGB 接続の問題

画面に波のような模様やちらつきが出る。	• OSD メニューボタンを押して CSD メニューを開き、「VGA 設定（VGA Settings)」→「オートアジャスト」と選択します。必要に応じてピッチとフェーズを手動調整してください。 • コンピュータのディスプレイアダプタまたはグラフィックボードが本機の仕様に合っているかを確認してください。 • 画面のプロパティのコントロールパネルでリフレッシュレートを調整してください。
表示が不鮮明。 画面上のテキストや他の部分がぼやけている。	• コンピュータの解像度を本機で利用可能な解像度に設定します。詳細は、「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。 • いったん本機の電源をオフにし、再度オンにします。 • OSD メニューを開き、「VGA 設定（VGA Settings)」→「オートアジャスト」と選択します。必要に応じて明るさ、ピッチ、およびフェーズを手動調整します。
画面の表示位置がずれている。表示サイズが適正でない。	• OSD メニューを開き、「VGA 設定（VGA Settings)」→「オートアジャスト」と選択します。 • 必要に応じて、ピッチとフェーズ、および水平位置と垂直位置を調整します。入力信号やグラフィックボードによっては、適正なサイズで表示されない場合がありますのでご注意ください。
画面に波、縦縞、色むらが出る。	• OSD メニューを開き、「VGA 設定（VGA Settings)」→「オートアジャスト」と選択します。問題が解決しない場合は、「OSD メニュー設定（Other Settings)」→「リセット」と選択し、画面の設定を工場出荷時の状態に戻します。 • 必要に応じて、ピッチとフェーズを調整します。
表示が二重、三重になる。	• ディスプレイケーブルが、確実にコネクタに接続されているか確認してください。 • ディスプレイケーブルを延長したり、入力切替器や映像分配器を使用しないでください。
画面が暗い。	• OSD メニューを開き、明るさとバックライト輝度を調整します。

ペンタブレットのトラブルシューティング情報

本機のタブレット部で問題が発生した場合は、以下の表を参照し解決を試みてください。必ず「Read Me」（お読みください）ファイルをご覧いただき、最新情報をご確認ください。

より詳細な情報については、ワコムのホームページにアクセスしてください。
http://wacom.jp/

一般的な問題
Windows での問題
Mac での問題

一般的な問題

本機の USB ハブに接続した USB デバイスが機能しない。	• 本機のUSB接続ケーブルがコンピュータの有効なUSBポートに正しく接続されているか確認してください。 • 本機の電源がオンで、パワーランプが青く点灯していることを確認してください。本機の USB ハブは、電源が切れていると機能しません。 • コンピュータの USB ポートに USB デバイスを直接接続してみてください。 • 以上の操作を行っても USB デバイスが正常に機能しない場合は、各 USB デバイスのメーカーにお問い合わせください。
パワーランプが点灯しない。	• 本機の電源がオンになっていることを確認してください。 • AC アダプタが本機とコンセントの両方に正しく接続されていることを確認してください。 • 必ず本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタを使用すると本機が故障するおそれがあるので、使用しないでください。
電子ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧機能を使って線が描けない。	• タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。 • タブレットドライバがインストールされていることを確認してください。タブレットドライバがインストールされていない場合は、ステップ 2：タブレットドライバのインストールを参考にタブレットドライバをインストールしてください。
筆圧機能が使えない。	• ソフトウェアによっては、電子ペンを使う前に筆圧機能をオンにする必要があるものもあります。 • お使いのソフトウェアが筆圧に対応しているか確認してください。
クリックが利かない。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。 「ペン先の感触」を柔らかくしてください。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。

電子ペンがあらゆるものを選択して、止まらない。	• コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。 • 電子ペンの芯の抜き差しをしてください。正常に戻らない場合は、操作機能および入力デバイスのテストをご覧ください。
ダブルクリックが利かない。	• 画面の同じ場所をすばやく 2 度軽くたたいてみてください。ワコムではサイドスイッチを使ってダブルクリックすることをお勧めしています。 • コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を長くするか、「ペン先の感触」を柔らかく設定してください。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。 • ファンクションキーに「ダブルクリック」を設定し、ファンクションキーを使ってダブルクリックを行ってください。 • Windows の場合：1 回のクリックでプログラムが起動するように設定することができます。クリックをご覧ください。
消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。	コントロールパネルを開き、「テールスイッチ」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「カスタマイズ」ボタンを選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。正常に戻らない場合は、操作機能および入力デバイスのテストをご覧ください。
ペンのストロークまたはインクのストロークの開始が遅れる。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を少なくしてください。正常に戻らない場合は、「ダブルクリック距離」スライダを「OFF」にドラッグして、ダブルクリックアシストをオフにします。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。
ペン先を強く押さなければ、クリック、描画、書き込みなどができない。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択して「筆圧感度」と「クリック圧」設定を少なくします。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。

ペン先が利かない。	• 本機に付属の電子ペンまたは対応した電子ペンをお使いください。それ以外の電子ペンは本機で正しく機能しない場合がありますので、使用しないでください。 • コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。 • ペン先を押したとき、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。青色に点灯しない場合、USB 接続ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。 以上を行ってもランプが点灯しない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。(トラブルシューティングをご覧ください。)
ペン先とポインタがずれる。	コントロールパネルを開き、「調整開始 ...」を選択します。ペン先の位置調整をご覧ください。
入力デバイスの機能設定を変更しても反映されない。	使用中の電子ペンとソフトウェアに対して設定変更を行っているか確認してください。特定のソフトウェアに対する設定と複数デバイスでの作業をご覧ください。
電子ペンのサイドスイッチが利かない。	• 必ず本機に付属の電子ペンまたは対応した電子ペンをお使いください。それ以外の電子ペンは、本機では正常に動作しない場合がありますので、使用しないでください。 • ペン先が画面の操作エリアから5 mm以内にあるときにサイドスイッチを押してください。ペン先で画面を押さずに行います。 • コントロールパネルで、サイドスイッチが使用中のソフトウェアと電子ペンで実行する機能に設定されていることを確認してください。 • 「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先を画面にタッチさせる必要があります。 • サイドスイッチを押すと、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。 点灯しない場合、USB 接続ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。 以上を行ってもランプが点灯しない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。(トラブルシューティングをご覧ください。)

ポインタは動かせるが、ペン先を画面に置いてもペン先の位置にジャンプせず、ペン先の動きに連動しない。	• コントロールパネルを開きタブレットドライバが正しくインストールされているか確認します。インストールされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。その場合は、コンピュータを再起動しステップ 2：タブレットドライバのインストールを参考にタブレットドライバを再インストールしてください。（Mac の場合は、タブレットドライバをインストールした後、コンピュータを再起動してください。） • 電子ペンのサイドスイッチでペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定している場合は、本機がペンモードで作動しているか確認してください。
マルチディスプレイ環境で本機を使用している場合に、電子ペンで他の複数のディスプレイを操作できない。	• 「マッピング画面切り替え」を設定したファンクションキーまたはサイドスイッチを押して、操作できるディスプレイを切り替えてください。 • マウスモードで電子ペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、サイドスイッチにペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定し、スイッチを押してペンモードとマウスモードを切り替えてください。
描いた線とポインタの位置が合わない。	• タブレットドライバをインストールしているか確認してください。 • 電子ペンがペンモードに設定されていないと正しく機能しません。電子ペンがマウスモードに設定されていないことを確認してください。 • ペンモードに設定されても問題が解決しないときは、環境設定ファイルが壊れている可能性があります。Windows での問題または Mac での問題をご覧の上、新しい環境設定ファイルを作成してください。
コンピュータが省電力状態にならない。	電子ペンを使用していないときは、本機の画面上に電子ペンを置いたままにしないでください。置いたままにすると本機はデータを送り続け、コンピュータは作動状態であり続けます。
マウスまたはトラックボールの使用中、ポインタが急に引き戻される。	電子ペンを使用していないときは、専用のペンスタンドに立てるか、あるいは平らな机の上に横に置いてください。本機の画面上に電子ペンを置いたままにしないでください。 電子ペンを画面上に置いたままにすると、他の入力デバイスを使用するとき、ポインタの位置決めができなくなることがあります。
コンピュータに別のペンタブレットが接続されているとき、ポインタが不規則に動いたり、画面上で跳び回ったりする。	別のペンタブレットを本機に近づけすぎると、ポインタの位置決めができなくなったり、電子ペンでタッチしていないのに選択されたりすることがあります。この現象が起こったら、本機と別のペンタブレットを離してください。
ソフトウェアを使用しているとき、ファンクションキーまたはトラックパッドが、コントロールパネルの設定と違う機能で動作する。	ソフトウェアの中にはファンクションキーとタッチホイールの機能を置き換えて制御するものがあります。ペンタブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。 特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合は、目的のソフトウェアに対して設定の更新を行ったかどうか確認してください。
ファンクションキーやトラックパッドが設定通りに正しく機能しない。	利き手の設定に合わせて機能を設定しているか確認してください。 利き手の設定をするをご覧ください。

Windows での問題

本機の設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。	「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、ご使用中の設定を削除します。起動中のソフトウェアをすべて閉じます。「スタート」メニューをクリックし「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。 • 現在のペンタブレットの設定を維持したい場合は、最初にペンタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「バックアップ ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。 • 次に「タブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、以下の手順で本機の設定を削除します。 シングルユーザの場合：「ログインユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックして、現在のユーザの設定を削除します。 マルチユーザの場合：「すべてのユーザーの設定ファイル」から、「削除」をクリックしてすべてのユーザの設定ファイルを削除します。「すべてのユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックしてマルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定を削除するには、管理者権限が必要です。 「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元 ...」をクリックして、バックアップしたタブレット設定を復元できます。

Mac での問題

コンピュータの起動時、タブレットドライバがロードできなかった、または液晶ペンタブレットの設定がまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。	• 起動時に、本機が認識されませんでした。USB 接続ケーブルが、コンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また本機のパワーランプが青色に点灯していることを確認してください。問題が解決しない場合は、トラブルシューティングをご覧ください。 • 「移動」メニューから、「ユーティリティ」フォルダを選択し、「システムプロファイラ」を起動します。「内容」一覧の「ハードウェア」から USB を選択します。ワコム製ペンタブレットが一覧表示されます。表示されない場合、本機の USB 接続を確認するか、本機を別の USB ポートに接続してみてください。 • 問題が解決されない場合は、ワコムサポートセンターにご連絡ください。テクニカルサポートをご覧ください。
本機の設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。	「ワコムタブレットユーティリティ」からご使用中の環境設定を削除します。起動中のソフトウェアをすべて閉じ、「アプリケーション」フォルダを開きます。次に、「ワコムタブレット」フォルダを開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。 • 最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。ワコムタブレットユーティリティでは、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」を選択します。次に、「バックアップ ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。 • 以下の手順でタブレット設定を削除します。 シングルユーザの場合：ユーティリティが起動したら「ログインユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。 マルチユーザの場合：ユーティリティが起動したら「全てのユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。 ユーティリティ内の「復元 ...」をクリックして、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」に対してバックアップしたタブレット設定を復元できます。 **補足：**「Wacom Tablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」の「Preferencepanes」フォルダから削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合、またワコムタブレットユーティリティを使用する場合にのみ削除します。 再度、ポインタの位置調整をします。ペン先の位置調整をご覧ください。

Ink が、本機で正しく動作しない。	Ink の設定ファイルに問題がある可能性があります。次のようにして、問題のある設定ファイルを削除します。手書き入力認識を有効にすると、設定ファイルは再作成されます。 1. 「システム環境設定」画面を開き、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「手書き認識」を「切」にします。 2. 「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次の設定ファイルを削除します。 • com.apple.ink.framework.plist • com.apple.ink.inkpad.plist • com.apple.ink.inkpad.sketch 3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「手書き認識」を「入」にします。 4. 本機と電子ペンを使って、Ink 機能をテストします。 この処理で Ink の問題が解決されず、サポートが必要な場合は、アップルコンピュータに連絡してください。Ink 用のソフトウェアに関して、弊社では一切のサポートを行っておりません。

テクニカルサポート

本機に問題がある場合は、初めに本書の本機のセットアップをご覧いただき、本機が正しくセットアップされていることを確認してください。次にトラブルシューティングをご覧ください。

本書で解決策が見つからない場合、本機の「Read Me」（お読みください）ファイル（タブレットドライバ CD-ROM にあります）にお客さまの問題に関する最新情報が記載されている場合があります。ワコムのホームページの FAQ（よくある質問）もチェックしてください。

インターネットに接続されている場合は、ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。ソフトウェアの更新を参照してください。

ワコムのホームページにアクセスして、「ユーザサポート」のコンテンツをチェックしてください。お電話をかける前に、問題の解決法が見つかるかもしれません。

問題が解決されず、本機が正しく動作していないと思われる場合、ワコムサポートセンターにご連絡ください。連絡先については、Wacom International Offices をご覧ください。

お電話によるサポートを受けられる場合、次の情報をご用意の上、コンピュータの近くからお電話ください。

- 本書
- 本機の機種名とシリアル番号（液晶ペンタブレットの裏面をご覧ください）
- 本機の保証書
- タブレットドライバのバージョン（タブレットドライバ CD-ROM をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」をクリックしてください。）
- コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン
- お使いのグラフィックボードの製造元と型式、および接続のタイプ
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生したとき、使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したとき、具体的に何が起こったか、起こったことをどのように処置したか
- これまでにお試しいただいたこと

ソフトウェアの更新

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、必要に応じてタブレットドライバを更新しています。機能を最適に使用するためにドライバを必要に応じて更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用可能な場合）は、ワコムのホームページからダウンロードできます。

カスタマーサポートやタブレットドライバその他の更新についてはワコムのホームページをご覧ください。

http://tablet.wacom.co.jp/download

FAQ（よくある質問）

ここでは本機に関するよく寄せられる質問の中からいくつかを選んでお答えしています。さらに多くの FAQ をご覧になりたい場合は、ワコムのホームページ（http://tablet.wacom.co.jp/support/faq/）をご覧ください。

1. Cintiq はすべてのソフトウェアで使用できますか？
2. Cintiq の機能に対応するソフトウェアにはどんなものがありますか？
3. Cintiq とマウスをコンピュータに同時に接続することはできますか？
4. 旧型のワコム製入力デバイスを Cintiq で使用できるでしょうか？
5. Cintiq のタブレットドライバをインストールしている途中、システムにパスワードを要求されました。パスワードとは何でしょうか？
6. 電子ペンと画面のポインタが一致しません。
7. 設定ファイルを標準の設定に戻したいのですが？
8. 一度にすべての設定ファイルを標準の設定に戻すことができますか？
9. 最適なお手入れのしかたを教えてください。
10. ペン先の交換のしかたを教えてください。
11. 交換用の部品や付属品はどこで入手できますか？
12. 製品の型番とシリアル No. はどこにありますか？

1. Cintiq はすべてのソフトウェアで使用できますか？

本機は一般的なマウス入力機能に対応しているため、すべてのソフトウェアを操作することができます。またタブレットドライバがインストールされ正しく動作している場合、多くのグラフィックソフトで「筆圧機能」や「消しゴム機能」をお使いになれます。対応するグラフィックソフトについては、ワコムのホームページ、および製品情報をご覧ください。

2. Cintiq の機能に対応するソフトウェアにはどんなものがありますか？

多くのソフトウェアがワコム製品の「筆圧機能」や「消しゴム機能」に対応しています。
ワコムのホームページでソフトウェアをご確認ください。ご使用のソフトウェアがリストにない場合には、本機でそのソフトウェアを使用し、電子ペンで色塗りや描画をしたとき筆圧機能が働くかを確認してください。各ソフトウェアが対応するペン入力機能については、ソフトウェアのメーカーにお問い合わせください。

3. Cintiq とマウスをコンピュータに同時に接続することはできますか？

できます。お使いのコンピュータのマウスと本機を組み合わせて接続することができます。ご使用の際にはどちらか 1 つを使い、画面のポインタを操作できます。用途に応じて、本機とコンピュータのマウスを使い分けてください。

4. 旧型のワコム製入力デバイスを Cintiq で使用できるでしょうか？

通常電子ペンなどの付属品は、それらが付属している製品でのみ使用できます。このため他の製品では使用できない可能性があります。

5. Cintiq のタブレットドライバをインストールしている途中、システムにパスワードを要求されました。パスワードとは何でしょうか？

ログインのためユーザーパスワード、またはシステム管理者のパスワードです。会社のコンピュータをお使いの場合には、タブレットドライバのインストールにシステム管理者の権限が必要な場合があります。この場合は管理者のアクセス権を持っているか確認のために、オペレーティングシステムがパスワードを要求しています。

6. 電子ペンと画面のポインタが一致しません。

「位置調整」を行ってください。タブレットドライバの再インストール、または設定ファイルを削除した際には、再度「位置調整」をする必要があります。ペン先の位置調整をご覧ください。

7. 設定ファイルを標準の設定に戻したいのですが？

タブレット設定ファイルの管理をご覧ください。

8. 一度にすべての設定ファイルを標準の設定に戻すことができますか？

できます。タブレット設定ファイルの管理をご覧ください。

9. 最適なお手入れのしかたを教えてください。

本機のお手入れをご覧ください。

10. ペン先の交換のしかたを教えてください。

ペン先を交換するをご覧ください。

11. 交換用の部品や付属品はどこで入手できますか？

オプション品の注文をご覧ください。

12. 製品の型番とシリアル No. はどこにありますか？

本機裏面のラベルにあります。通常、型番はバーコードの上、シリアル No. はバーコードの下にあります。型番とシリアル No. はテクニカルサポートを依頼される場合に必要です。

お手入れのしかた

この章では本機のお手入れとメンテナンスについて説明します。

本機のお手入れ
ペン先を交換する

本機のお手入れ

液晶画面と電子ペンは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりは、画面の表面を傷つけます。定期的に清掃していただくことで、液晶画面と電子ペンを長い期間ご利用いただくことができます。

液晶ペンタブレット本体、スタンド、および電子ペンは清潔に、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。
室温での保存が最適です。

液晶ペンタブレット本体、スタンド、および電子ペンは分解可能な製品ではありません。製品を分解すると、保証が無効になります。

重要：本機や電子ペンに液体をこぼさないように注意してください。液晶画面、ファンクションキー、トラックパッド、サイドスイッチ、および電子ペン先には、液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。これらを濡らさないように、特に注意してください。

液晶ペンタブレット本体の表面に傷をつけないよう、ペン先（芯）は適宜交換しください。芯が磨耗したり尖っていると、液晶ペンタブレット本体の表面を傷つけることがあります。ペン先を交換するをご覧ください。

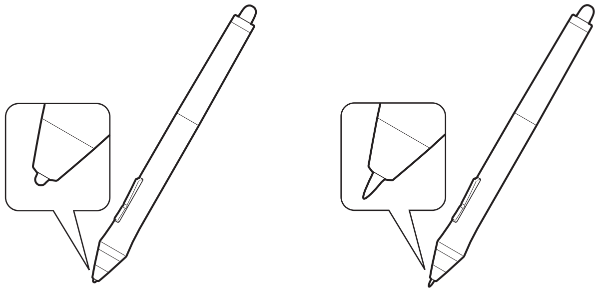
液晶ペンタブレット本体、スタンド、または電子ペンの清掃をするときは、柔らかい湿らせた布で拭いてください。水で薄めた刺激の少ないせっけんで布を湿らせて使うこともできます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、本体を傷めますので使用しないでください。

液晶画面の清掃には帯電防止布または軽く湿らせた布をご使用ください。液晶画面を軽く押す程度にし、表面を濡らさないようにしてください。液晶画面が故障するおそれがありますので、洗剤は使用しないでください。このような故障はメーカーの保証の対象外となります。

ペン先を交換する

液晶ペンタブレット本体の表面を保護し、最適な操作性を保つために、定期的にペン芯を交換してください。

重要： ペン先が下図のようになる前に、新しいペン芯と交換してください。



ペン芯は、使っていく間に磨り減っていきます。

過度な力を加えると、より早く磨耗します。

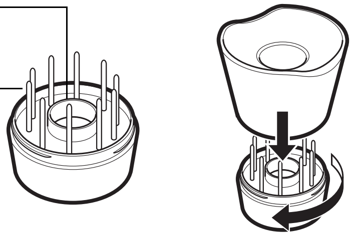
本機の表面は、磨耗したペン先で傷つく恐れがありますので、ペン先が短くなりすぎたり、平らになったり、先端がとがってきたら、付属の交換用の芯と交換してください。

1. ペンスタンドの底部分を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出します。

芯抜き

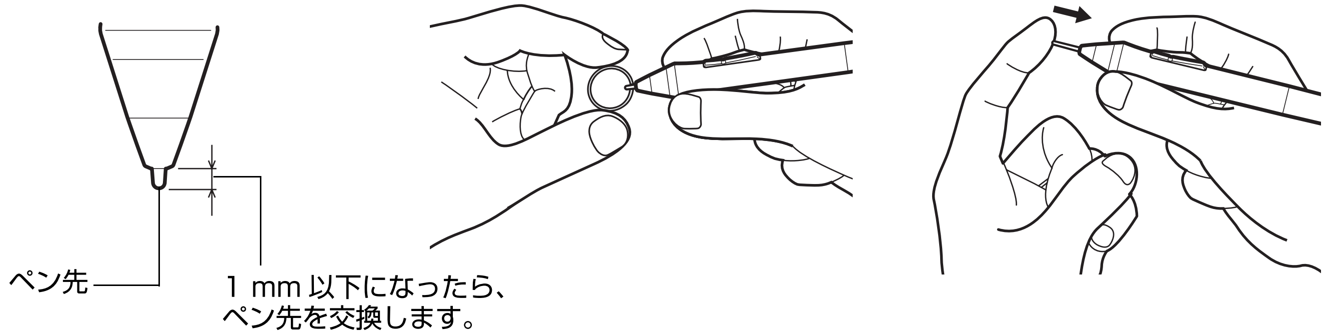
替え芯

- 標準芯 6 本
- ハードフェルト芯 3 本
- ストローク芯 1 本



2. 古いペン先の芯を付属の芯抜き、ピンセット、先の細いペンチなどで挟み、まっすぐに引き抜いてください。

3. 新しいペン芯を電子ペンにまっすぐにはめ込みます。止まるまでしっかりと押し込んでください。



⚠ 警告

お子様が替え芯やサイドスイッチを飲み込まないようにしてください。電子ペンを口の中に入れると、ペン先やサイドスイッチが抜け落ちてしまう可能性があり危険です。

交換部品の注文については、オプション品の注文をご覧ください。

重要：電子ペンを使用していないときは、専用のペンスタンドに立てるか、あるいは平らな机の上に横に置いてください。オプション品のエアブラシは、机の上に横にして置いてください。ペン先やテールスイッチが接触するような入れ物に入れて保管しないでください。ペン先やテールスイッチを押した状態で電子ペンを収納すると、電子ペンが故障する場合があります。誤った方法で保管すると、ペンが故障する場合があります。

その他のお役立ち情報

この章では、タブレットドライバのアンインストール、設定ファイルの管理方法などの情報について説明します。

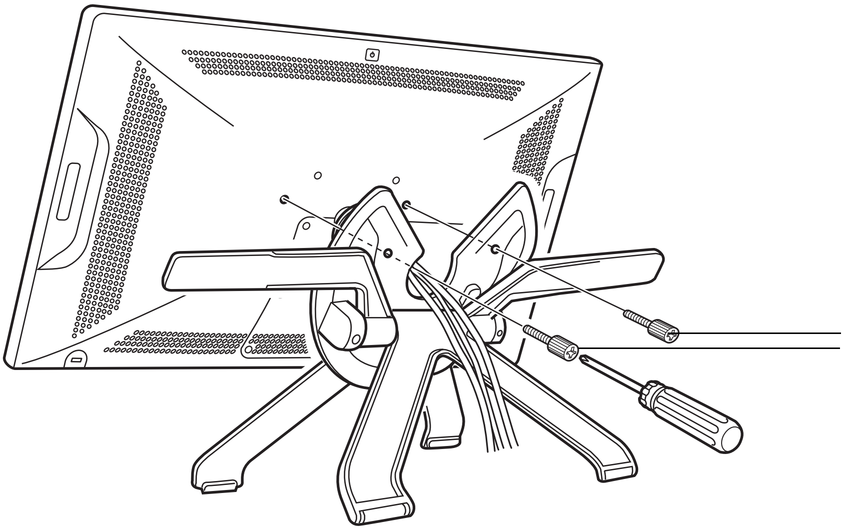
液晶ペンタブレット本体を回転しないように固定する
マウントアームに取り付けて使う
ケーブルの取り外しと再取り付け
タブレットドライバのアンインストール
エクスプレスビュー画面を使う
タブレット設定ファイルの管理
複数ペンタブレットの設置
ペンタブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う
上級者向け設定を組み込む
Windows でのペンおよびデジタルインク機能
製品情報
オプション品の注文
利用可能なオプション品

液晶ペンタブレット本体を回転しないように固定する

液晶ペンタブレット本体を回転させる必要がない場合には、付属のスタンド固定用ネジで液晶ペンタブレット本体をスタンドに固定することができます。

以下の手順で、液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付けてください。

- 液晶ペンタブレット本体を標準の位置（横長）にします（電源スイッチが上側になるようにします）。
- スタンドのネジ穴（2ヶ所）と、液晶ペンタブレット本体裏面のネジ穴（2ヶ所）の位置を合わせます。
- スタンドの裏面から、スタンド固定用ネジをネジ穴に差し込み、プラスドライバーでしっかりと締めます。



⚠ 注意

きつく締めすぎるとスタンドが損傷する可能性がありますのでご注意ください。

マウントアームに取り付けて使う

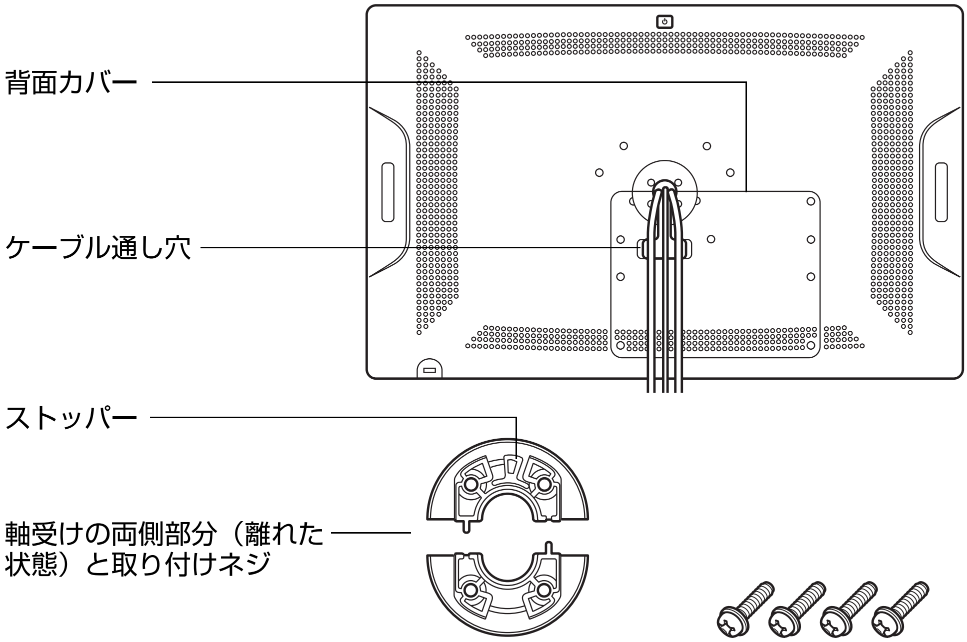
液晶ペンタブレット本体をマウントアームに取り付けて使いたいときは、市販の VESA（Video Electronics Standard Association） MIS-D 100/100 (4 screw) 規格のマウントアームに取り付けることができます。ネジ穴の間隔は 100mm ピッチです。

補足：幅 4mm、ピッチ 0.7mm（M4 レギュラー）のマウントアーム用ネジをご使用ください。
本機の VESA のネジ穴の深さは 12mm ですので、脚部の長さが 12mm を超えると、液晶ペンタブレット本体に取り付けたときに内部の部品を傷つけ故障の原因になることがあります。

液晶ペンタブレット本体の重量を支えきれない可能性のあるマウントアームを使用しないでください。

液晶ペンタブレット本体をマウントアームに取り付ける

1. コンピュータおよび本機の電源をオフにします。次に本機とコンピュータ間のすべてのケーブル接続を外します。
2. 液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外します。液晶ペンタブレット本体を平らな柔らかい場所（机の上に広げた布など）の上に、画面を下にして置きます。
3. 軸受けの取り付けネジ（4 本）を外して軸受けを取り外します。続いて慎重に軸受けを 2 個に分解し、片側の軸受け溝からストッパーを外してケーブルから取り外します。ストッパーは、紛失しないように注意してください。

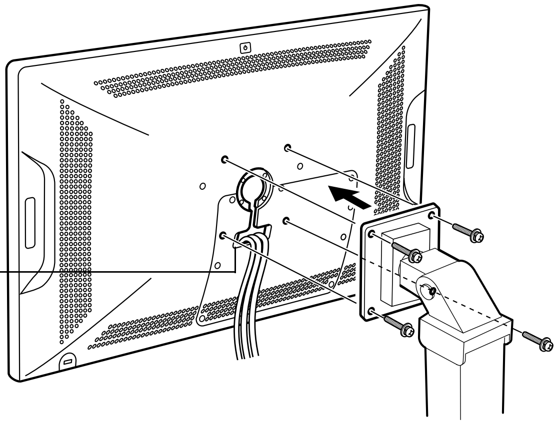


- 背面カバーのネジを取り外し、背面カバーを取り外します。
- ケーブルをケーブル通し穴に通してから、再び背面カバーを取り付け、ネジを締めます。背面カバーのネジは軸受けのネジよりも短くなっています。

4. マウントアームに付属の取扱説明書をよくお読みになり、指示に従って作業を行ってください。また注意事項や製品の安全情報は必ずお読みください。
5. 正しいマウントアーム取り付け用ネジを使用し、液晶ペンタブレット本体をマウントアームにしっかりと取り付けます。

⚠ 警告

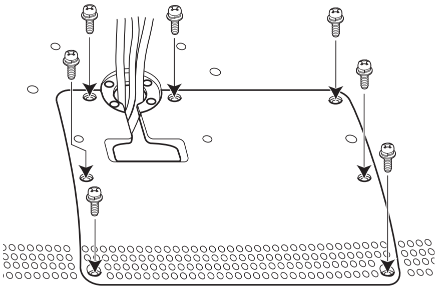
液晶ペンタブレット本体をマウントアームに取り付ける場合は、必ずマウントアームに付属の取扱説明書の指示に従ってください。誤った取り付けかたをされますと、液晶ペンタブレット本体が倒れてけがや破損の原因となることがあります。取り外したスタンドやネジは、なくさないように保管してください。



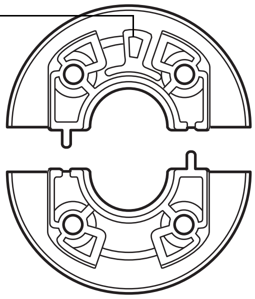
6. 本機とコンピュータ間のケーブルを再び接続します。必要に応じて[ステップ 1：ハードウェアのセットアップ]をご覧ください。

<u>液晶ペンタブレット本体をマウントアームから取り外す</u>

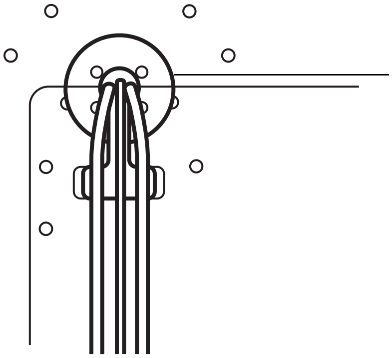
1. コンピュータおよび本機の電源をオフにし、すべてのケーブルを本機とコンピュータから取り外します。
2. マウントアームから液晶ペンタブレット本体を取り外します。
3. 布などを敷いた平らな台の上に、液晶ペンタブレット本体を画面を下にして置きます。
4. 背面カバーを取り外し、ケーブルをケーブル通し穴からから抜き出します。ケーブルを完全に抜き出した後に、背面カバーを元どおりに取り付けます。



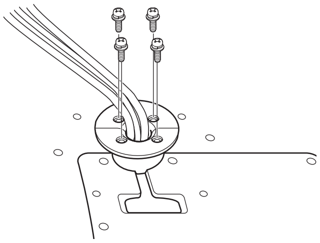
5. 軸受け（2 個）、ストッパー、およびネジ（4 本）が揃っていることを確認します。軸受けのどちらかに、ストッパーが取り付けられていることを確認します。ハブの両側部分は同じ部品なので、どちらでも使用できます。



6. 軸受けからストッパーが外れないように注意しながら、2 個の軸受けでケーブルを挟んで、取り付け位置にセットします。



7. 取り付けネジ（4 本）で軸受けを固定します。軸受けの取り付けネジは、背面カバーの取り付けネジよりも脚が長いので、間違えないようご注意ください。

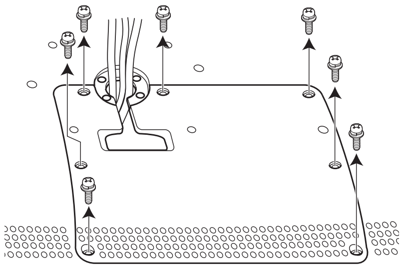


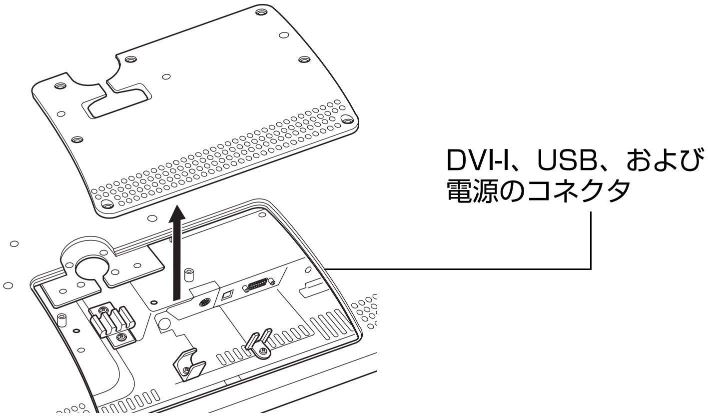
ケーブルの取り外しと再取り付け

ケーブルの取り外しや再取り付けを行う場合は、以下の手順で行ってください。

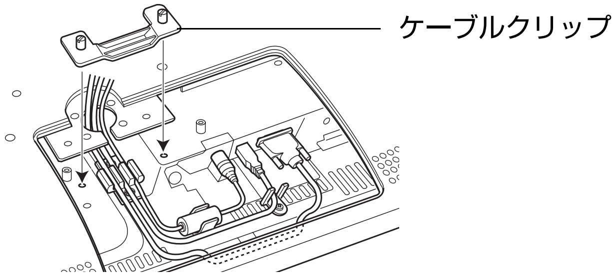
ケーブルの取り外し：

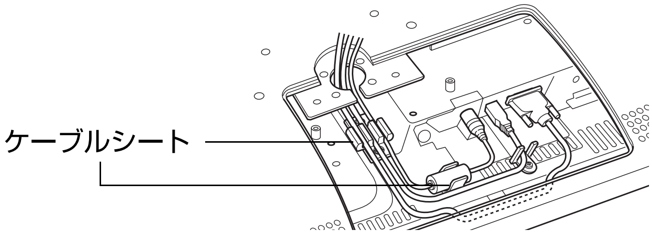
1. コンピュータと本機の電源をオフにし、本機とコンピュータ間のすべてのケーブルを外します。
2. 液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外します。液晶ペンタブレット本体を平らな柔らかい場所（机の上に広げた布など）の上に、画面を下にして置きます。
3. 軸受けの取り付けネジ（4 本）を取り外して軸受けを外します。慎重に軸受けを 2 個に分解し、ストッパーを外してケーブルから取り外します。詳しくは、マウントアームに取り付けて使うの説明をご覧ください。
4. 背面カバーのネジを緩め、背面カバーを取り外します。





5. ケーブルクリップを取り外して、ケーブルをケーブルシートから外します。

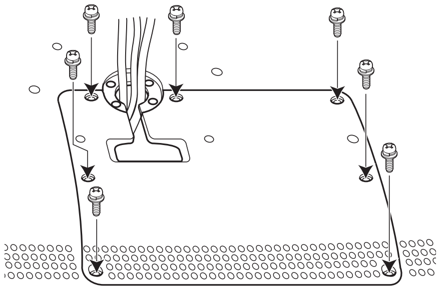


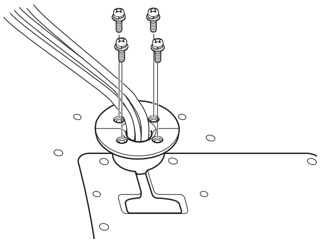


6. 取り外したいケーブルのコネクタにネジが付いている場合は緩めます。接続を外してケーブルを取り出します。

ケーブルの再取り付け：

1. ケーブルを液晶ペンタブレット本体に接続します。コネクタにネジが付いている場合は、必ず固く絞めてください。
2. ケーブルを正しい位置にセットし、ケーブルクリップを取り付けます。
3. ケーブルが折れ曲がらないように注意しながら、背面カバーを元通りに慎重に取り付けます。カバーを取り付ける際には正しいネジを使い、締め付けすぎないように注意してください。
4. 再度軸受けを取り付けます。詳しくは、マウントアームに取り付けて使うをご覧ください。





5. 液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付けます。
6. 本機とコンピュータ間に、ケーブルを再度接続します。

タブレットドライバのアンインストール

以下の手順に従って本機のタブレットドライバをシステムから削除することができます。

Windows の場合：

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックして「コントロールパネル」を開きます。
2. 「コントロールパネル」から
   - Windows 7 または Vista の場合：「プログラムのアンインストール」をクリックし、ダイアログボックスで「ワコムタブレット」を選択し、「アンインストール」をクリックします。
   - Windows XP の場合：「プログラムの追加と削除」を選択します。「プログラムの追加と削除」ウインドウで「ワコムタブレット」を選択し、「削除」をクリックします。
3. 画面の指示に従って、タブレットドライバを削除します。
4. タブレットドライバが削除されたらシステムを終了し、コンピュータと本機の電源を切ります。

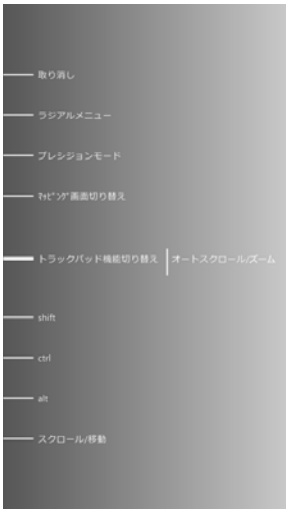
Mac の場合：

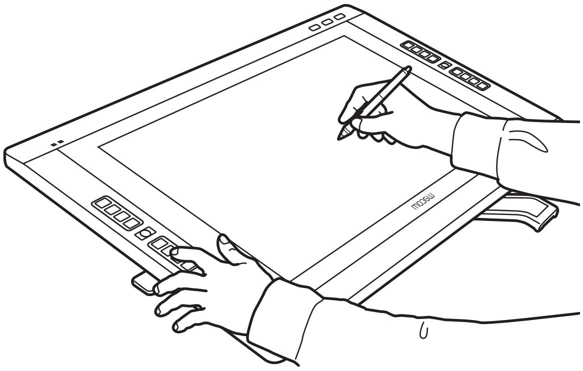
1. 「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択し、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。
2. 「ワコムタブレットユーティリティ」アイコンをダブルクリックします。続いて「タブレットドライバ：削除」をクリックし、管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
3. 削除が完了したら、「OK」をクリックします。
4. システムを終了し、コンピュータと本機の電源を切ります。

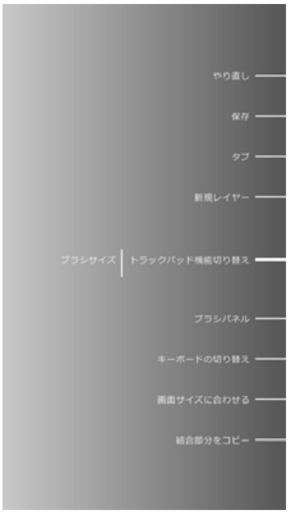
最新のタブレットドライバのダウンロード（インターネットから入手できる場合）については、ソフトウェアの更新をご覧ください。

エクスプレスビュー画面を使う

トラックパッド機能切り替えボタンを 2 秒間以上押し続けると、画面にエクスプレスビュー画面を表示させることができます。この画面は現在のファンクションキー設定を表示します。







左側のトラックパッド機能切り替えボタンを押し続けると、左側ファンクションキーの設定が表示されます。

右側のトラックパッド機能切り替えボタンを押し続けると、右側ファンクションキーの設定が表示されます。

エクスプレスビュー画面は、トラックパッド機能切り替えボタンから指を離した約 1 秒後に閉じます。

タブレット設定ファイルの管理

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用すると、シングルユーザまたはマルチユーザのタブレット設定ファイルの管理が行えます。

Windows の場合は、起動中のソフトウェアをすべて終了させてください。次に、「スタート」アイコンをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- ログインユーザの設定ファイルを削除するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。
- マルチユーザの設定ファイルを削除するには、「すべてのユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、管理者権限が必要です。
- 現在の設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「バックアップ ...」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「復元 ...」をクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

Mac の場合は、最初に「アプリケーション」フォルダを開きます。次に「ワコムタブレット」フォルダを開いて、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「削除」ボタンをクリックします。ログアウトしてから再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。
- 設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「バックアップ ...」ボタンをクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「復元 ...」ボタンをクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

複数ペンタブレットの設置

コントロールパネルの上部に表示される「タブレット」リストには、システムで検出されたすべてのペンタブレットのアイコンが表示されます。

入力デバイスとソフトウェアの設定をカスタマイズするペンタブレットのアイコンを選択します。

- コントロールパネルは、サポートしているペンタブレットがコンピュータに接続されていないときは起動しません。

新しいペンタブレットを追加する場合は、ペンタブレットをコンピュータに接続します。システムは自動的に新しいペンタブレットを検出して初期化し、コントロールパネルにそのペンタブレットのアイコンを表示します。

重要： 複数のペンタブレットを Windows システムに追加する場合、ソフトウェアによっては追加されたペンタブレットで消しゴム機能が使えない場合があります。最初にコントロールパネルに設置されたペンタブレットでは使うことができます。

複数のペンタブレットの中の 1 つをドライバから削除するには、削除するペンタブレットのアイコンをコントロールパネルで選択し、「タブレット」リストの隣にある [−] ボタンをクリックします。

- サポートされているペンタブレットがコンピュータに接続されていないときは、「タブレット」リストから削除することはできません。
- ペンタブレットをドライバに再度追加する前に、コンピュータを再起動する必要があります。ご注意ください。

重要：他のペンタブレットを本機のすぐ近くに置くと、影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、離してお使いください。

ペンタブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う

ソフトウェアによっては、ペンタブレットのファンクションキーまたはトラックパッド機能を直接操作するように設計されているものがあります。この処理を組み込んだソフトウェアで作業を行う場合、ファンクションキーまたはトラックパッドは、コントロールパネルで設定されている機能とは異なる働きをする場合があります。

- ファンクションキーの 1 つがソフトウェアによって書き換えられた場合、ファンクションキーの設定は自動的に更新され、「アプリケーションの設定に従う」が表示されるか、または新しい機能名が付けられます。ソフトウェアによってはファンクションキーのいくつか、またはすべてがソフトウェアにより書き換えられることがあります。
- トラックパッドの機能がソフトウェアによって置き換えられた場合、すべてのトラックパッド機能がその影響を受けます。ソフトウェアがトラックパッド機能の一部のみを置き換える場合、その他の機能は「スキップ」に設定されます。
- ソフトウェアは実行中または画面の最前面にある場合のみ、ファンクションキーやトラックパッドの機能をコントロールします。そのソフトウェアを終了するか別のソフトウェアのウィンドウを選択すると、コントロールパネルの設定は以前の状態に戻ります。
- 画面の最前面にあるソフトウェアでファンクションキー、トラックパッド、または電子ペンの機能設定を確認するには、ファンクションキーの 1 つに「設定内容の表示」を設定し必要に応じてそのキーを押します。

通常、このような処理を組み込んだソフトウェアでは、そのソフトウェアで最初にワコム製品を使用する際に、この機能を選択しないか無効にすることを選択できます。機能についての具体的な詳細、およびこの機能をカスタマイズする、または無効にする方法についてはソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェア操作時に表示される説明、またはソフトウェアの取扱説明書に、この機能を無効にする方法が記載されていない場合、コントロールパネルを使って、特定のソフトウェアに対する設定を作成し、ペンタブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアの動作に優先させることができます。タブレット設定ファイルの管理をご覧ください。

重要：特定のソフトウェアに対する設定をペンタブレットコントロールできる処理を組み込んだアプリケーションで作成した場合、「アプリケーションの設定に従う」をファンクションキーまたはトラックパッドに設定すると、このアプリケーションによってこれらの機能がコントロールされます。

上級者向け設定を組み込む

XML ファイルで提供される上級者向け設定を、コントロールパネルに組み込むことができる機能です。

- ソフトウェアの開発者によっては、ソフトウェアをワコム製品で使用する際に最適なパフォーマンスが得られるよう特別に設計された「カスタム設定ファイル」を作成する場合があります。
- 各 XML ファイルには、複数のソフトウェアに適用できるカスタマイズ設定が含まれる場合があります。これらの設定は、ファンクションキー、トラックパッド、ラジアルメニュー、またはサイドスイッチと消しゴム機能に適用できる場合があります。

上級者向け設定の組み込みかた：

1. XML ファイルを選択し、ダブルクリックします。
2. 確認ダイアログの指示に従って操作を続けます。
   - 1 つまたは複数のソフトウェアに対応する設定を組み込むことができます。またこれにより、それらのソフトウェアの設定が更新される場合があります。
   - 上級者向け設定を組み込む前に、お使いのコントロールパネルの現在の設定をバックアップしておくことをおすすめします。
   - 設定の組み込みを中止することも、続けることもできます。
3. 設定を組み込むと、XML で記述された設定のみが組み込まれ、対応するすべての設定が更新されます。対応していない設定は更新されません。
4. 設定の組み込みが完了したら、コントロールパネルで新しい設定を確認することができます。

Windows でのペンおよびデジタルインク機能

Microsoft Windows 7 および Windows Vista では、ペン入力に対応しています。Windows 7（Starter および Home Basic を除く）および Windows Vista（Home Basic を除く）が稼働するコンピュータと本機を組み合わせることで、ペン入力機能を最大限に活用することができます。本機と電子ペンによるスピーディで直感的な使いごこちをお確かめてください。

- 手書きメモ帳機能　Windows 7 および Windows Vista の「Windows Journal」をペンタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書き込むことができます。Windows Journal の強力な検索エンジンでは手書きの内容も検索することができます。
- 手書き文字認識機能　ペンタブレットで書いた手書き文字を、素早くテキストに変換する機能です。クセ字を学習する高性能な手書き認識エンジンも搭載され、書いた文字を正確に認識します。
- ジェスチャー機能　本機の画面上で電子ペンを動かすだけで、コンピュータを操作できます。カスタマイズするときは、「ペンとタッチ」（Windows 7）コントロールパネルまたは「ペンと入力デバイス」（Windows Vista）コントロールパネルから、「フリック」タブを選びます。
- Office 2007 デジタルインク機能　ソフトウェアの「校閲」タブには、ペンタブレットを接続して手書き文字や図形を自由に書き込めるデジタルインク機能があります。ご活用ください。

Windows 7 または Vista の入力パネルでは、電子ペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力するかを設定できます。以下のいずれかの方法で入力パネルを起動できます。

- 画面のポインタがテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右クリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

「入力パネル」を無効にするには：

1. 「Tablet PC 入力パネル」を開きます。
2. 「ツール」、次に「オプション」を選択します。
3. 「開き方」タブを選択して以下のボックスのチェックを外します：
   - 「タブレット ペン入力の場合、テキスト ボックスの横にアイコンを表示する」
   - 「入力パネル タブを使用する」
4. 「OK」をクリックします。

詳しくは、Windows トレーニングツールおよび Tablet PC チュートリアルを含め、ご使用システムの説明書を参照してください。「Tablet PC ペントレーニング」を起動するには、「スタート」メニューから「すべてのプログラム」、「TABLET PC」「TABLET PC ペントレーニング」の順に選択します。「スタート」メニューからトレーニングツールを起動できない場合は、Windows のヘルプを検索してください。

Windows のデジタルインク入力機能に関する追加情報は、Microsoft のホームページで検索してください。

補足：ワコムタブレットドライバでは、Windows 7 および Windows Vista での描画性能改善のために、下記の次善策をとっています。

- ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」機能は、Wintab API を使うグラフィックソフトでは無効になります。
- Windows 7 の「ペンとタッチ」コントロールパネル、または Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルで、ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」の両方の機能を無効にして、Windows Journal や他のインク機能で描画する場合、筆圧が無効になります。

製品情報

Cintiq に関する詳細や、Windows 7 および Windows Vista で様々なペン機能とデジタルインク機能を活用する方法やソフトウェアについては、ワコムのホームページ（http://tablet.wacom.co.jp）をご覧ください。

オプション品の注文

本機の機能を最大限に使いこなすためにオプション品をご用意しております。

オプション品の情報はワコムホームページにも掲載しております。

http://wacom.jp/

オプション品は、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でお買い求めいただくことができます。

http://store.wacom.jp/

利用可能なオプション品

オプション品のご案内

名称と説明		型番
グリップペン：消しゴム機能付き筆圧ペン。筆圧と傾きを検出します。電池レスでコードレス、メンテナンスフリーで幅広い用途を持つグリップペンです。マウス操作はもちろんのこと描画作業や細かい作業に最適な本機の標準的なデバイスです。テールスイッチや２つのサイドスイッチにはショートカットやキーの割り当てが可能です。エルゴノミクスデザインで握りやすいグリップ部が自然な描画を実現します。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（3 本）、ストローク芯（1 本）、ハードフェルト芯（1 本）、エラストマー芯（1 本）		KP-501E-01
エアブラシ：エアブラシは筆圧検出、消しゴム機能だけでなくホイール機能を搭載した電子ペンです。アナログのエアブラシの感覚をそのままに作業できます。また、カスタマイズ可能なボタンが搭載されています。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（3 本）、ストローク芯（1 本）、ハードフェルト芯（1 本）、エラストマー芯（1 本）		KP-400E-01
アートペン：アートペンは筆圧、傾き検出と回転機能に対応した電子ペンです。ペン軸の回転を検出することによりカリグラフィブラシやアナログのマーカーのような描写を実現します。幅広いニブを装備したペン先の書き味はアナログのマーカーそのものです。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、彫刻刀型ポリアセタールニブ（2 本）、彫刻刀型フェルトニブ（2 本）、ポリアセタール芯（3本）、フェルト芯（3 本）		KP-701E-01
クラシックペン：グリップペンと同じ機能を持つペン軸の細い電子ペンです。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（3 本）、ストローク芯（1 本）、ハードフェルト芯（1 本）、エラストマー芯（1 本）		KP-300E-01
グリップペン、エアブラシ、クラシックペン用替え芯		
標準芯：滑らかな書き味と耐久性を兼ね備えた芯、材質ポリアセタール、5 本入り		ACK-20001
ストローク芯： 組み込まれたスプリングによって芯先が約 1mm 上下する芯、材質ポリアセタール、5 本入り		ACK-20002
ハードフェルト芯：高摩擦係数でありながら耐久性も備えた芯、材質フェルト、5 本入り		ACK-20003
アートペン用芯セット（ポリアセタール芯 3 本、フェルト芯 3 本、彫刻刀型ポリアセタールニブ 2 本、彫刻刀型フェルトニブ 2 本）		ACK-20006
重要：ペンに付属するエラストマー芯は、ゴム素材のため摩擦が強く、液晶画面上で使用すると表面に跡が残ります。拭けば跡は取れますが、本機でのご使用は推奨しません。		
ラバーグリップ　KP-501 用 / 標準径 / サイドスイッチ用穴有り /2 本入り		ACK-30001
ラバーグリップ　KP-501 用 / 標準径 / サイドスイッチ用穴無し /2 本入り		ACK-30003
ラバーグリップ　KP-501 用 / 太径 / サイドスイッチ用穴無し /2 本入り		ACK-30002

用語

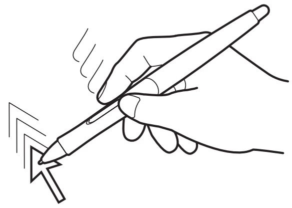
傾き検出：入力デバイスが傾く角度を読み取るペン先とテールスイッチ（消しゴム）の特性。これは、傾き対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに役立ちます。

画面のポインタ：表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I 型ポインタ、矢印、あるいはボックスなど様々な形に変わります。

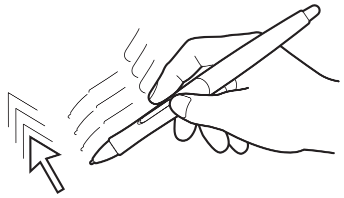
クリック圧：クリックする時、ペン先にかかる力の大きさ。

消しゴム対応ソフトウェア： 電子ペンの消しゴム機能をサポートしているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

視差：保護ガラスあるいはその他の媒体を通して対象を見る場合の角度のずれのこと。視差を補正するには、本機の位置調整を行い、画面上のポインタが電子ペンのペン先の位置と一致させる必要があります。



視差がない場合。ペン先と画面上のポインタの位置が合っています。



本機表面の保護ガラスによって生じる視差。ペン先と画面のポインタの位置のずれ方を確認してください。

修飾キー：Windows では［Shift］、［Alt］、［Ctrl］キー、Mac では、［shift］、［control］、［command］、［option］キーの修飾キーがあります。電子ペンは、サイドスイッチまたはファンクションキーに修飾キーを対応するようにカスタマイズできます。

芯：ペン先で交換が可能な部分。

ワンタッチ操作ボタン：本機の右上にある機能ボタン。ワンタッチ表示ボタンを使うをご覧ください。

操作エリア：入力デバイスが検出されるペンタブレットの描画領域。

縦横比：ペンタブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

ダブルクリックアシスト：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にする機能。

ダブルクリック距離： ペン先でダブルクリックするときに、２回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引きはじめにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

特定のソフトウェアに対する設定：ソフトウェアごとに入力デバイスと本機の設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズします。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。

トラックパッド：本機の背面にあるカスタマイズ可能な制御パッド。トラックパッドを使うもご覧ください。

ピクセル：ディスプレイ画面上の最小の表示単位。

筆圧対応：筆圧の荷重を読み取るペン先と消しゴムの特性。これは、筆圧対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

筆圧対応のソフトウェア：筆圧をサポートするソフトウェア。

ファンクションキー：本機にあるカスタマイズ可能なキーです。ファンクションキーを使うをご覧ください。

ペンモード：ポインタの位置決めの方法。電子ペンを本機の画面上に置くと、画面のポインタが画面上の対応点にジャンプします。これは絶対的位置決めと言われ、すべてのペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを確認してデスクトップ上で動かさなくても、ポインタの位置を決められます。マウスモードもご覧ください。

ホイール：オプション品のエアブラシのコントロールホイール。

マウスの加速：ペンがマウスモードのとき、ポインタの加速を調節できます。

マウスモード：ポインタの位置決めの方法。電子ペンを本機の画面上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。

これは相対的な位置決めです。ペンモードもご覧ください。

マウス速度：ペンがマウスモードのとき、ポインタのスピードを調節できます。

読取可能高さ：電子ペンが検出される本機の操作エリアからの高さ。電子ペンの機能もご覧ください。

ラジアルメニュー：円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、電子ペンやファンクションキーに機能を割り当てる必要があります。

LED：発光ダイオード。本機の表示ランプに利用されます。

Tablet PC 入力パネル：Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルで、電子ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。手書き文字が、入力パネルでテキストに変換されます。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。

USB：Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェース規格。USB ポートはホットプラグをサポートし、これにより、コンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの取り外しができます。

Windows Journal：紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートだけの特長も備えた Microsoft Windows ソフトウェア。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、電子ペンの消しゴムで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

Wintab：ペンタブレットの情報を受け取る Windows ソフトウェアによって使用されるインタフェース規格。ペンタブレットは、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアをすべてサポートします。

索引

数字
1:1 38
C
Cintiq 22HD（DTK-2200） 19
D
DVI-DVI ケーブル 20
DVI コネクタ 14
F
FAQ 84
M
Mac Mini DisplayPort 14
O
OSD メニュー 38
OSD メニューボタン 37
U
USB ハブ 19
USB 接続ケーブル 20
W
Windows Tablet PC 入力パネル 106
あ
明るさ 38
アナログ RGB 接続の問題 74
い
色温度 38
え
液晶ペンタブレット
お手入れ・保管 86
各部の名称
本体裏面 20
本体正面 19
機能 18
テスト 67
エクスプレスビュー画面 97
お
オートアジャスト 39
か
角度を調整する 11
カスタマイズ
消しゴムの感触 47
サイドスイッチ 48
ダブルクリック 46
電子ペン 45
トラックパッド 51
筆圧 47
ファンクションキー 50
ペン先の感触 46
ラジアルメニュー 59
画像設定 39
傾き 28
画面を調整する 36
カラー設定 38
き
機能
液晶ペンタブレット 18
コントロールパネル 42
く
クリック 26
け
ケーブルの取り付け／取り外し 94
消しゴム 21
消しゴムのカスタマイズ 47
こ
コントラスト 38
コントロールパネル 41
梱包箱から取り出す 6
さ
サイドスイッチ 21
サイドスイッチのカスタマイズ 48
し
軸受け 10
視差 44
上級者向け設定 101
省電力機能 39
芯の交換 87
す
垂直位置 39
水平位置 39
スタンド 7
スタンド開閉レバー 8
スタンドから本体を取り外す 12
スタンド後脚 8
スタンド前脚 8
スタンドに本体を取り付ける 10

スタンドの設置 9
ステータスランプ 19
せ
製品に関する重要なお知らせ 6
セキュリティロック・スロット 20
設定
　コントロールパネル 41
　特定のソフトウェア 61
設定一覧 41
設定内容の表示 41
セットアップ
　タブレットドライバ 17
　ハードウェア 14
全画面 38
た
ダイレクト 38
縦横比 38
縦横比を保持 60
ダブルクリック 26
ダブルクリックのカスタマイズ 46
タブレット設定ファイルの管理 98
タブレットドライバ
　アンインストール 96
　インストール 17
　ダウンロード 83
て
テールスイッチ 21
テクニカルサポート 82
デジタルインク機能 102
テスト
　液晶ペンタブレット 67
　電子ペン 71
　トラックパッド 70
　ファンクションキー 70
　ワンタッチ表示ボタン 70
電子ペン 21
　カスタマイズ 45
　クリック 26
　消しゴムを使う 28
　サイドスイッチを使う 27
　ダブルクリック 26
　ドラッグ 27
　筆圧を使って描画する 27
と
透明度 38
特定のソフトウェア 61
ドライバのダウンロード 83
ドラッグ 27
トラックパッド 33
トラックパッド機能切り替えボタン 29
トラブルシューティング
　ディスプレイ
　　アナログ RGB の問題 74
　　ディスプレイの一般的な問題 72
　ペンタブレット
　　Mac での問題 80
　　Windows での問題 79
　　一般的な問題 75
は
バックライト輝度 38
パワーランプ 19
ひ
筆圧 27
筆圧を使って書く 27
ピッチ 39
表示サイズ設定 38
表示設定 38
ふ
ファンクションキー 31
フェーズ 39
へ
ペン先
　交換 87
ほ
ポインタの位置決め 26
ボタン機能 52
本書について 5
ま
マウントアーム 91
マッピング画面 60
マッピング画面切り替え 60
マルチディスプレイ 35
ゆ
ユーザー設定 38
よ
読み取り高さ 71
ら
ラジアルメニュー 59
り
リセット 39
わ
ワンタッチ表示ボタン 30

このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

◯ **お問い合わせ**

◯ **修理依頼**

FAX 送付先 ：03-5337-6514

受付 No.

発信	年 月 日

お客さま	フリガナ		会社名（学校名）・所属部署	
	氏名			
	使用場所	会社（学校）・自宅	連絡先	会社（学校）・自宅
	住所	〒 ※修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。 E-mail：		
	TEL （ ）		FAX （ ）	

タブレット	型式		DTK-2200	シリアル番号	
	タブレットドライバ		バージョン：		
	購入年月日		年 月 日		
使用環境	使用コンピューター		メーカー：	機種名：	
			モデム内蔵 Yes ・No	使用 OS	（バージョン： ）
	使用ソフトウェア		（バージョン： ）		
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート
		他の USB 機器			
		USB ハブ			
		ディスプレイ			
		グラフィックボード			
		その他			
内容	現象発生日		年 月 日		
	現象発生頻度		常時・ときどき（システム起動時・使用中・その他： ）		

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。

Wacom International Offices

株式会社ワコム TABLET SALES DIVISION

〒 160-6131
東京都新宿区西新宿 8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー 31 階
インターネット：http://wacom.jp/
ワコムサポートセンター
電話：0570-05-6000
受付時間　平日 9:00 ～ 20:00
土曜 10:00 ～ 17:00
（日曜、祝日、および年末年始など
弊社指定休日を除く）

Wacom Co., Ltd. ASIA PACIFIC DIVISION

Asia Pacific Office
Sumitomo Fudosan Shinjuku Grand Tower 31F,
8-17-1 Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-6131,
Japan
Telephone
General: +81-3-5337-6709
Fax: +81-3-5337-6514

Wacom Technology Corporation

1311 SE Cardinal Court
Vancouver, WA 98683
U.S.A.
Telephone
General: +1-360-896-9833
Fax: +1-360-896-9724

Wacom Europe GmbH

Europark Fichtenhain A9,
47807 Krefeld,
Germany
Telephone
General: +49-(0)2151-3614-0
Fax: +49-(0)2151-3614-111

Wacom China Corporation

Unit 2807, 28th Floor, SK Tower,
No 6 Jia, Jianguomenwai Avenue,
Beijing, China 100022
http://www.wacom.com.cn

Wacom Korea Co., Ltd.

Rm #1211, 12F, KGIT Sangam Center,
402 worldcup bukro, Mapo-gu,
Seoul 121-913, Korea
Telephone: +82-2-557-3894
Fax: +82-2-557-3895

Wacom Australia Pty. Ltd.

Unit 8, Stage 1 Cumberland Green
2-8 South Street, Rydalmere
NSW 2116 Australia
Telephone
General: +61-2-9422-6700
Fax: +61-2-9420-2272

Wacom Singapore Pte. Ltd. (Singapore)

#12-09 Suntec Tower Five
5 Temasek Boulevard,
Singapore 038985
Telephone
General: +65-6258-8640
Fax: +65-6258-8697

Wacom Taiwan Information Co., Ltd.

9F-1, No.237 Songjiang Rd.,
Zhongshan Dist. Taipei 104
Taiwan
Telephone: +886-2-2516-1718
Fax: +886-2-2516-5100

Wacom Hong Kong Limited

Room 2105, C C Wu Building
302-308 Hennessy Road
Wanchai, Hong Kong
Telephone: +852-25739322
Fax: +852-25739500

Wacom India Pvt. Ltd.

2nd Floor, Elegance Tower
District Centre, Mathura Road
New Delhi 110025, India
Telephone: +91-11-40601200
Fax: +91-11-40601235